令和２年度

Shizuoka City Museum of Art　ANNUAL REPORT 2020

静岡市美術館年報 No.11

令和２年度　静岡市美術館年報　No.11
Shizuoka City Museum of Art ANNUAL REPORT 2020

目　次

1. 基本理念・沿革
　1－1　基本理念 …… 3
　1－2　沿革 …… 3
　1－3　令和2(2020)年度事業一覧 …… 4

2. 展覧会事業
　2－1　日・チェコ交流100周年 ミュシャと日本、日本とオルリク めぐるジャポニスム …… 6
　2－2　静岡市美術館開館10周年記念 東海道の美　駿河への旅 …… 21
　2－3　静岡市所蔵品　特集展示 見るよろこび：東海道図屏風・竹久夢二を中心に …… 23
　2－4　日本・ポーランド国交樹立100周年記念 ショパン―200年の肖像 …… 26
　2－5　静岡市美術館開館10周年記念
　　生誕110年・没後30年　絵本画家・赤羽末吉展　『スーホの白い馬』はこうして生まれた …… 37
　2－6　静岡市美術館開館10周年記念・中日新聞東海本社40周年記念　ライデン国立古代博物館所蔵　古代エジプト展 …… 50

3. 交流事業(教育普及事業)
　3－1　交流事業 …… 63
　　1)静岡市美術館開館10周年記念事業／2)Shizubi シネマアワー／3)しずびオープンアトリエ／4)しずびチビッこプログラム／5)暦とあそぶワークショップ／6)プレゼントワークショップ／7)夜店市
　3－2　連携事業 …… 68
　　1)ミュージアム教室・展示解説／2)めぐるりアート静岡2020／3)生涯学習センター・静岡市美術館連携事業「しずび出前講座」／4)静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業(三館共同事業)／5)2020しずおか文化プロジェクト/6)その他施設との連携

4. 受託事業等
　4－1　受託事業等 …… 74
　　1)「竹久夢二」展／2)静岡市清水文化会館マリナート常設展示「平野富山－清水が生んだ彩色木彫の名匠」／3)静岡市美術館10周年記念事業広報活用業務

5. 調査研究・研修受入等
　5－1　調査研究 …… 76
　5－2　博物館実習 …… 77
　5－3　視察等受入 …… 77

6. 収蔵品・図書等
　6－1　収蔵品貸出 …… 78
　6－2　画像貸出 …… 78
　6－3　図書等 …… 79

7. 広報活動
　7－1　広報制作物 …… 80
　7－2　ウェブサイト …… 81
　7－3　施設広報記録 …… 81

8. 管理運営
　8－1　利用者数 …… 82
　8－2　過去展覧会一覧 …… 87
　8－3　静岡市美術館運営協議会 …… 90
　8－4　組織図・職員名簿 …… 91
　8－5　条例・施行規則 …… 92
　8－6　施設・建築概要 …… 94

1．基本理念・沿革

1－1　基本理念

静岡市美術館は、JR静岡駅北口の複合ビル「葵タワー」3階に、平成22年5月に開館、同年10月にグランドオープンしました。「人・地域が躍動する芸術文化の創造・発信」を基本理念に、展示室では、美術を主軸にデザインや工芸など幅広いジャンルの展覧会を開催します。
また、エントランスホールや多目的室、ワークショップ室などの「交流ゾーン」では、様々なアートシーンの紹介や講演会、ワークショップ、コンサート、美術映画の上映など普及事業を実施します。駅から徒歩3分という立地を活かし、誰もが気軽に立ち寄れる“ちょっと面白い街の中の広場”のような美術館を目指しています。

美術館ロゴマーク

美術館のロゴマークは、静岡、そして日本を象徴する富士山をモチーフにしています。重ねられた2つの円には、美術館を中心とした人の輪の広がりと、地域と世界を結ぶイメージが表されています。また、視点と奥行きの変化による“視ることの楽しさ”にも気付かせてくれます。

デザイン：柿木原政広（アートディレクター /10inc.）

1－2　沿革

平成18(2006)年
3月　「静岡市文化振興ビジョン」策定

平成19(2007)年
3月　「(仮称)静岡市立美術館　基本計画」策定
7月4日　「葵タワー」着工

平成20(2008)年
3月　「(仮称)静岡市立美術館運営実施計画」策定

平成21(2009)年
7月8日　美術館内装建築工事着工[内装設計：㈱丹青研究所、内装建築工事：㈱木内建設]
7月16日　静岡市美術館条例制定
11月12日　静岡市美術館条例施行規則制定

平成22(2010)年
3月24日　静岡市が㈶静岡市文化振興財団を指定管理者に指定
4月1日　「葵タワー」オープン
5月1日　静岡市美術館開館・完成記念式典開催
9月30日まで展覧会関連事業および交流事業を実施
10月1日　静岡市美術館グランドオープン記念式典開催
10月2日　開館記念展<Ⅰ>「ポーラ美術館コレクション展 印象派とエコール・ド・パリ」開催（－11月28日）

平成23(2011)年
5月9日　美術館のロゴマークなどヴィジュアル・アイデンティティーが世界3大広告賞のひとつ「The One Show 2011」の銀賞を受賞

平成24(2012)年
1月4日　美術館エントランスホールに漆芸作品「東海道五十三次ひとめ図」設置、除幕式開催

平成25(2013)年
9月14日　来館100万人達成記念式典を実施

平成26(2014)年
5月2日　静岡県教育委員会より博物館相当施設に指定

平成27(2015)年
3月20日　静岡市が(公財)静岡市文化振興財団を第Ⅱ期指定管理者に指定
5月1日　静岡市美術館開館5周年

平成29(2017)年
8月18日　展覧会観覧者100万人達成

令和元(2019)年
10月10日　来館300万人達成記念式典を実施

令和2(2020)年
4月1日　静岡市が(公財)静岡市文化振興財団を第Ⅲ期指定管理者に指定
5月1日　静岡市美術館開館10周年

※過去展覧会一覧は、87－89頁を参照。

1－3　令和２(2020)年度事業一覧

		展覧会	交流事業
令和2年(2020年)	4月	日・チェコ交流100周年 ミュシャと日本、日本とオルリク めぐるジャポニスム 4月11日－4月19日＜開館8日間＞ 21日　新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため 静岡市の方針に合わせ臨時休館(5月31日まで)	21日　「鈴木康広　まばたきの葉|未来の待ち合わせ場所」 （－5月10日）※延期
	5月		２日　Shizubiシネマアワー vol.26『チェコのアニメーション』(－3日) ※中止 ６日　参加型公開制作「柿木原さんとタイルで美術館のロゴマークをつくろう!」　※延期 ９日　プレゼントワークショップvol.30「母の日だ！親子でプレゼントをつくろう」　※中止
	6月	静岡市美術館開館10周年記念 東海道の美　駿河への旅　※延期 静岡市所蔵品　特集展示 見るよろこび：東海道図屏風・竹久夢二を中心に 6月17日－7月19日＜開館29日間＞	20日　プレゼントワークショップvol.31「父の日だ！親子でプレゼントをつくろう」　※中止
	7月		
	8月	日本・ポーランド国交樹立100周年記念 ショパン－200年の肖像 8月1日－9月22日＜開館47日間＞	10日　しずびオープンアトリエ「ショパン－200年の肖像」(－23日) ※中止 14日　夜店市(－16日)　※中止 29日　しずびチビッこプログラム「ショパン－200年の肖像」　※中止
	9月		19日　めぐるりアート静岡プレ展示　占部史人(－10月11日)
	10月	静岡市美術館開館10周年記念 生誕110年・没後30年 絵本画家・赤羽末吉展 『スーホの白い馬』はこうして生まれた 10月3日－11月29日＜開館50日間＞	２日　しずび10周年記念ソング公開 17日　めぐるりアート静岡　ワタリドリ計画、岩野勝人、日詰明男 (－11月8日) 17日　めぐるりアート静岡　岩野勝人　ワークショップ「くもならべ」 (－18日) 18日　めぐるりアート静岡　日詰明男　公開制作(－19日)
	11月		20日　しずび10周年ショートムービー公開 23日　しずびチビッこプログラム「絵本画家・赤羽末吉展」　※中止
	12月	静岡市美術館開館10周年記念 中日新聞東海本社40周年記念 ライデン国立古代博物館所蔵 古代エジプト展 12月19日－3月31日＜開館85日間＞	12日　プレゼントワークショップvol.32「クリスマスの準備をしよう！」 13日　しずび10周年ショートムービー完成記念トークイベント
令和3年(2021年)	1月		
	2月		13日　しずびオープンアトリエ「ライデン国立古代博物館所蔵　古代エジプト展」(－3月14日)　※中止 23日　暦とあそぶワークショップvol.19「ひな祭りの準備をしよう！」 ※中止
	3月		しずびチビッこプログラム「ライデン国立古代博物館所蔵　古代エジプト展」　※中止

２．展覧会事業　目次

２－１　日・チェコ交流100周年
ミュシャと日本、日本とオルリク めぐるジャポニスム …… 6

２－２　静岡市美術館開館10周年記念
東海道の美　駿河への旅 …… 21

２－３　静岡市所蔵品 特集展示
見るよろこび：東海道図屏風・竹久夢二を中心に …… 23

２－４　日本・ポーランド国交樹立100周年記念
ショパン―200年の肖像 …… 26

２－５　静岡市美術館開館10周年記念
生誕110年・没後30年 絵本画家・赤羽末吉展『スーホの白い馬』はこうして生まれた …… 37

２－６　静岡市美術館開館10周年記念・中日新聞東海本社40周年記念
ライデン国立古代博物館所蔵　古代エジプト展…… 50

2．展覧会事業

2－1　日・チェコ交流100周年
ミュシャと日本、日本とオルリク めぐるジャポニスム

会期：4月11日（土）－4月19日（日）（当初予定は5月24日）

概要：この展覧会は、チェコ出身の2人の画家、アルフォンス・ミュシャ（1860-1939）とエミール・オルリク（1870-1932）を軸に、グラフィックを舞台に展開した東西相互の影響関係に光をあてようとするものである。
ジャポニスムに沸くパリでアール・ヌーヴォーの旗手として活躍したミュシャの絵は、1900年創刊の雑誌『明星』でいち早く日本にも紹介され、藤島武二や中澤弘光らに大きな影響を与えた。一方、プラハ生まれのオルリクはヨーロッパ各地でジャポニスムの潮流に触れ日本への憧れをつのらせ、1900年から翌年にかけてついに来日。浮世絵版画の彫りや摺りを学び、帰国後はヨーロッパの木版に新風をもたらした。また、オルリクが日本滞在中に制作した石版画は日本の若い画家たちを刺激し、芸術作品として版画を制作するという新しい考え方を後押しした。
こうした1900年前後の影響関係は、グラフィックを介したジャポニスムとその還流と捉えることができる。本展ではミュシャとオルリクに加え、背景としてのチェコのジャポニスムを紹介するほか、ウィーン分離派周辺の作家や日本の雑誌『明星』と『方寸』周辺の作品など400点以上を展示し、グラフィックならではの、即時的で双方向な東西の芸術交流を探った。なお、新型コロナウイルス感染症感染拡大にともなう臨時休館（4月21日～5月31日）により、途中閉幕となった。

巡回先：千葉市美術館、和歌山県立近代美術館、岡山県立美術館

主催：静岡市、静岡市美術館 指定管理者（公財）静岡市文化振興財団、読売新聞社、美術館連絡協議会、Daiichi-TV

協賛：ライオン、大日本印刷、損保ジャパン

後援：駐日チェコ共和国大使館、チェコセンター東京、静岡市教育委員会、静岡県教育委員会

協力：ルフトハンザカーゴ AG、一般財団法人高久国際奨学財団

コーディネート：イデッフ

特別協力：チェコ国立プラハ工芸美術館、ダッハウ絵画館

観覧料：一般　1,300円（1,100円）
大高生・70才以上　900円（700円）
※（　）内は前売および20名以上の団体料金
※中学生以下無料
※障がい者手帳等をご持参の方および介助者原則1名は無料
※2回目以降、本展有料観覧券半券提示で当日券200円引きとなるリピーター割引を実施

観覧者数：578人（有料403人、無料175人、有料率69.72%）

出品点数：477点

制作物：
1）チラシ
＜仕様＞紙：モンテシオン 81.5kg（A3二つ折り（仕上A4））、
モンテシオン 69.0kg（A4）
サイズ・加工・数量：A3二つ折り（仕上A4）55,000部、A4 90,000部

2）ポスター
＜仕様＞紙：モンテシオン 81.5kg
サイズ・数量：B1 50部、B2 2,050部、B3 2,700部（うち400部はJR帯つき）

チラシ表面

チラシ裏面

チラシ中面

B1・B2ポスター

B3ポスター

カタログ：
＜仕様＞190×250mm、354頁

カタログ表紙

カラー図版635点
参考図版（カラー2点、モノクロ24点）

山野英嗣「「あいさつ」に代えて ＜チェコと日本＞の響き」
西山純子「めぐるジャポニスム―展覧会「ミュシャと日本、日本とオルリク」への道案内として」
ルツィエ・ヴルチコヴァー「ヴォイチェフ・プライシクと彼の日本美術に関する考察」
井上芳子「ミュシャと日本をめぐる一考察『明星』周辺のアール・ヌーヴォー受容について」
西山純子「日本が見たエミール・オルリク」
青木加苗「プラハからダッハウへ―エミール・オルリクとヴァルター・クレム、カール・ティーマン」
エミール・オルリク「「日本の多色木版画についての覚書」1901年」

作家解説・用語解説／作品リスト

編集：西山純子（千葉市美術館）、井上芳子（和歌山県立近代美術館）、青木加苗（和歌山県立近代美術館）、石田すみれ（岡山県立美術館）、山本香瑞子（静岡市美術館）
執筆：山野英嗣（和歌山県立近代美術館）、西山純子、井上芳子、青木加苗、藤本真名美（和歌山県立近代美術館）、石田すみれ、山本香瑞子、ルツィエ・ヴルチコヴァー、ジャン=ガスパール・パーレニーチェク
翻訳：青木加苗、阿部賢一、バーバラ・クロス、後藤正子、塚原真里子、宮崎淳史、山本仁志
編集協力：柴田勢津子（イデッフ）
制作協力：竹見洋一郎＋浅野靖菜＋粕川雅（STORK）
発行所：株式会社国書刊行会
発行年：2019年

※本図録は2019年美連協大賞「優秀カタログ賞」を受賞。

普及ツール：
1）本展オリジナルミニDMの作成・配布
ハガキサイズのミニDMを制作し、市内店舗等へ配架、DM持参者には当館オリジナルクリアファイルをプレゼントした。
制作物：
◆ミニDM
＜仕様＞紙：グラフィー CoC 190kg
サイズ・数量：110×148mm 15,000部

ミニDM表面

ミニDM裏面

各種連携：
1）近隣店舗との連携
葵タワー内および近隣店舗で、展覧会入場者へ優待サービスの実施、本展に合わせた特別メニューの提供を行った。
制作物：
◆チラシ
＜仕様＞紙：マットコート 70kg
サイズ・数量：A4 4,000部

協賛チラシ表面

協賛チラシ裏面

主要広報記録：

1)テレビ・ラジオ

・「展覧会紹介」NHK Eテレ『日曜美術館アートシーン』、9月15日放送。
・「めぐるジャポニスム展 開幕」静岡第一テレビ『news every.しずおか』、『FRONT ZERO』、4月11日放送。
・「展覧会紹介」FM-Hi!『cha!cha!サタデー 静岡ドライブインフォメーション』、4月11日放送。
・「展覧会紹介」FM-Hi!『ひるラジ！静岡情報館airport769』、4月16日放送。

2)新聞

・「ミュシャ作品などチェコ美術を紹介 静岡市美術館で展覧会」『読売新聞』静岡版、4月12日。

3)雑誌他

・「チェコの「浮世絵師」オルリクの作品を初特集　グラフィックに見る日本とチェコの影響関係」『美術展&美術館ぴあ2019-2020（ぴあMOOK）』。
・「グラフィックを舞台にしたチェコと日本の影響関係とは」『[完全ガイドシリーズ263]美術展完全ガイド2020』。
・「展覧会紹介」『和樂』、1・2月号。
・「展覧会紹介」『美術展ぴあ2020（ぴあMOOK）』。
・「展覧会紹介」『時空旅人』、3月号増刊。
・「展覧会紹介」『和樂』、4・5月号。
・「展覧会紹介」『美術屋・百兵衛　2020年春号』、vol.53。
・「展覧会紹介」『月刊アートコレクターズ』、4月号。
・「展覧会紹介」『和樂』、6・7月号。
・井上芳子「展覧会紹介」『美連協ニュース』、11月号。
・「展覧会紹介」『読売家庭版』、4月号。
・「展覧会紹介」『すろ～かる』、4月号。
・「展覧会紹介」『すろ～かる』、5月号。
・西山純子「美連協大賞「優秀カタログ賞」」『美連協ニュース』、5月号。

4)ウェブサイト等（媒体名のみ記載）

「インターネットミュージアム」、「Fashion Press」、「アートアジェンダ」、「しずぎんSTATION」、「womo」、「ダイヤモンドソサエティ」、「ウェブ版「美術手帖」」、「アットエス」

関連事業：

1)講演会「「ああ、我が日の出る国」―チェコ文学におけるジャポニスム―」

概要：4月18日に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止とした。なお、講師の提案により、講演内容を当館ホームページにてオンライン公開した。
講師：ジャン＝ガスパール・パーレニーチェク氏（元パリ・チェコセンター館長、文筆家）

2)当館学芸員によるギャラリートーク

概要：4月25日及び5月16日に開催の予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止とした。

3)臨時休館中の情報発信

概要：静岡市文化振興財団「しずおか文化deステイホーム」の一貫として、ブログによる出品作品紹介を行った。全国的に「ステイホーム」が呼びかけられた連休期間中には、自宅で美術に親しんでもらえるよう、特に積極的な情報発信に努めた。
発信日：「ブログで展覧会気分」
①4月28日（火）　②5月2日（土）　③5月6日（水）
④5月14日（木）　計4回
「Art at home ～自宅で楽しむアートな本～」
①4月30日（木）　②5月9日（土）　③5月20日（水）　計3回

出品作品リスト

・初版でない書籍の発行年は、初版年／発行年の順に記した。
・欠番は当館では未出品。

序章　ジャポニスム―光琳、型紙、そして浮世絵　Prologue　Japonisme: Kōrin,Katagami, and Ukiyo-e

No.	作家名	作品名	制作・発行年	技法	サイズ（縦×横、cm）	所蔵者	前期	後期
P-1	酒井抱一（編）	『光琳百図』前編・後編	1826 後摺	木版墨摺絵本4冊	各25.9×17.7	千葉市美術館、ラヴィッツコレクション		
P-2	酒井抱一	『鶯邨画譜』	1817	木版多色摺絵本1冊	27.8×18.7	千葉市美術館、ラヴィッツコレクション		
P-3	中村芳中	『光琳画譜』	1802	木版多色摺絵本2冊	各27.1×19.4	千葉市美術館、ラヴィッツコレクション		
P-4		『光琳漫画』	1817	木版墨摺絵本1冊	22.5×15.8	千葉市美術館、ラヴィッツコレクション		
P-5	合川珉和	『光琳画式』	1818	木版多色摺絵本1冊	25.6×18.1	千葉市美術館、ラヴィッツコレクション		
P-6	池田孤邨（編）	『光琳新撰百図』	1864	木版墨摺絵本2冊	26.1×19.0	千葉市美術館、ラヴィッツコレクション		
P-7	酒井抱一（編）	『乾山遺墨』	1823	木版多色摺絵本1冊	24.2×17.4	千葉市美術館、ラヴィッツコレクション		
P-8	ルイ・ゴンス（著）	『日本美術』上下巻	1883	書籍	各36.5×29.0	和歌山県立近代美術館		
P-9	ヴォルデマール・フォン・ザイドリッツ（著）	『日本の多色木版の歴史』	1897	書籍	28.0×19.8	個人蔵		
P-10	中野其明（編）	『尾形流百図』	1889/1892	木版墨摺絵本2冊	26.0×18.9	千葉市美術館、ラヴィッツコレクション		
P-11	谷口香嶠（編）	『光琳画譜』	1891	木版、紙／和本	28.4×39.3	芸艸堂		
P-13	田島志一（編）	『光琳派画集』第1冊	1903	木版・コロタイプ、紙／書籍	42.8×31.0	京都工芸繊維大学附属図書館		
P-14	田島志一（編）	『光琳派画集』第2冊	1904	木版・コロタイプ、紙／書籍	42.8×31.0	京都工芸繊維大学附属図書館		
P-15		『氷面鏡』	1901	冊子	21.5×15.0	個人蔵		
P-16		『時好』辰之第10号	1904	冊子	21.3×15.2	個人蔵		
P-17		『時好』辰之第11号	1904	冊子	21.2×15.2	個人蔵		
P-18	浅井忠	梅花図筒型花生	1902–07	陶器	高 37.6×径 21.0	京都工芸繊維大学美術工芸資料館		
P-19	浅井忠	けしの花（陶器図案）	1900	水彩、紙	46.0×29.0	京都国立近代美術館		
P-23	浅井忠	『黙語図案集』	1908/1928	木版、紙／和本	36.3×25.0	千葉市美術館、ラヴィッツコレクション		
P-24	神坂雪佳	『百々世草』	1909-10	木版、紙／画帖本3冊	各30.2×22.5	千葉市美術館、ラヴィッツコレクション		
P-25	神坂雪佳	『海路』	1905	木版、紙／画帖本	36.5×24.0	千葉市美術館、ラヴィッツコレクション		
P-26	古谷紅麟	『古宇りむ毛やう』	1908	木版、紙／和本	24.2×32.3	芸艸堂		
P-27	古谷紅麟	『こうりん模様』	1907	木版、紙／画帖本2冊	各25.2×18.2	千葉市美術館、ラヴィッツコレクション		
P-29		型紙 木賊縞に葛	1920年代以前	渋紙、絹糸	61.2×42.6	ダッハウ市、ティーマンコレクション／ダッハウ絵画館		
P-31		型紙 変わり矢鱈縞に千鳥	1920年代以前	渋紙、絹糸	60.5×43.0	ダッハウ市、ティーマンコレクション／ダッハウ絵画館		
P-32	葛飾北斎	冨嶽三十六景 相州七里浜	ca.1831–33	大判錦絵	25.3×37.1	千葉市美術館		
P-33	葛飾北斎	冨嶽三十六景 神奈川沖浪裏	ca.1831–33	大判錦絵	25.3×37.0	島根県立美術館、新庄コレクション		
P-37	葛飾北斎	冨嶽三十六景 隠田の水車	ca.1831–33	大判錦絵	26.2×38.8	千葉市美術館		
P-39	葛飾北斎	冨嶽三十六景 駿州大野新田	ca.1831–33	大判錦絵	26.3×38.2	千葉市美術館		
P-40	葛飾北斎	『伝神開手北斎漫画』初編～十四編	1814–49	半紙本多色摺絵本15巻のうち14冊	各22.5×15.7	千葉市美術館、ラヴィッツコレクション		
P-41	葛飾北斎	『冨嶽百景』	ca.1834–36	半紙判濃淡墨摺絵本袋綴3編3冊	各22.6×15.6	千葉市美術館		
P-45	歌川広重	東海道五拾三次之内 浜松 冬枯ノ図	ca.1834–36	大判錦絵	25.6×37.4	島根県立美術館、新庄コレクション		
P-47	歌川広重	富士川上流雪中	ca.1842	大判錦絵2枚続	（上）36.3×23.6/（下）36.3×23.5	千葉市美術館		

第1章　チェコのジャポニスム　Chapter 1　Japonisme in Czech Lands

No.	作家名	作品名	制作・発行年	技法	サイズ（縦×横、cm）	所蔵者	前期	後期
1-1	レオ・ヒラ／カメニツキー・シェノフ（シュタインシェーナウ）ガラス専門学校	梅花模様花器	ca.1885	乳白ガラスにエナメル彩、金彩	高19.5	チェコ国立プラハ工芸美術館		
1-2	アンナ・ボウドヴァー＝スハルドヴァー	松枝模様花器	ca.1900	陶器	高22.0	チェコ国立プラハ工芸美術館		
1-3	アントニーン・スラヴィーチェク	林	1897	油彩、キャンバス	76.0×97.5	プロ・アルテ、プラハ		

No.	作家名	作品名	制作・発行年	技法	サイズ（縦×横、cm）	所蔵者	前期	後期
1-4	ヨゼフ・コジェンスキー（著）	『日本』	1895	書籍	24.8×17.5	個人蔵		
1-5	ヨゼフ・コジェンスキー（著）	『二度目の日本』	1910	書籍	24.8×17.2	個人蔵		
1-6	ヨゼフ・コジェンスキー（著）	『地球の裏側へ』I、II	1904/1919	書籍2冊	各24.5×18.0	個人蔵		
1-7	エマヌエル・スタニェク	「貿易商メゾン・スタニェク」ポスター	1889	リトグラフ、紙	158.0×111.0	チェコ国立プラハ工芸美術館		
1-8	カレル・シムーネク	「パノラマ・ゲア」ポスター	1899	リトグラフ、紙	93.0×126.0	チェコ国立プラハ工芸美術館		
1-9		『ヴォルネー・スムニェリ(自由潮流)』第1巻第3号	1897	雑誌	29.0×22.5	チェコ国立プラハ工芸美術館		
1-10		『ヴォルネー・スムニェリ(自由潮流)』第6巻第3号	1901	雑誌	29.3×23.0	個人蔵		
1-11		『ヴォルネー・スムニェリ(自由潮流)』第12巻第2号	1908	雑誌	29.4×23.5	チェコ国立プラハ工芸美術館		
1-12		『ヴォルネー・スムニェリ(自由潮流)』第12巻	1908	雑誌（合本）	29.0×23.4	個人蔵		
1-13	アルノシュト・ホフバウエル	「マーネス美術家協会第2回展覧会」ポスター	1898	リトグラフ、紙	108.0×81.0	チェコ国立プラハ工芸美術館		
1-15	アルノシュト・ホフバウエル	「『オブラースコヴァー・レビュー』」ポスター	1899	リトグラフ、紙	102.0×74.0	チェコ国立プラハ工芸美術館		
1-16	アルノシュト・ホフバウエル	「女優ハナ・クヴァピロヴァーのリサイタル」ポスター	1899	リトグラフ、紙	110.0×75.0	チェコ国立プラハ工芸美術館		
1-18	ヤン・プライズレル	「エドヴァルド・ムンク マーネス美術家協会第15回展覧会」ポスター	1905	リトグラフ、紙	158.0×90.0	チェコ国立プラハ工芸美術館		
1-19	ヴァレンティン・ヘルディチカ	「日本の版画 ブルノ P. U. V.クラブ第31回展」ポスター	1913	リトグラフ、紙	94.0×61.0	チェコ国立プラハ工芸美術館		
1-20	ヴィクトル・オリヴァ	「週刊誌『ズラター・プラハ(黄金のプラハ)』」ポスター	1898	リトグラフ、紙	109.0×40.0	チェコ国立プラハ工芸美術館		
1-23	アルフォンス・ミュシャ	「ジスモンダ」ポスター	1895	リトグラフ、紙	211.0×71.5	インテック		
1-24	アルフォンス・ミュシャ	「椿姫」ポスター	1896	リトグラフ、紙	202.5×70.0	京都工芸繊維大学美術工芸資料館		
1-26	アルフォンス・ミュシャ	「メディア」ポスター	1898	リトグラフ、紙	206.0×76.0	インテック		
1-28	アルフォンス・ミュシャ	「リジー」ポスター	1901	リトグラフ、紙	175.6×58.2	京都工芸繊維大学美術工芸資料館		
1-31	アルフォンス・ミュシャ	春〈四季〉	1896	リトグラフ、紙	98.0×50.6	インテック		
1-32	アルフォンス・ミュシャ	夏〈四季〉	1896	リトグラフ、紙	99.0×51.0	インテック		
1-33	アルフォンス・ミュシャ	秋〈四季〉	1896	リトグラフ、紙	99.0×51.0	インテック		
1-34	アルフォンス・ミュシャ	冬〈四季〉	1896	リトグラフ、紙	99.8×51.5	インテック		
1-43	アルフォンス・ミュシャ	羽根	1899	リトグラフ、紙	75.4×31.5	堺 アルフォンス・ミュシャ館（大阪府堺市）		
1-44	アルフォンス・ミュシャ	『ラ・プリュム』誌の黄道十二宮カレンダー	1897	リトグラフ、紙	63.3×47.1	インテック		
1-52	アルフォンス・ミュシャ	『装飾資料集』図7	1902	リトグラフ、紙		堺 アルフォンス・ミュシャ館（大阪府堺市）		
1-54	アルフォンス・ミュシャ	『装飾資料集』図30	1902	リトグラフ、紙		堺 アルフォンス・ミュシャ館（大阪府堺市）		
1-56	アルフォンス・ミュシャ	『装飾資料集』図35	1902	フォトグラヴュール、紙	46.1×32.8	チェコ国立プラハ工芸美術館		
1-57	アルフォンス・ミュシャ	『装飾資料集』図38	1902	フォトグラヴュール、紙	46.2×33.0	チェコ国立プラハ工芸美術館		
1-58	アルフォンス・ミュシャ	『装飾資料集』図39	1902	フォトグラヴュール、紙	46.5×32.9	チェコ国立プラハ工芸美術館		
1-59	アルフォンス・ミュシャ	『装飾資料集』図49	1902	リトグラフ、紙		堺 アルフォンス・ミュシャ館（大阪府堺市）		
1-60	アルフォンス・ミュシャ	『装飾資料集』図60	1902	フォトグラヴュール、紙	46.1×33.2	チェコ国立プラハ工芸美術館		
1-62	アルフォンス・ミュシャ（挿画）	『アダミテ』（スヴァトプルク・チェフ著）	1897	書籍	26.5×19.0	個人蔵		
1-63	アルフォンス・ミュシャ（挿画）	雑誌『チェスキー・スヴィエト（チェコの世界）』第4年第15号	1908	雑誌（合本）	30.0×24.0	個人蔵		
1-64	アルフォンス・ミュシャ（装幀）	『チェコ世界旅行』	1898	書籍	28.7×36.5	個人蔵		
1-65	アルフォンス・ミュシャ（扉画）	『献じられた絵』（ヤロスラフ・ヴルフリツキー著）	1902	書籍	19.2×12.5	個人蔵		
1-66	アルフォンス・ミュシャ（挿画）	『慈愛の母へのスラヴィア』（フランチシェク・ルスカ著）	1934	書籍	23.9×16.2	個人蔵		
1-67	タヴィーク・フランチシェク・シモン	パリ	1904	油彩、厚紙	34.0×25.5	プロ・アルテ、プラハ		
1-68	タヴィーク・フランチシェク・シモン	フラチャニとマラー・ストラナ（小地区）の眺め〈プラハ・カラーエッチング・アルバム〉第1葉	1918	カラーエッチング、紙	38.6×37.7	チェコ国立プラハ工芸美術館		
1-69	タヴィーク・フランチシェク・シモン	ノクターン「ノートル・ダム」〈パリ・モチーフ・アルバム〉第2葉	1916	カラーエッチング、紙	41.3×29.2	チェコ国立プラハ工芸美術館		

No.	作家名	作品名	制作・発行年	技法	サイズ(縦×横、cm)	所蔵者	前期	後期
1-70	タヴィーク・フランチシェク・シモン	セーヌ川での洗濯船 〈パリ・モチーフ・アルバム〉第3葉	1916	カラーエッチング、紙	41.2×29.1	チェコ国立プラハ工芸美術館		
1-71	タヴィーク・フランチシェク・シモン	ルンベ・ガーデンの大聖堂 〈フラチャニ・アルバム〉第2葉	1916	カラーエッチング、紙	41.9×30.0	チェコ国立プラハ工芸美術館		
1-72	タヴィーク・フランチシェク・シモン	日没後、プラハ城のシルエット 〈フラチャニ・アルバム〉第4葉	1916	カラーエッチング、紙	41.5×30.0	チェコ国立プラハ工芸美術館		
1-73	タヴィーク・フランチシェク・シモン	冬色〈フラチャニ・アルバム〉第5葉	1916	カラーエッチング、紙	42.5×30.0	チェコ国立プラハ工芸美術館		
1-74	タヴィーク・フランチシェク・シモン	雪のフラチャニ〈フラチャニ・アルバム〉第8葉	1916	カラーエッチング、紙	41.2×30.5	チェコ国立プラハ工芸美術館		
1-75	タヴィーク・フランチシェク・シモン	京都より	1926	エッチング、紙	35.2×25.4	パトリック・シモン・コレクション、プラハ		
1-76	タヴィーク・フランチシェク・シモン	富士	1928	カラーエッチング、紙	29.5×39.5	パトリック・シモン・コレクション、プラハ		
1-77	タヴィーク・フランチシェク・シモン	蔵書票(V. Slavik)	1919	木版、紙	7.0×4.6	個人蔵		
1-78	タヴィーク・フランチシェク・シモン	『世界旅行便り』	1928	書籍	24.8×17.5	個人蔵		
1-79	ヴォイチェフ・プライシク	木々のある風景	1902	油彩、合板	19.0×24.0	プロ・アルテ、プラハ		
1-80	ヴォイチェフ・プライシク	『ユーゲント』表紙デザイン	1896	インク・白色顔料、厚紙	47.8×45.8	チェコ国立プラハ工芸美術館		
1-81	ヴォイチェフ・プライシク	ナイチンゲール	1900	カラーアクアチント・エッチング、紙	49.5×37.5	パトリック・シモン・コレクション、プラハ		
1-82	ヴォイチェフ・プライシク	少女の思い〈カラー・エッチング〉集、第1葉	1906	カラーエッチング、紙	63.6×44.6	チェコ国立プラハ工芸美術館		
1-83	ヴォイチェフ・プライシク	羊飼い〈カラー・エッチング〉集、第3葉	1906	カラーエッチング、紙	63.4×44.6	チェコ国立プラハ工芸美術館		
1-84	ヴォイチェフ・プライシク	羊飼い	1906	カラーアクアチント・エッチング、紙	36.0×34.3	パトリック・シモン・コレクション、プラハ		
1-85	ヴォイチェフ・プライシク	白鳥の群れ〈カラー・エッチング〉集、第6葉	1906	カラーエッチング、紙	63.5×45.0	チェコ国立プラハ工芸美術館		
1-86	ヴォイチェフ・プライシク	シャクナゲの中の少女 〈カラー・エッチング〉集、第8葉	1906	カラーエッチング、紙	63.4×44.6	チェコ国立プラハ工芸美術館		
1-87	ヴォイチェフ・プライシク	嵐の前〈カラー・エッチング〉集、第9葉	1906	カラーエッチング、紙	62.8×43.8	チェコ国立プラハ工芸美術館		
1-88	ヴォイチェフ・プライシク	岩上の城〈カラー・エッチング〉集、第11葉	1906	カラーエッチング、紙	63.6×45.0	チェコ国立プラハ工芸美術館		
1-89	ヴォイチェフ・プライシク	夕べ〈カラー・エッチング〉集、第12葉	1906	カラーエッチング、紙	63.5×44.9	チェコ国立プラハ工芸美術館		
1-90	ヴォイチェフ・プライシク	夕べ	1906	カラーアクアチント・エッチング、紙	36.5×27.5	パトリック・シモン・コレクション、プラハ		
1-91	ヴォイチェフ・プライシク	秘密の島〈カラー・エッチング〉集、第15葉	1906	カラーエッチング、紙	46.9×66.2	チェコ国立プラハ工芸美術館		
1-92	ヴォイチェフ・プライシク	冬のモチーフ〈カラー・エッチング〉集、第19葉	1906	カラーエッチング、紙	63.7×45.1	チェコ国立プラハ工芸美術館		
1-93	ヴォイチェフ・プライシク	雪の午後〈カラー・エッチング〉集、第21葉	1906	カラーエッチング、紙	63.8×44.6	チェコ国立プラハ工芸美術館		
1-95	ヴォイチェフ・プライシク	満開の木	1900	カラーアクアチント・エッチング、紙	36.5×29.3	パトリック・シモン・コレクション、プラハ		
1-96	ヴォイチェフ・プライシク	雲のある小さな風景	ca.1905	ジンコグラフ、紙	12.1×14.1	パトリック・シモン・コレクション、プラハ		
1-97	ヴォイチェフ・プライシク	壁紙図案	ca.1900	グアッシュ、台紙貼の紙	48.8×32.4	チェコ国立プラハ工芸美術館		
1-98	ヴォイチェフ・プライシク	壁紙図案	ca.1900	グアッシュ、台紙貼の紙	50.0×32.7	チェコ国立プラハ工芸美術館		
1-99	ヴォイチェフ・プライシク	壁紙図案	ca.1900	グアッシュ、台紙貼の紙	49.9×32.1	チェコ国立プラハ工芸美術館		
1-100	ヴォイチェフ・プライシク	壁紙図案	ca.1900	グアッシュ、台紙貼の紙	49.9×32.4	チェコ国立プラハ工芸美術館		
1-101	ヴォイチェフ・プライシク	壁紙図案	ca.1900	グアッシュ、台紙貼の紙	49.8×32.3	チェコ国立プラハ工芸美術館		
1-102	ヴォイチェフ・プライシク	壁紙図案	ca.1900	グアッシュ、台紙貼の紙	50.0×32.7	チェコ国立プラハ工芸美術館		
1-103	ヴォイチェフ・プライシク	模様紙(試刷)	制作年不詳	リノカット、紙	48.2×64.5	チェコ国立プラハ工芸美術館		
1-104	ヴォイチェフ・プライシク	模様紙(試刷)	制作年不詳	リノカット、紙	46.3×67.6	チェコ国立プラハ工芸美術館		
1-105	ヴォイチェフ・プライシク	蔵書票(ミトヘル・ケネルリ)	1920年代	木版、紙	5.5×7.0	個人蔵		
1-106	ヴォイチェフ・プライシク	蔵書票(イラ・ヴァニョウソヴァー)	1920年代	木版、紙	6.5×5.5	個人蔵		
1-107	ヴォイチェフ・プライシク	蔵書票(インジフ・ヴァルデス)	1920年代	木版、紙	6.5×8.0	個人蔵		
1-108	ヴェンツェル・ハブリク	海	1910	木版、紙	19.0×19.2	パトリック・シモン・コレクション、プラハ		
1-109	ルドルフ・アダーメク	人生	1911	木版、紙	18.6×13.0	パトリック・シモン・コレクション、プラハ		
1-112	ヨゼフ・ヴァーハル	水の王国	1915	木版、リノカット、紙	25.5×24.0	パトリック・シモン・コレクション、プラハ		
1-113	ヨゼフ・ヴァーハル	蔵書票(S. K. ノイマン)	1911	木版、紙	9.5×5.3	個人蔵		
1-114	ヨゼフ・ヴァーハル	蔵書票(S. K. ノイマン)	1912	木版、紙	11.0×8.5	個人蔵		

No.	作家名	作品名	制作・発行年	技法	サイズ(縦×横、cm)	所蔵者	前期	後期
1-115	ラディスラフ・シャロウン	ヴォドニーク(水の精)	1913	石膏	高 59.5	パトリック・シモン・コレクション、プラハ		
1-116	ラディスラフ・シャロウン	少女と龍	ca.1900	水彩、紙	16.3×14.3	パトリック・シモン・コレクション、プラハ		
1-117	ラディスラフ・シャロウン(装幀)	『日本の昔話、二人の老人』(ヤン・ハヴラサ著)	1919	書籍	29.0×18.5	個人蔵		
1-118	オスカー・ココシュカ	少女裸像	1908	水彩、紙	44.4×31.5	パトリック・シモン・コレクション、プラハ		
1-119	リヒャルト・テシュナー	「メフィストフェレスの魔法の王国(ドイツ作家芸術家協会の仮面舞踏会)」ポスター	1904	リトグラフ、紙	124.0×183.5	チェコ国立プラハ工芸美術館		
1-120	リヒャルト・テシュナー	腹切(コンコルディア協会招待状)	1908	リトグラフ、紙	19.0×13.0	パトリック・シモン・コレクション、プラハ		
1-121	リヒャルト・テシュナー	十二宮	ca.1920	木版、紙	15.6×15.4	パトリック・シモン・コレクション、プラハ		
1-122	オタカル・シュターフル	侘しげな教会	1914	木版、紙	15.0×12.5	個人蔵		
1-123	オタカル・シュターフル(表紙)	『お菊さん』(ピエール・ロチ著)	1919	書籍	18.0×13.0	個人蔵		
1-124	オタカル・シュターフル(装幀)	『日本の奥深くへ』(ヤン・ハヴラサ著)	1924	書籍	23.4×16.0	個人蔵		
1-125	オタカル・シュターフル(装幀)	『死の口づけ』(ジョー・フロウハ著)	1935	書籍2冊	18.5×12.7 ／ 18.5×13.0	個人蔵		
1-126	シギスムント・ボウシュカ(表紙)	『霧の窓』(ヤン・ハヴラサ著)	1918	書籍	17.8×12.3	個人蔵		
1-127	梶原緋佐子(表紙、挿画)	『嵐の桜』(ジョー・フロウハ著)	1928/1932	書籍	25.5×19.5	個人蔵		
1-128	ユリウス・ゼイエル(著)	『権八小紫』	1927	書籍	17.5×11.6	個人蔵		
1-129	オタ・マトウシェク(装幀)	『墓の上の微笑み』(ヨゼフ・コプタ著)	1922	書籍	20.6×15.0	個人蔵		
1-130	フェルディナント・ミフル	ウラジオストクの市場通り〈極東より〉(1)	1925	木版、紙	25.0×22.5	パトリック・シモン・コレクション、プラハ		
1-131	フェルディナント・ミフル	市場の風景〈極東より〉(2)	1925	木版、紙	25.0×22.5	パトリック・シモン・コレクション、プラハ		
1-132	フェルディナント・ミフル	洗髪する日本人女性〈極東より〉(3)	1925	木版、紙	25.0×22.5	パトリック・シモン・コレクション、プラハ		
1-133	フェルディナント・ミフル	判子屋〈極東より〉(4)	1925	木版、紙	25.0×22.5	パトリック・シモン・コレクション、プラハ		
1-134	フェルディナント・ミフル	お茶を飲む日本人女性〈極東より〉(5)	1925	木版、紙	25.0×22.5	パトリック・シモン・コレクション、プラハ		
1-135	フェルディナント・ミフル	ウラジオストク港の中国の市場運送者たち〈極東より〉(6)	1925	木版、紙	25.0×22.5	パトリック・シモン・コレクション、プラハ		
1-136	スタニスラフ・コストカ・ノイマン(著)	『吉原』	1927	書籍	19.4×14.2	個人蔵		
1-137	バルボラ・マルケータ・エリアーショヴァー(著)	『日本の娘』	1925	書籍	22.6×15.0	個人蔵		
1-138	オルドジフ・ゼメク(著)	『アジアからヨーロッパへ』	1926	書籍	17.6×11.2	個人蔵		
1-139	ヤン・ハヴラサ(著)	『日本の春』	1932	書籍	20.2×14.6	個人蔵		
1-140	ヤロミール・ヴァーツラフ・シュメイカル(著)	『日本晶眉』	1931	書籍	25.0×18.7	個人蔵		
1-141	ヨゼフ・ヴェニック	「サクラ・ホテル」ポスター	1924	リトグラフ、紙	120.0×89.0	チェコ国立プラハ工芸美術館		
1-141 参考作品	マルチン・フリチュ	ヴァレンチンの善行	1942	映画(部分)		チェコ国立映画アーカイブ		

第2章　ミュシャと日本　Chapter 2 Mucha and Japan

No.	作家名	作品名	制作・発行年	技法	サイズ(縦×横、cm)	所蔵者	前期	後期
2-3	アルフォンス・ミュシャ	「ジョブ」ポスター	1898	リトグラフ、紙	141.0×94.0	三重県立美術館		
2-4	浅井忠	花神(『さをしか』第8号口絵)	1907	木版、紙	22.1×14.8	個人蔵		
2-5	浅井忠	花神	ca.1907	木版、紙	16.3×6.9	個人蔵		
2-6	アルフォンス・ミュシャ	四季	1896	リトグラフ、紙	45.3×63.0	堺 アルフォンス・ミュシャ館(大阪府堺市)		
2-9	アルフォンス・ミュシャ	『主の祈り』(チェコ語版)	1899	書籍	40.6×30.4	堺 アルフォンス・ミュシャ館(大阪府堺市)		
2-10	アルフォンス・ミュシャ(表紙)	『ラ・プリュム』第204号	1897	雑誌	25.5×18.5	個人蔵		
2-12	アルフォンス・ミュシャ	『レスタンプ・モデルヌ』第15号表紙	1898	リトグラフ、紙	41.5×31.5	堺 アルフォンス・ミュシャ館(大阪府堺市)		
2-17	アルフォンス・ミュシャ	『ココリコ』第19号表紙	1899	印刷、紙	29.4×21.6	堺 アルフォンス・ミュシャ館(大阪府堺市)		
2-18	アルフォンス・ミュシャ	12月：霜(『ココリコ』第23号挿画)	1899	印刷、紙	24.3×19.1	堺 アルフォンス・ミュシャ館(大阪府堺市)		
2-20	アルフォンス・ミュシャ(表紙)	『ル・モア』第26号	1901	雑誌	25.6×17.6	個人蔵		
2-22	カルロス・シュヴァーベ	「薔薇十字協会第1回展」ポスター	1892	リトグラフ、紙	185.0×78.3	川崎市市民ミュージアム		

No.	作家名	作品名	制作・発行年	技法	サイズ（縦×横、cm）	所蔵者	前期	後期
2-25	アルフォンス・ミュシャ	「ジョブ」ポスター（小）	1896	リトグラフ、紙	51.0×38.5	インテック		
2-29	アルフォンス・ミュシャ	「サロン・デ・サン ミュシャ作品展」ポスター	1897	リトグラフ、紙	62.2×42.7	インテック		
2-31	アルフォンス・ミュシャ	「トラピスティーヌ酒」ポスター	1897	リトグラフ、紙	206.0×73.5	堺 アルフォンス・ミュシャ館（大阪府堺市）		
2-36	ウジェーヌ・グラッセ	「ジャンヌ・ダルク」ポスター	ca.1890	リトグラフ、紙	120.4×77.2	宇都宮美術館		
2-38	テオフィル・アレクサンドル・スタンラン	「ヴァンジャンヌの殺菌牛乳」ポスター	1894	リトグラフ、紙	134.6×95.1	三浦コレクション、川崎市市民ミュージアム		
2-43		白馬会第7回展目録	1902	印刷、紙	39.1×54.5	三重県立美術館		
2-44		『明星』第6号	1900	雑誌	26.0×18.5	個人蔵		
2-45		『明星』第6号	1900	雑誌	26.1×18.7	個人蔵		
2-46		『明星』第7号	1900	雑誌	26.2×18.6	個人蔵		
2-47		『明星』第11号	1901	雑誌	26.0×18.7	個人蔵		
2-48		『明星』第12号	1901	雑誌	25.5×18.8	個人蔵		
2-49		『明星』第12号	1901	雑誌	26.1×18.8	個人蔵		
2-50		『明星』第13号	1901	雑誌	26.0×18.6	個人蔵		
2-51		『明星』第13号	1901	雑誌	26.0×18.6	個人蔵		
2-52		『明星』第14号	1901	雑誌	26.1×18.7	個人蔵		
2-53		第3『明星』第2号	1902	雑誌	26.2×18.9	個人蔵		
2-54		第3『明星』第5号	1902	雑誌	26.3×19.0	個人蔵		
2-55		『明星』卯歳第4号	1903	雑誌	26.2×18.9	個人蔵		
2-56		『明星』辰歳第1号	1904	雑誌	26.3×18.6	個人蔵		
2-57		『明星』辰歳第4号	1904	雑誌	26.1×18.7	個人蔵		
2-58		『明星』巳歳第10号	1905	雑誌	26.1×18.8	個人蔵		
2-59		『明星』午歳第1号	1906	雑誌	25.8×18.8	個人蔵		
2-60		『明星』午歳第2号	1906	雑誌	26.1×18.7	個人蔵		
2-61		『明星』満100号記念 終刊号	1908	雑誌	25.9×18.7	個人蔵		
2-62		『明星画譜』	1905	木版画集	30.1×22.5	個人蔵		
2-63	一條成美（装幀）	『神来』（日本文学会編）	1900	書籍	15.1×10.8	個人蔵		
2-64	一條成美（表紙）	『新聲』第7編第2号	1902	雑誌	25.7×18.3	個人蔵		
2-65	青木繁（表紙、挿画）	『夕潮』（岩野泡鳴著）	1904	書籍	18.7×12.7	個人蔵		
2-66	太田三郎（表紙）	『み津潮 ハガキ文学定期増刊』	1906	雑誌	22.5×15.0	個人蔵		
2-67	橋本邦助（表紙）	『ハガキ文学』第3巻第6号	1906	雑誌	22.5×15.0	個人蔵		
2-68	岡野栄（表紙）	『ハガキ文学』第6巻第8号	1909	雑誌	22.8×16.2	個人蔵		
2-70	藤島武二（装幀）	『みだれ髪』（与謝野晶子著）	1901/1906	書籍	19.0×8.6	個人蔵		
2-71	藤島武二（装幀）	『はな』（川上瀧彌・森廣著）	1902	書籍	23.2×15.6	個人蔵		
2-72	藤島武二（装幀）	『はな』（川上瀧彌・森廣著）	1902	書籍	23.2×15.8	個人蔵		
2-73	藤島武二（装幀）	『はな』（川上瀧彌・森廣著）	1902	書籍	23.3×15.6	個人蔵		
2-74	藤島武二（装幀）	『毒草』（与謝野鉄幹・晶子著）	1904	書籍	14.6×14.8	和歌山県立近代美術館		
2-75	藤島武二（表紙）	『中学世界』第8巻第5号	1905	雑誌	22.2×14.8	個人蔵		
2-76	藤島武二（装幀）	『小扇』（与謝野晶子著）	1904/1905	書籍	19.0×8.7	千葉市美術館		
2-77	藤島武二	鼓〈音楽六題〉	1901–06	水彩、紙	8.9×8.1	ひろしま美術館		
2-78	藤島武二	琵琶〈音楽六題〉	1901–06	水彩、紙	9.1×8.0	ひろしま美術館		
2-79	藤島武二	笛〈音楽六題〉	1901–06	水彩、紙	9.3×8.0	ひろしま美術館		
2-80	藤島武二	三味線〈音楽六題〉	1901–06	水彩、紙	7.1×8.2	ひろしま美術館		
2-81	藤島武二	ヴァイオリン〈音楽六題〉	1901–06	水彩、紙	径 8.5	ひろしま美術館		
2-82	藤島武二	ピアノ〈音楽六題〉	1901–06	水彩、紙	9.3×8.3	ひろしま美術館		
2-83	藤島武二	絵葉書　星・月〈三光〉	1905	石版、金属凸版	各14.2×9.0	個人蔵		
2-84	長原孝太郎	京都	1903	油彩、板	24.2×33.4	岐阜県美術館		

No.	作家名	作品名	制作・発行年	技法	サイズ（縦×横、cm）	所蔵者	前期	後期
2-85	長原孝太郎（装幀）	『くさぶえ』（紫苑会編）	1901	書籍	18.6×12.6	タルイピアセンター		
2-86	長原孝太郎	「白馬会第6回展」ポスター	1901	リトグラフ、紙	34.5×50.0	三重県立美術館		
2-87	藤島武二（装幀）	『藝苑』第1	1902	雑誌	22.4×15.3	タルイピアセンター		
2-88	長原孝太郎（表紙）	『藝文』巻第1	1902	雑誌	22.4×15.1	個人蔵		
2-89	長原孝太郎	停車場	1902	リトグラフ、紙	12.0×12.1	三重県立美術館		
2-90	長原孝太郎	停車場（2）	1902	リトグラフ、紙	12.0×12.1	三重県立美術館		
2-91	長原孝太郎	アヤメを持つ少女	制作年不詳	リトグラフ、紙	18.0×18.0	三重県立美術館		
2-92	長原孝太郎（表紙）	『藝文』巻第2	1902	雑誌	22.6×15.2	タルイピアセンター		
2-93	長原孝太郎（装幀）	『即興詩人』（アンデルセン著・森林太郎訳）	1902/1911	書籍	22.8×15.6	タルイピアセンター		
2-94	長原孝太郎（表紙）	『萬年艸』巻第2	1902	雑誌	22.8×15.2	タルイピアセンター		
2-95	長原孝太郎（装幀）	『玉匣両浦嶋』（森林太郎著）	1902	書籍	15.2×11.2	タルイピアセンター		
2-96	長原孝太郎（装幀）	『長宗我部信親』（森林太郎著）	1903	書籍	15.0×10.5	タルイピアセンター		
2-97	長原孝太郎（装幀）	『思草』（佐佐木信綱著）	1903	書籍	19.3×13.7	個人蔵（千葉市美術館寄託）		
2-98	長原孝太郎	「白馬会第9回展」ポスター	1904	リトグラフ、紙	39.3×46.8	三重県立美術館		
2-99	中澤弘光	乱れ髪歌がるた	1901	墨・水彩、紙	7.4×5.3	三重県立美術館		
2-100	中澤弘光	睡（舞子）〈美人と感覚〉	1905	木版、紙	14.0×9.1	三重県立美術館		
2-101	中澤弘光	嗅（女学生）〈美人と感覚〉	1905	木版、紙	14.0×9.1	三重県立美術館		
2-102	中澤弘光	聴（巫女）〈美人と感覚〉	1905	木版、紙	14.0×9.1	三重県立美術館		
2-103	中澤弘光	触（娘）〈美人と感覚〉	1905	木版、紙	14.0×9.1	三重県立美術館		
2-104	中澤弘光	視（芸妓）〈美人と感覚〉	1905	木版、紙	14.0×9.1	三重県立美術館		
2-105	中澤弘光	味（令嬢）〈美人と感覚〉	1905	木版、紙	14.0×9.1	三重県立美術館		
2-106	中澤弘光	たとう〈美人と感覚〉	1905	木版、紙	18.1×12.1	三重県立美術館		
2-107		題句〈美人と感覚〉	1905	木版、紙	15.2×10.3	三重県立美術館		
2-108	中澤弘光（表紙）	『文藝倶楽部』第10巻第7号	1904	雑誌	22.4×15.0	三重県立美術館		
2-109	中澤弘光（装幀）	『藻しほ艸』（細川苍紅著）	1904	書籍	22.3×15.6	三重県立美術館		
2-110	中澤弘光（表紙）	『新聲』第13編第6号	1905	雑誌	25.5×18.4	三重県立美術館		
2-111	中澤弘光（表紙）	『月刊スケッチ』第5号	1905	雑誌	22.6×15.3	三重県立美術館		
2-112	中澤弘光（表紙）	『月刊スケッチ』第6号	1905	雑誌	22.6×15.3	三重県立美術館		
2-113	中澤弘光（装幀）	『恋衣』（山川登美子・増田雅子・与謝野晶子著）	1905	書籍	19.0×7.8	千葉市美術館		
2-114	中澤弘光（装幀）	『舞姫』（与謝野晶子著）	1906	書籍	18.6×11.5	三重県立美術館		
2-115	中澤弘光（表紙）	『中学世界』第9巻第2号	1906	雑誌	22.6×14.7	三重県立美術館		
2-116	中澤弘光（装幀）	『黒髪』（与謝野晶子著）	1907	書籍	19.0×10.3	三重県立美術館		
2-117	中澤弘光（装幀）	『常夏』（与謝野晶子著）	1908	書籍	18.7×11.6	三重県立美術館		
2-118	中澤弘光（表紙）	『中学世界』第13巻第5号	1910	雑誌	22.3×15.0	三重県立美術館		
2-119	中澤弘光（表紙）	『新小説』第19年第4巻	1914	雑誌	22.0×15.4	三重県立美術館		
2-120	中澤弘光（挿画）	『愁人』（小川未明著）	1907	書籍	19.3×13.5	三重県立美術館		
2-121	和田英作（装幀）	『海賊』（バイロン著・木村鷹太郎訳）	1905	書籍	19.3×13.5	個人蔵（千葉市美術館寄託）		
2-122	和田英作（装幀）	『小詩國』（金子薫園著）	1905	書籍	19.0×10.5	個人蔵（千葉市美術館寄託）		
2-123	和田英作（装幀）	『佐保姫』（与謝野晶子著）	1909	書籍	19.3×13.8	個人蔵（千葉市美術館寄託）		
2-124	杉浦非水（装幀）	『夢之華』（与謝野晶子著）	1906	書籍	18.7×11.2	三重県立美術館		
2-125	杉浦非水（装幀）	『あやめ草』（あやめ会著）	1906	書籍	22.6×15.6	愛媛県美術館		
2-126	杉浦非水（表紙）	『みつこしタイムス』第8巻第5号	1910	雑誌	26.0×18.8	愛媛県美術館		
2-127	杉浦非水（表紙）	『三越』第2巻第2号	1912	雑誌	25.7×18.4	愛媛県美術館		
2-128	杉浦非水	「光風会洋画図按展覧会」ポスター	1912	木版、紙	66.5×39.0	愛媛県美術館		
2-129	杉浦非水（表紙）	『文章世界』第8巻第3号	1913	雑誌	22.1×15.0	愛媛県美術館		
2-130	杉浦非水（装幀）	『百合子』上・中・下（菊池幽芳著）	1913	書籍	各23.1×16.0	愛媛県美術館		

No.	作家名	作品名	制作・発行年	技法	サイズ(縦×横、cm)	所蔵者	前期	後期
2-131	杉浦非水	「三越呉服店 春の新柄陳列会」ポスター	1914	リトグラフ、紙	105.6×76.4	愛媛県美術館		
2-132	杉浦非水	「三越呉服店 新館落成」ポスター	1914	リトグラフ、紙	106.5×77.0	愛媛県美術館		
2-133	杉浦非水	「三越呉服店(エンゼル)」ポスター	1915	リトグラフ、紙	106.8×77.3	愛媛県美術館		
2-134	杉浦非水	『非水の図案』たとう	1916	布装	31.0×23.0	愛媛県美術館		
2-135	杉浦非水	自像(『非水の図案』)	1916	印刷、紙	31.0×22.8	愛媛県美術館		
2-136	杉浦非水	『非水の図案』より	1916	印刷、紙	31.0×22.8	愛媛県美術館		
2-138	佐藤生巣	絵葉書	ca.1906	平版、紙	14.1×9.0	山田俊幸氏蔵		
2-139	佐藤生巣	絵葉書	ca.1906	平版、紙	14.2×9.1	山田俊幸氏蔵		
2-140	佐藤生巣	絵葉書	ca.1906	平版、紙	14.2×9.2	山田俊幸氏蔵		
2-141	佐藤生巣	絵葉書	ca.1906	平版、紙	14.1×9.1	山田俊幸氏蔵		
2-142	佐藤生巣	絵葉書「丙午天長佳日 第五回陸上大運動会」	1906	平版、紙	9.0×14.2	山田俊幸氏蔵		
2-143	作者不詳	絵葉書「A HAPPY NEW YEAR」	1907	平版、紙	14.1×9.2	山田俊幸氏蔵		
2-144	橋口五葉(装幀)	『虞美人草』(夏目漱石著)	1907/1913	書籍	22.6×15.0	個人蔵(千葉市美術館寄託)		
2-145	橋口五葉(装幀)	『モリエエル全集』上・中・下編(草野柴二訳)	1908	書籍	各22.2×15.5	個人蔵(千葉市美術館寄託)		
2-146	橋口五葉(装幀)	『四篇』(夏目漱石著)	1910	書籍	22.6×15.0	個人蔵(千葉市美術館寄託)		
2-147	中村不折	『明治三十九年略暦』	1906	冊子	20.8×14.4	千葉市美術館		
2-148	中村不折(装幀)・橋口五葉(挿画)	『漾虚集』(夏目漱石著)	1906/1914	書籍	22.5×16.0	個人蔵(千葉市美術館寄託)		

第3章　日本とオルリク　Chapter 3 Japan and Orlik

No.	作家名	作品名	制作・発行年	技法	サイズ(縦×横、cm)	所蔵者	前期	後期
3-1	エミール・オルリク	農場の冬の眺め、イェセニーキ	1920以前	油彩、キャンバス	69.0×52.5	プロ・アルテ、プラハ		
3-2	エミール・オルリク	風景(『パン』第3年第3号)	ca.1897	エッチング、紙	6.1×12.9	宮城県美術館		
3-3	エミール・オルリク	野良(『パン』第3年第3号)	ca.1897	エッチング、紙	6.8×13.3	宮城県美術館		
3-4	エミール・オルリク	気晴らし(『パン』第3年第3号)	ca.1897	エッチング、紙	6.6×5.2	宮城県美術館		
3-5	エミール・オルリク	さいころで遊ぶ人(『パン』第3年第3号)	ca.1897	エッチング、紙	5.3×8.4	宮城県美術館		
3-6	エミール・オルリク	エジンバラ(『パン』第5年第2号)	ca.1899	リトグラフ、紙	12.7×21.6	宮城県美術館		
3-7		『パン』第1年第2巻	1895	雑誌	36.6×28.6	京都国立近代美術館		
3-8		『パン』第2年第1巻	1896	雑誌(合本)	36.6×28.6	京都国立近代美術館		
3-9		『パン』第2年第2巻	1896	雑誌(合本)	36.6×28.6	京都国立近代美術館		
3-10		『パン』第3年第2巻	1897	雑誌(合本)	36.6×28.6	京都国立近代美術館		
3-11		『パン』第4年第1巻	1898	雑誌(合本)	36.6×28.6	京都国立近代美術館		
3-12		『ユーゲント』1897年第2巻	1897	雑誌(合本)	30.0×23.6	和歌山県立近代美術館		
3-13		『ユーゲント』1898年第2巻	1898	雑誌(合本)	30.0×29.2	和歌山県立近代美術館		
3-15	フェリックス・ヴァロットン	大騒ぎ、あるいはカフェの情景	1892	木版、紙	17.0×25.0	町田市立国際版画美術館		
3-16	フェリックス・ヴァロットン	街頭デモ	ca.1893	木版、紙	20.5×32.0	町田市立国際版画美術館		
3-17	フェリックス・ヴァロットン	信頼	1895	木版、紙	18.0×22.2	町田市立国際版画美術館		
3-18	フェリックス・ヴァロットン	動く歩道〈万国博覧会〉Ⅰ	1901	木版、紙	12.4×16.0	町田市立国際版画美術館		
3-19	フェリックス・ヴァロットン	驟雨〈万国博覧会〉Ⅱ	1901	木版、紙	12.2×16.5	町田市立国際版画美術館		
3-20	フェリックス・ヴァロットン	ラリックのショーウィンドー 〈万国博覧会〉Ⅲ	1901	木版、紙	12.2×16.4	町田市立国際版画美術館		
3-21	フェリックス・ヴァロットン	5時〈万国博覧会〉Ⅳ	1901	木版、紙	16.5×12.4	町田市立国際版画美術館		
3-22	フェリックス・ヴァロットン	カイロ街〈万国博覧会〉Ⅴ	1901	木版、紙	16.6×12.2	町田市立国際版画美術館		
3-23	フェリックス・ヴァロットン	花火〈万国博覧会〉Ⅵ	1901	木版、紙	16.4×12.3	町田市立国際版画美術館		
3-24	ウィリアム・ニコルソン	『スポーツ絵暦』(ラドヤード・キプリング文)	1898	リトグラフ／書籍	16.4×12.3	個人蔵		
3-25	ウィリアム・ニコルソン	〈12人の肖像〉	1899	リトグラフ／版画集	26.2×25.1 ／ 27.1×24.9 ／ 26.2×25.1	和歌山県立近代美術館		

No.	作家名	作品名	制作・発行年	技法	サイズ（縦×横、cm）	所蔵者	前期	後期
3-26	グスタフ・クリムト	「ウィーン分離派第1回展」ポスター	1898	リトグラフ、紙	95.0×69.0	京都工芸繊維大学美術工芸資料館		
3-27	ヨゼフ・マリア・オルブリヒ	「ウィーン分離派第2回展」ポスター	1898	リトグラフ、紙	154.0×69.0	京都工芸繊維大学美術工芸資料館		
3-29	コロマン・モーザー	「ウィーン分離派第5回展」ポスター	1899	リトグラフ、紙	97.6×65.5	京都工芸繊維大学美術工芸資料館		
3-32	アドルフ・ベーム	「ウィーン分離派第8回展」ポスター	1900	リトグラフ、紙	93.7×62.4	京都工芸繊維大学美術工芸資料館		
3-33		『ヴェル・サクルム』第1年次第11号	1898	雑誌	30.0×29.1	宮城県美術館		
3-34		『ヴェル・サクルム』第2年次第4号	1899	雑誌	29.4×29.0	宮城県美術館		
3-35		『ヴェル・サクルム』第2年次第9号	1899	雑誌	29.3×28.6	和歌山県立近代美術館		
3-36	エミール・オルリク	逍遥するルテニア人〈小版画1896–1899〉	1896–99	木版、紙	6.2×6.3	宮城県美術館		
3-37	エミール・オルリク	アトリエで〈小版画1896–1899〉	1896–99	木版、紙	13.3×15.6	宮城県美術館		
3-38	エミール・オルリク	新聞〈小版画1896–1899〉	1896–99	木版、紙	7.9×10.3	宮城県美術館		
3-39	エミール・オルリク	プラハのオルリク宅近くの裁縫工場〈小版画1896–1899〉	1896–99	木版、紙	12.2×18.5	宮城県美術館		
3-41	エミール・オルリク	ロンドンの怠け者たち〈小版画1896–1899〉	1896–99	木版、紙	11.7×19.3	宮城県美術館		
3-42	エミール・オルリク	旧プラハ	1897/1902	木版、紙	18.7×13.8	和歌山県立近代美術館		
3-44	エミール・オルリク	二人の日本人 習作	1900	鉛筆・インク・水彩、紙	20.0×15.5	パトリック・シモン・コレクション、プラハ		
3-45	エミール・オルリク	日本の子供たち	1900–01	木版、紙	16.0×11.3	宮城県美術館		
3-47	エミール・オルリク	日本の旅人	1901	木版、紙	22.0×30.8	千葉市美術館		
3-49	エミール・オルリク	日本の手品師	1900	木版、紙	18.6×15.4	宮城県美術館		
3-54	エミール・オルリク	日本の絵師（狩野友信）	1902	オフセット、紙	19.4×15.7	個人蔵		
3-55	エミール・オルリク	日本の彫師	1902	オフセット、紙	19.3×16.0	個人蔵		
3-56	エミール・オルリク	日本の摺師	1902	オフセット、紙	19.2×15.9	個人蔵		
3-57	エミール・オルリク	柳の下の娘	1900	木版、紙	18.4×36.0	パトリック・シモン・コレクション、プラハ		
3-58	エミール・オルリク	富士山への巡礼	1901	木版、紙	23.8×42.2	パトリック・シモン・コレクション、プラハ		
3-59	エミール・オルリク	日本橋、東京〈日本便り〉	1900–01	リトグラフ、紙	19.3×18.4	宮城県美術館		
3-60	エミール・オルリク	日本橋、東京	1901	リトグラフ、紙	36.9×27.1	パトリック・シモン・コレクション、プラハ		
3-61	エミール・オルリク	東京の通り〈日本便り〉	1900–01	リトグラフ、紙	19.9×23.8	宮城県美術館		
3-63	エミール・オルリク	江戸橋、東京〈日本便り〉	1900–01	リトグラフ、紙	20.5×16.0	宮城県美術館		
3-64	エミール・オルリク	劇場、茶屋〈日本便り〉	1900–01	リトグラフ、紙	17.6×23.6	宮城県美術館		
3-65	エミール・オルリク	大工達〈日本便り〉	1900–01	リトグラフ、紙	23.0×16.2	宮城県美術館		
3-67	エミール・オルリク	端午の節句〈日本便り〉	1900–01	リトグラフ、紙	24.0×11.9	杜若文庫		
3-68	エミール・オルリク	築地第一ホテルの前の人力車	1901	リトグラフ、紙	22.0×25.2	パトリック・シモン・コレクション、プラハ		
3-69	エミール・オルリク	東京の古城の堤	1901	リトグラフ、紙	23.8×37.8	宮城県美術館		
3-70	エミール・オルリク	蔵書票（マテュー・リュッツェンキルヒェン）	ca.1898	木版、紙	7.2×5.7	個人蔵		
3-71	エミール・オルリク	蔵書票（マテュー・リュッツェンキルヒェン）	ca.1898	木版、紙	7.2×5.7	個人蔵		
3-72	エミール・オルリク	蔵書票（マテュー・リュッツェンキルヒェン）	ca.1898	木版、紙	7.2×5.7	個人蔵		
3-73	エミール・オルリク	蔵書票（エミール・オルリク）	1897	リトグラフ、紙	8.6×7.1	和歌山県立近代美術館		
3-74		『白樺』第1巻第7号	1910	雑誌	22.2×15.1	和歌山県立近代美術館		
3-75		『白樺』第2巻第6号	1911	雑誌	22.5×15.2	和歌山県立近代美術館		
3-76	長原孝太郎	雨降り	制作年不詳	水彩・インク、紙	22.8×30.5	三重県立美術館		
3-77	長原孝太郎	店先	1889	水彩・ペン、紙	17.8×12.3	三重県立美術館		
3-78	長原孝太郎	牛肉屋の二階	1892	ペン・彩色、紙	18.6×24.3	三重県立美術館		
3-79	長原孝太郎	焼芋屋	制作年不詳	水彩、紙	23.0×30.6	三重県立美術館		
3-80	ヘレン・ハイド	田圃から	1901	木版、紙	55.5×11.9	千葉市美術館		
3-81	ヘレン・ハイド	冬	1901	木版、紙	18.6×37.8	千葉市美術館		
3-82	ヘレン・ハイド	鏡	1904	木版、紙	36.4×10.7	千葉市美術館		
3-83	ヘレン・ハイド	入浴	1905	木版、紙	49.2×29.2	千葉市美術館		
3-84	ヘレン・ハイド	帰路	1907	木版、紙	39.0×21.2	千葉市美術館		

No.	作家名	作品名	制作・発行年	技法	サイズ（縦×横、cm）	所蔵者	前期	後期
3-85	ヘレン・ハイド	鍋屋	1908	木版、紙	33.5×45.1	千葉市美術館		
3-86	エミール・オルリク	日本婦人と印度人（『明星』辰歳第1号）	1904	木版、紙	13.0×19.5	千葉市美術館		
3-87	山本鼎	漁夫（『明星』辰歳第7号）	1904	木版、紙	16.3×11.0	千葉市美術館		
3-89		『方寸』第1巻第5号	1907	雑誌	31.0×22.7	千葉市美術館		
3-90		『方寸』第2巻第3号	1908	雑誌	30.2×22.5	千葉市美術館		
3-91		『方寸』第2巻第4号	1908	雑誌	30.0×22.5	千葉市美術館		
3-92		『方寸』第2巻第7号	1908	雑誌	30.3×22.5	千葉市美術館		
3-93		『方寸』第3巻第8号	1909	雑誌	30.0×22.4	千葉市美術館		
3-94		『方寸』第4巻第2号	1910	雑誌	29.9×22.3	千葉市美術館		
3-95		『方寸』第2巻第5号	1908	雑誌	30.2×22.5	千葉市美術館		
3-96		『方寸』第2巻第6号	1908	雑誌	30.2×22.5	千葉市美術館		
3-97		『方寸』第3巻第3号	1909	雑誌	30.1×22.7	千葉市美術館		
3-98		『方寸』第4巻第1号	1910	雑誌	30.1×22.3	千葉市美術館		
3-99		『四十二年方寸画暦』	1908	冊子	19.0×11.7	千葉市美術館		
3-100		『四十三年方寸画暦』	1909	冊子	18.0×11.1	千葉市美術館		
3-101	織田一磨	愛宕山〈東京風景〉	1916	リトグラフ、紙	40.0×26.0	千葉市美術館		
3-103	織田一磨	十二階〈東京風景〉	1916	リトグラフ、紙	43.1×18.2	和歌山県立近代美術館		
3-104	織田一磨	日本橋〈東京風景〉	1916	リトグラフ、紙	28.5×39.0	千葉市美術館		
3-106	織田一磨	目白坂下〈東京風景〉	1916	リトグラフ、紙	45.0×24.5	千葉市美術館		
3-108	織田一磨	小舟町河岸〈東京風景〉	1916	リトグラフ、紙	44.0×29.5	千葉市美術館		
3-110	織田一磨	待乳山から隅田川〈東京風景〉	1916	リトグラフ、紙	28.0×41.0	千葉市美術館		
3-112	織田一磨	柳橋之雨〈東京風景〉	1916	リトグラフ、紙	28.7×39.5	和歌山県立近代美術館		
3-113	織田一磨	駿河台ニコライ会堂〈東京風景〉	1916	リトグラフ、紙	39.0×29.0	千葉市美術館		
3-115	織田一磨	和田倉門〈東京風景〉	1916	リトグラフ、紙	28.0×39.0	千葉市美術館		
3-117	織田一磨	大根河岸〈東京風景〉	1916	リトグラフ、紙	38.5×28.5	千葉市美術館		
3-119	織田一磨	小日向大日堂〈東京風景〉	1916	リトグラフ、紙	29.0×43.5	千葉市美術館		
3-121	織田一磨	築地河岸〈東京風景〉	1916	リトグラフ、紙	29.5×40.0	千葉市美術館		
3-123	織田一磨	洲崎〈東京風景〉	1916	リトグラフ、紙	25.5×42.5	千葉市美術館		
3-125	織田一磨	上野広小路〈東京風景〉	1916	リトグラフ、紙	40.0×28.0	千葉市美術館		
3-127	織田一磨	木場雪景〈東京風景〉	1917	リトグラフ、紙	27.0×44.0	千葉市美術館		
3-129	織田一磨	本郷龍岡町〈東京風景〉	1917	リトグラフ、紙	28.0×43.5	千葉市美術館		
3-131	織田一磨	芝御霊屋〈東京風景〉	1917	リトグラフ、紙	30.0×45.0	千葉市美術館		
3-133	織田一磨	上野之桜〈東京風景〉	1917	リトグラフ、紙	40.0×27.0	千葉市美術館		
3-135	織田一磨	品川之雨〈東京風景〉	1917	リトグラフ、紙	25.0×42.0	千葉市美術館		
3-137	織田一磨	神楽坂〈東京風景〉	1917	リトグラフ、紙	26.5×43.0	千葉市美術館		
3-139	織田一磨	道頓堀〈大阪風景〉	1917	リトグラフ、紙	44.0×28.3	個人蔵		
3-140	織田一磨	永代浜〈大阪風景〉	1917	リトグラフ、紙	30.8×46.2	個人蔵		
3-141	織田一磨	東横堀川〈大阪風景〉	1917	リトグラフ、紙	29.0×44.2	個人蔵		
3-142	織田一磨	道頓堀川夜景〈大阪風景〉	1917	リトグラフ、紙	44.3×28.8	個人蔵		
3-143	織田一磨	天神橋遠望〈大阪風景〉	1918	リトグラフ、紙	29.5×44.7	個人蔵		
3-144	織田一磨	津村別院〈大阪風景〉	1918	リトグラフ、紙	43.8×27.9	個人蔵		
3-145	織田一磨	四ツ橋雨景〈大阪風景〉	1918	リトグラフ、紙	29.5×44.9	個人蔵		
3-146	織田一磨	中之島公園〈大阪風景〉	1918	リトグラフ、紙	27.3×40.5	個人蔵		
3-147	織田一磨	四天王寺東門雨景〈大阪風景〉	1918	リトグラフ、紙	29.3×38.5	個人蔵		
3-148	織田一磨	安治川口〈大阪風景〉	1918	リトグラフ、紙	44.7×28.3	個人蔵		
3-149	織田一磨	茶臼山〈大阪風景〉	1918	リトグラフ、紙	29.1×42.5	個人蔵		

No.	作家名	作品名	制作・発行年	技法	サイズ(縦×横、cm)	所蔵者	前期	後期
3-150	織田一磨	浮世小路(月夜)〈大阪風景〉	1918	リトグラフ、紙	43.0×27.8	個人蔵		
3-151	織田一磨	住吉(雪景)〈大阪風景〉	1919	リトグラフ、紙	43.6×28.2	個人蔵		
3-152	織田一磨	京町橋夜景〈大阪風景〉	1919	リトグラフ、紙	42.6×28.7	個人蔵		
3-153	織田一磨	土佐堀川〈大阪風景〉	1919	リトグラフ、紙	28.0×43.3	個人蔵		
3-154	織田一磨	川崎の渡し〈大阪風景〉	1919	リトグラフ、紙	28.7×43.3	個人蔵		
3-155	織田一磨	京町堀〈大阪風景〉	1919	リトグラフ、紙	29.0×44.0	個人蔵		
3-156	織田一磨	高津神社〈大阪風景〉	1919	リトグラフ、紙	44.0×29.3	個人蔵		
3-157	織田一磨	築港〈大阪風景〉	1919	リトグラフ、紙	30.5×45.7	個人蔵		
3-158	織田一磨	新淀川附近〈大阪風景〉	1919	リトグラフ、紙	29.8×45.8	個人蔵		

第4章　オルリク―日本の思い出／後継者たち　Chapter 4　Memories of Japan / Orlik's Successors

No.	作家名	作品名	制作・発行年	技法	サイズ(縦×横、cm)	所蔵者	前期	後期
4-1	エミール・オルリク	役者の顔〈日本便り〉	1902	エッチング・ルーレット、紙	5.2×4.0	宮城県美術館		
4-3	エミール・オルリク	母と子〈日本便り〉	1902	エッチング、紙	13.3×9.6	千葉市美術館		
4-4	エミール・オルリク	母と子(試摺)	1902	エッチング、紙	13.1×9.5	杜若文庫		
4-6	エミール・オルリク	雨の日	1902-03	エッチング、紙	16.0×11.2	杜若文庫		
4-8	エミール・オルリク	書き物をする少女(試摺)	1902	エッチング・アクアチント、紙	17.3×12.5	杜若文庫		
4-9	エミール・オルリク	寺の前で〈日本便り〉	1902-03	エッチング・アクアチント・ルーレット、紙	20.2×19.6	宮城県美術館		
4-10	エミール・オルリク	娼婦	1902	エッチング・アクアチント・ルーレット、紙	19.7×13.3	千葉市美術館		
4-13	エミール・オルリク	夕(試摺)	1902	エッチング・ルーレット、紙	16.4×11.9	杜若文庫		
4-14	エミール・オルリク	農家の女性〈日本便り〉	1902-03	エッチング・アクアチント・ルーレット、紙	20.1×9.9	宮城県美術館		
4-16	エミール・オルリク	江の島で(試摺)	1902	エッチング・アクアチント、紙	9.6×13.3	杜若文庫		
4-18	エミール・オルリク	仕立屋	1902	エッチング・アクアチント、紙	15.7×16.6	杜若文庫		
4-19	エミール・オルリク	祭りの行列を見る日本の子供たち	1902	アクアチント・エッチング、紙	21.5×34.0	宮城県美術館		
4-20	エミール・オルリク	頭巾姿の日本女性	1901	エッチング・ルーレット、紙	23.9×16.0	杜若文庫		
4-22	エミール・オルリク	御高祖頭巾の女性	1902	エッチング、紙	8.6×6.4	杜若文庫		
4-23	エミール・オルリク	髪結い	1902	エッチング・ドライポイント、紙	17.2×12.3	杜若文庫		
4-24	エミール・オルリク	女性十態	ca.1902	エッチング、紙	11.8×10.8	杜若文庫		
4-25	エミール・オルリク	冬景色	ca.1904	木版、紙	18.7×13.8	和歌山県立近代美術館		
4-26	エミール・オルリク	琵琶湖	1902	エッチング、アクアチント、ルーレット、紙	10.7×11.0	町田市立国際版画美術館		
4-27	エミール・オルリク	失題	1906	エッチング、紙	20.5×24.4	宮城県美術館		
4-28	エミール・オルリク	蔵書票(マルタ・ベンツゲン)	1907	亜鉛凸版、紙	11.4×5.7	個人蔵		
4-29	エミール・オルリク(装幀)	『KOKORO（こころ）』(ラフカディオ・ハーン著)	1905	書籍	21.0×14.6	和歌山県立近代美術館		
4-30	エミール・オルリク(装幀)	『LOTOS（蓮）』(ラフカディオ・ハーン著)	1906	書籍	20.9×15.0	和歌山県立近代美術館		
4-31	エミール・オルリク(装幀)	『IZUMO（知られざる日本の面影）』(ラフカディオ・ハーン著)	1907	書籍	20.9×15.0	和歌山県立近代美術館		
4-32	エミール・オルリク(装幀)	『KYUSHU（東の国から）』(ラフカディオ・ハーン著)	1908	書籍	21.0×14.8	和歌山県立近代美術館		
4-33	エミール・オルリク(装幀)	『KWAIDAN（怪談）』(ラフカディオ・ハーン著)	1909	書籍	20.8×15.1	和歌山県立近代美術館		
4-34	エミール・オルリク(装幀)	『BUDDHA（仏の畑の落穂）』(ラフカディオ・ハーン著)	1910	書籍	20.8×15.0	和歌山県立近代美術館		
4-35	エミール・オルリク／シャーロット・ロリンズ	孔雀のいる静物	ca.1905	木版、紙	43.6×48.0	パトリック・シモン・コレクション、プラハ		
4-37		『ユーゲント』1912年第1巻	1912	雑誌(合本)	29.8×24.5	和歌山県立近代美術館		
4-38		『ユーゲント』1919年第2巻	1919	雑誌(合本)	31.8×25.8	和歌山県立近代美術館		
4-39	アルフレート・ロラー	「ウィーン分離派第9回展」ポスター	1901	リトグラフ、紙	93.8×62.4	京都工芸繊維大学美術工芸資料館		

No.	作家名	作品名	制作・発行年	技法	サイズ（縦×横、cm）	所蔵者	前期	後期
4-40	コロマン・モーザー	「ウィーン分離派第13回展」ポスター	1902	リトグラフ、紙	176.0×60.0	京都工芸繊維大学美術工芸資料館		
4-42	アルフレート・ロラー	「ウィーン分離派第14回展」ポスター	1902	リトグラフ、紙	91.5×60.0	京都工芸繊維大学美術工芸資料館		
4-43		『ウィーン分離派第14回展カタログ』	1902	冊子	18.0×15.7	和歌山県立近代美術館		
4-44	アドルフ・ベーム	「ウィーン分離派第15回展」ポスター	1902	リトグラフ、紙	94.5×31.5	京都工芸繊維大学美術工芸資料館		
4-45		『ヴェル・サクルム』第4年次第8号	1901	雑誌	25.9×24.3	宮城県美術館		
4-46		『ヴェル・サクルム』第5年次第12号	1902	雑誌	25.7×24.5	宮城県美術館		
4-47		『ヴェル・サクルム』第5年次第18号	1902	雑誌	25.8×24.1	宮城県美術館		
4-48		『ヴェル・サクルム』第5年次第19号	1902	雑誌	25.7×24.4	宮城県美術館		
4-49		『ヴェル・サクルム』第6年次第2号	1903	雑誌	25.7×24.5	宮城県美術館		
4-50		『ヴェル・サクルム』第6年次第4号	1903	雑誌	26.0×25.5	京都国立近代美術館		
4-51		『ヴェル・サクルム』第6年次第12号	1903	雑誌	26.0×25.5	京都国立近代美術館		
4-52		『ヴェル・サクルム』第6年次第15号	1903	雑誌	26.0×25.5	京都国立近代美術館		
4-53		『ヴェル・サクルム』第6年次第16号	1903	雑誌	26.0×25.5	京都国立近代美術館		
4-54		『ヴェル・サクルム』第6年次第21号	1903	雑誌	26.0×25.5	京都国立近代美術館		
4-55		『ヴェル・サクルム』第6年次別冊	1903	雑誌	26.0×25.5	京都国立近代美術館		
4-56	コロマン・モーザー	月次絵	ca.1899	リトグラフ、カードボート	各41.0×6.5	京都国立近代美術館		
4-57	コロマン・モーザー	11月（『ヴェル・サクルム』第5年次第18号267頁）のためのオリジナル版画	1902	木版、和紙	15.2×14.6	京都国立近代美術館		
4-58	カール・モル	冬（ウィーンのホーエ・ヴァルテ）	1903	木版、手漉カードボード	43.0×43.0	京都国立近代美術館		
4-59	カール・モル	雪に埋もれたデプリンクの別荘（ホーエ・ヴァルテ）（『ヴェル・サクルム』第6年次第15号275頁のためのオリジナル版画）	1903	木版、和紙	43.4×42.7	京都国立近代美術館		
4-60	ルートヴィヒ・ハインリヒ・ユンクニッケル	豹〈シェーンブルンの動物たち〉	1909	木版、和紙	29.2×36.7	京都国立近代美術館		
4-61	ルートヴィヒ・ハインリヒ・ユンクニッケル	ライオンの頭部〈シェーンブルンの動物たち〉	1909	木版、和紙	30.3×28.2	京都国立近代美術館		
4-62	ルートヴィヒ・ハインリヒ・ユンクニッケル	フラミンゴ〈シェーンブルンの動物たち〉	1909	木版、和紙	29.8×28.2	京都国立近代美術館		
4-63	ルートヴィヒ・ハインリヒ・ユンクニッケル	禿鸛〈シェーンブルンの動物たち〉	1909	木版、和紙	29.2×28.5	京都国立近代美術館		
4-64	ルートヴィヒ・ハインリヒ・ユンクニッケル	三羽の青い鸚鵡〈シェーンブルンの動物たち〉	1909	木版、和紙	31.0×28.5	京都国立近代美術館		
4-65	ルートヴィヒ・ハインリヒ・ユンクニッケル	七羽の鸚鵡	ca.1914	木版、和紙	41.7×35.0	京都国立近代美術館		
4-67	ヴァルター・クレム	荷車を引く馬	ca.1904	木版、和紙	15.6×16.1	ダッハウ市、ティーマンコレクション／ダッハウ絵画館		
4-69	ヴァルター・クレム	雄鶏	1903	木版、和紙	14.6×14.6	ダッハウ市、ティーマンコレクション／ダッハウ絵画館		
4-71	ヴァルター・クレム	山岳風景	1905	木版、和紙	19.8×24.5	ダッハウ市、ティーマンコレクション／ダッハウ絵画館		
4-74	ヴァルター・クレム	山の湖	1905	木版、和紙	20.0×25.8	ダッハウ市、ティーマンコレクション／ダッハウ絵画館		
4-76	ヴァルター・クレム	クレーゲル通り、ベルリンII	1905	木版、和紙	24.7×19.8	ダッハウ市、ティーマンコレクション／ダッハウ絵画館		
4-78	ヴァルター・クレム	船小屋のある小湖沼	1907	木版、和紙	19.8×19.8	ダッハウ市、ティーマンコレクション／ダッハウ絵画館		
4-80	カール・ティーマン	シュプレー川のタグボート	1907	木版、和紙	28.7×23.9	ダッハウ市、ティーマンコレクション／ダッハウ絵画館		
4-82	ヴァルター・クレム	旧プラハ、シュポルナー通り	1906	木版、和紙	19.8×19.9	ダッハウ市、ティーマンコレクション／ダッハウ絵画館		
4-84	カール・ティーマン	旧プラハ、プラハ、フラチャニ	1908	木版、和紙	19.5×19.9	ダッハウ市、ティーマンコレクション／ダッハウ絵画館		
4-86	ヴァルター・クレム	白樺	1906	木版、和紙	19.8×29.5	ダッハウ市、ティーマンコレクション／ダッハウ絵画館		
4-88	カール・ティーマン	牧草地	1907	木版、和紙	29.0×29.0	ダッハウ市、ティーマンコレクション／ダッハウ絵画館		

No.	作家名	作品名	制作・発行年	技法	サイズ（縦×横、cm）	所蔵者	前期	後期
4-89	カール・ティーマン	小川のほとりの牧草地	1907	木版、和紙	19.0×19.0	ダッハウ市、ティーマンコレクション／ダッハウ絵画館		
4-91	カール・ティーマン	秋の白樺	1907	木版、紙	22.7×34.9	パトリック・シモン・コレクション、プラハ		
4-93	カール・ティーマン	ミュンヘン通り	1909	木版、和紙	40.0×50.0	ダッハウ市、ティーマンコレクション／ダッハウ絵画館		
4-95	カール・ティーマン	グレーベンリート近くの白樺並木	1909	木版、紙	29.0×39.0	ダッハウ市、ティーマンコレクション／ダッハウ絵画館		
4-97	ヴァルター・クレム	ヤギ	1907	木版、和紙	27.8×18.7	ダッハウ市、ティーマンコレクション／ダッハウ絵画館		
4-99	カール・ティーマン	ペリカン I	1910	木版、和紙	17.3×35.8	ダッハウ市、ティーマンコレクション／ダッハウ絵画館		
4-101	ヴァルター・クレム	潜る鴨	1909	木版、和紙	30.3×18.0	ダッハウ博物館協会／ダッハウ絵画館		
4-103	ヴァルター・クレム	大鷺	1918	木版、紙	25.1×19.9	ダッハウ博物館協会／ダッハウ絵画館		
4-105	カール・ティーマン	帆船	1910	木版、和紙	24.5×24.8	ダッハウ市、ティーマンコレクション／ダッハウ絵画館		
4-107	カール・ティーマン	港にて	1923	木版、和紙	36.5×26.5	ダッハウ市、ティーマンコレクション／ダッハウ絵画館		
4-109	カール・ティーマン	フランクフルト・アム・マインからの眺め	1925	木版、和紙	19.8×40.0	ダッハウ市、ティーマンコレクション／ダッハウ絵画館		
4-111	カール・ティーマン	湖畔の白樺	1928/1929	木版、和紙	25.2×25.7	ダッハウ市、ティーマンコレクション／ダッハウ絵画館		
4-112	カール・ティーマン	白鳥	ca.1916–17	木版、紙	32.7×23.2	パトリック・シモン・コレクション、プラハ		
4-114	カール・ティーマン	ペリカン II	1921	木版、手漉紙	29.9×25.0	ダッハウ市、ティーマンコレクション／ダッハウ絵画館		
4-116	カール・ティーマン	白百合	1917/1926	リノカット、和紙	42.5×35.3	ダッハウ市、ティーマンコレクション／ダッハウ絵画館		
4-117	エミール・オルリク	目次〈日本への旅〉	1921	ドライポイント、紙	36.5×30.0	宮城県美術館		
4-118	エミール・オルリク	日本の農民たち〈日本への旅〉	1921	エッチング、紙	17.1×12.1	宮城県美術館		
4-119	エミール・オルリク	冬の装い〈日本への旅〉	1921	エッチング、紙	8.8×6.4	宮城県美術館		
4-120	エミール・オルリク	日本の娘たち〈日本への旅〉	1921	エッチング、紙	10.5×11.8	宮城県美術館		
4-121	エミール・オルリク	富士山〈日本への旅〉	1921	エッチング、紙	14.5×17.4	宮城県美術館		

2－2　静岡市美術館開館10周年記念
東海道の美　駿河への旅　※延期

概要：6月6日（土）から7月19日（日）に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、延期とした。

制作物：

1)チラシ

＜仕様＞紙：B7トラネクスト 99kg
サイズ・加工・数量：A3二つ折り（仕上A4）75,000部

2)ポスター

＜仕様＞紙：MTA+-FS 135kg
サイズ・数量：B1 50部、B2 2,050部、B3 2,700部（うち400部はJR帯つき）

チラシ表面

チラシ裏面

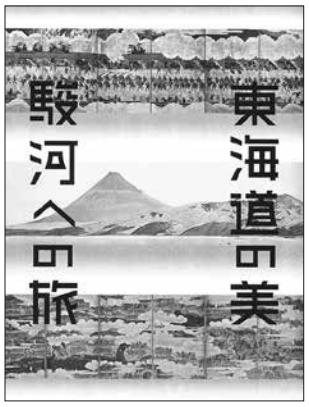
チラシ中面

B1・B2ポスター

B3ポスター

カタログ：

＜仕様＞225×300mm、131頁



カタログ表紙

カラー図版143点
参考図版（カラー65点、モノクロ76点）

日比野秀男「描かれた東海道の名所と宿場」
大高洋司「「十団子」は食物か」
吉田恵理「コラム　金有声筆《山水花鳥図押絵貼屏風》（清見寺蔵）に思う」
大石沙織「東海道図屏風におけるマッケンジー本の位置付け」

作品解説／署名・印章／関連年表／絵師生没年表／出品目録

編集・発行：静岡市美術館
発行年：2020年

主要広報記録：

1)雑誌他

・「展覧会紹介」『[完全ガイドシリーズ263]美術展完全ガイド2020』。
・「展覧会紹介」『美術の窓』、1月号。
・「多くの絵師が絵筆をふるった、駿河の名所を眺める」『美術展ぴあ2020（ぴあMOOK）』。
・「風光明媚な駿河の風景を堪能」『Discover Japan』、4月号。
・「展覧会紹介」『美術館＆博物館散さんぽ[東海版]週末おでかけミュージアム』。
・「展覧会紹介」『和樂』、6･7月号。

2)ウェブサイト等（媒体名のみ記載）

「MIRAI」

関連事業：

1) 講演会①「描かれた東海道の名所と宿場」
概要：6月13日に開催の予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止とした。

2) 講演会②「駿河の名物と江戸文芸」
概要：7月4日に開催の予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止とした。

3)ウォークツアー「東海道・府中宿を歩こう!」
概要：6月27日に開催の予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止とした。

4)当館学芸員によるスライドトーク
概要：6月20日及び7月11日に開催の予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止とした。

2－3　静岡市所蔵品　特集展示
見るよろこび：東海道図屏風・竹久夢二を中心に

会期：6月17日（水）－7月19日（日）

概要：新型コロナウイルスの感染拡大とその対策のため、私達の暮らしには大小さまざまな影響が生じている。歴史を振り返ると、自然災害や戦争など日常を脅かす出来事は、幾たびも人々の生活に影を落としてきた。しかしまた一方では、どのような時代にも美術や文学、音楽などの表現が生み出され、暮らしにうるおいがもたらされてきた。
当館では2020年6月6日から7月19日まで「東海道の美　駿河への旅」を開催予定であったが、同展は新型コロナウイルス感染拡大の影響により延期となった。本展は、その代替展示として、近世の東海道のにぎわいが偲ばれる「東海道図屏風」を紹介した。あわせて大正時代に多くの人に愛された竹久夢二の作品など静岡市所蔵品も展示した。

巡回先：なし（自主企画展）

主催：静岡市、静岡市美術館 指定管理者（公財）静岡市文化振興財団、静岡新聞社・静岡放送

観覧料：無料

観覧者数：2,815人

出品点数：52点

普及ツール：
1）プレミアムフライデーでの粗品プレゼントの実施
会期中のプレミアムフライデーにあわせ、15時以降の入場者に粗品を進呈した。
実施日：6月26日（金）
利用者数：25件

主要広報記録：
1）テレビ・ラジオ
・「展覧会紹介」TOKAIケーブルネットワーク『トコチャンワイド』、6月17日放送。
・「竹久夢二の版画など所蔵作品を展示」NHK静岡放送局『県内ニュース』、6月28日放送。

2）新聞
・菊地真生「東海道図屏風見比べて　静岡市美術館　市所蔵品53点」『静岡新聞』、6月17日。
・菊地真生「女性視点の夢二展　静岡市美術館「見るよろこび」開幕」『静岡新聞』、6月18日。

3）雑誌他
・「展覧会紹介」『すろ～かる』、6・7月号。

4）ウェブサイト等（媒体名のみ記載）
「駿府ウエイブ」、「アットエス」、「ケイティコム　今見られる全国のおすすめ展覧会」

・セノオ楽譜の発行元はすべてセノオ音楽出版社。

第1章　街道のにぎわい

No.	作品名	作者	制作年	品質形状
1	静岡市指定文化財　伝馬朱印状　江尻宿（寺尾家文書）		慶長6（1601）年	紙本墨書
2	東海道図屏風		江戸時代（17世紀）	紙本着色　六曲一双
3	静岡県指定文化財　東海道図屏風（マッケンジー本）		江戸時代（17世紀）	紙本着色　六曲一双
4	『東海道名所図会』三～五巻	秋里籬嶌（りとう）編	初版：寛政9（1797）年序 ※江戸後期再版	紙本墨摺
5	『東海道中膝栗毛』二巻下、三巻上・中	十返舎一九（じっぺんしゃいっく）	享和2（1802）年序	紙本墨摺
6	東海道五十三次之内　江尻　弥次良兵衛	三代歌川豊国	嘉永5（1852）年	大判錦絵
7	東海道五十三次之内　府中　喜多八	三代歌川豊国	嘉永5（1852）年	大判錦絵

第2章　懐かしい静岡の情景

No.	作者	作品名	制作年	材質・技法
8	中川雄太郎	海水浴場	昭和7（1932）年	紙・木版
9	中川雄太郎	ヴァイオリン	昭和8（1933）年	紙・木版
10	中川雄太郎	浅間神社楼門		紙・木版
11	中川雄太郎	水辺（焼津海岸　夕暮）	昭和14（1939）年	紙・木版
12	海野光弘	「静岡三十五景」より 札の辻 浅間神社石鳥居 宝台橋 静岡まつり 駿府城濠 安倍川花火 登呂遺跡 旧静岡駅舎 駿府会館 官庁街 常磐公園と縁台将棋 葵文庫	 昭和52（1977）年 昭和53（1978）年 昭和53（1978）年 昭和53（1978）年 昭和53（1978）年 昭和53（1978）年 昭和53（1978）年 昭和53（1978）年 昭和53（1978）年 昭和53（1978）年 昭和53（1978）年 昭和54（1979）年 昭和54（1979）年	紙・木版

第3章　夢二の絵とデザイン

No.	作者	作品名	制作年または発行年／発行元	材質・技法
13	竹久夢二	初春	大正3年	絹本着色
14	竹久夢二	合鏡	大正3年頃	絹本着色
15	竹久夢二	草に憩（いこ）う女　※7/7まで展示	大正初期	絹本着色
16	竹久夢二	木に寄る女　※7/8から展示	大正4年頃	絹本着色
17	竹久夢二	荒野の楽人	大正中期	紙本着色
18	竹久夢二	たそがれ	大正後期以降	絹本着色
19	竹久夢二装画 澤田柳吉作曲	セノオ楽譜12番　お江戸日本橋	大正5（1916）年／ 大正13（1924）年　6版	紙・石版
20	竹久夢二装画 チャイコフスキー作曲 二見孝平訳詞	セノオ楽譜27番　唯我心悩（ただわがこころなやみ）ぞ知らめ	大正5（1916）年／ 大正13（1924）年　6版	紙・石版
21	竹久夢二装画 ビゼー作曲、 堀内敬三訳詞	セノオ楽譜28番 歌劇カルメンハバネラの歌	大正6（1917）年／ 昭和2（1927）年　7版	紙・石版
22	竹久夢二装画 チゥール・マスネー作曲 二見孝平訳詞	セノオ楽譜56番　汝（なんじ）が碧き眼を開け	大正6（1917）年／ 大正14（1925）年　6版	紙・石版
23	竹久夢二装画 澤田柳吉作曲、 伊庭孝作詞	セノオ楽譜123番　麓（ふもと）の道	大正8（1919）年　初版	紙・石版
24	竹久夢二装画 藤井清水作曲、 永田龍雄作詞	セノオ楽譜169番　影ふめば	大正9（1920）年　初版	紙・石版
25	竹久夢二装画、 藤井清水作曲、 永田龍雄作詞	セノオ楽譜175番　消えてあとなき	大正9（1920）年／ 大正14（1925）年　3版	紙・石版

No.	作者	作品名	制作年または発行年／発行元	材質・技法
26	竹久夢二装画、 藤井清水作曲、 永田龍雄作詞	セノオ楽譜176番　ちゝのみの	大正9(1920)年　初版	紙・石版
27	竹久夢二装画、 藤井清水作曲、 柳澤健作詞	セノオ楽譜185番　暮れて行く	大正9(1920)年／ 大正14(1925)年　2版	紙・石版
28	竹久夢二装画、 藤井清水作曲、 永田龍雄作詞	セノオ楽譜192番　月ぞけぶれる	大正9(1920)年　初版	紙・石版
29	竹久夢二装画、 藤井清水作曲、 尾山篤太郎作詞	セノオ楽譜238番　たそがれの歌	大正10(1921)年　初版	紙・石版
30	竹久夢二装画、 土屋平三郎作曲 竹久夢二作詞	セノオ楽譜245番　巷(ちまた)の雪	大正11(1922)年／ 大正14(1925)年　2版	紙・石版
31	竹久夢二装画、 小野竹三作歌、 山田耕作編曲	セノオ楽譜292番　四部合唱　世の態(さま)	大正12(1923)年／ 大正13(1924)年　2版	紙・石版
32	竹久夢二装画、 チャイコフスキー作曲 二見孝平訳詩	セノオ楽譜319番　見よ優しき雲雀(ひばり)を	大正13(1924)年　初版	紙・石版
33	竹久夢二装画、 奥好義作曲 山田耕作編曲	セノオ楽譜355番　唱歌　金剛石	大正13(1924)年　初版	紙・石版
34	竹久夢二装画、 デイリー作曲	セノオ楽譜361番　新流行歌 アイ ウォント ア　プレディ ガール	大正13(1924)年　初版	紙・石版
35	竹久夢二装画、 山田耕作作曲 北原白秋作歌	セノオ楽譜402番　明治天皇頌歌(しょうか)	大正14(1925)年　初版	紙・石版
36	竹久夢二装画、 ブラームス作曲、 堀内敬三訳詞	セノオ楽譜409番　サフォー頌歌	大正15(1926)年　初版	紙・石版
37	竹久夢二装画、 クライスラー編曲、 妹尾幸陽解説	セノオ楽譜430番　パラダイス	大正15(1926)年　初版	紙・石版
38	竹久夢二装画、 土屋平三郎作曲 藤森秀夫作詞	セノオ楽譜450番　白うばら	大正15(1926)年　初版	紙・石版
39	竹久夢二著・装丁	夢二画集　都会の巻	明治44(1911)年　初版 洛陽堂	書籍
40	竹久夢二著・装丁	草の実	大正4(1915)年　初版 実業之日本社	書籍
41	竹久夢二著・装丁	絵入歌集	大正4(1915)年　初版 植竹書院	書籍
42	竹久夢二著・装丁	三味線草(さみせんぐさ)	大正4(1915)年　初版 新潮社	書籍
43	竹久夢二著・装丁	夜の露台	大正5(1916)年　初版 千章館	書籍
44	竹久夢二著・装丁	春の鳥	大正6(1917)年　初版 雲泉堂書店	書籍
45	竹久夢二著・装丁	山へよする	大正8(1919)年　初版 新潮社	書籍
46	竹久夢二著・装丁	露地の細道	大正8(1919)年　2版 春陽堂	書籍
47	竹久夢二著・装丁	たそやあんど	大正8(1919)年　初版 玄文社	書籍
48	竹久夢二著・装丁	凧	大正15(1926)年　初版 研究社	書籍
49	竹久夢二著・装丁	春	大正15(1926)年　初版 研究社	書籍
50	竹久夢二原画	封筒・祝儀袋貼込帖	大正～昭和前期	紙・木版、折本
51	竹久夢二	福島小夜曲	昭和初期	紙本着色、墨書、団扇

第4章　これまでとこれから

No.	作品名	制作年	材質・技法
52	静岡市美術館　ポスター	平成22(2010)年～ 令和2(2020)年	紙・オフセット印刷

2－4　日本・ポーランド国交樹立100周年記念
ショパン－200年の肖像

会期：8月1日（土）－9月22日（火・祝）

概要：ポーランド出身の作曲家フリデリク・ショパン（1810-1849）。優美で繊細な曲調のピアノ曲を多く作曲したことから「ピアノの詩人」とも呼ばれ、そのメロディは、日本をはじめ今も世界中で愛されている。日本・ポーランド国交樹立100周年（1919-2019）を記念して開催される本展では、ワルシャワの国立フリデリク・ショパン研究所の全面協力のもと、彼の音楽だけでなく、生前に制作されたショパンの肖像や、同時代に制作された絵画、現代の作家たちがインスピレーションを受けて制作した作品、日本におけるショパン受容を示す資料など、国内外からの出品約250点で、ショパンの人となりと彼の生きた時代を多角的に紹介した。特に、ショパンの自筆譜や手紙はポーランド国外では見る機会の少ない貴重なもので、日本初公開も含まれた。
なお、本展は「2020しずおか文化プロジェクト」の一環として、静岡音楽館AOI、静岡科学館る・く・るおよび市内生涯学習センターと連携し、ショパンをめぐる様々なプログラムを開催した。

巡回先：兵庫県立美術館、久留米市美術館、練馬区立美術館

主催：静岡市、静岡市美術館 指定管理者（公財）静岡市文化振興財団、静岡朝日テレビ、日本経済新聞社

共催：国立フリデリク・ショパン研究所

後援：静岡市教育委員会、静岡県教育委員会、駐日ポーランド共和国大使館、日本ショパン協会

特別協力：ポーランド広報文化センター、ワルシャワ国立博物館、ドルトレヒト美術館

協力：LOT ポーランド航空、KLM オランダ航空、大阪音楽大学、講談社、株式会社河合楽器製作所、株式会社ヤマハミュージックジャパン

企画協力：神戸新聞社、ROBINS

観覧料：一般　1,200円（1,000円）
大高生・70才以上　800円（600円）
※（　）内は前売および20名以上の団体料金
※中学生以下無料
※障がい者手帳等をご持参の方および介助者原則1名は無料

観覧者数：17,774人（有料12,482人、無料5,292人、有料率70.23%）

出品点数：245点（参考出品14点を含む）

制作物：
1)チラシ
＜仕様＞紙：ユーライト 110kg
サイズ・加工・数量：A3二つ折り（仕上A4）40,000部

2)ポスター
＜仕様＞紙：ユーライト 135kg
サイズ・数量：B1 100部（うち40部はJR帯つき）、
B2 1,600部、B3 2,700部（うち400部はJR帯つき）

チラシ表面

チラシ裏面

チラシ中面

B1・B2ポスター

B3ポスター

カタログ：
＜仕様＞190×260mm、333頁

カタログ表紙

カラー図版287点
参考図版（カラー26点、モノクロ9点）

アルトゥル・シュクレネル「国立フリデリク・ショパン研究所について」
関口時正「ショパンの言葉、ショパンへの言葉―パリ時代初期」
下田幸二「『ショパンの生涯と作品』―ピアノの詩人の39年―」

マルタ・タバキェルニク「コラム　ワルシャワのフリデリク・ショパン博物館コレクションに見るショパンの肖像」
下田幸二「コラム　ショパンにまつわる音楽祭やコンクール」
加須屋明子「コラム　ポーランドのグラフィック・アートの魅力」
多田純一「コラム　日本におけるショパン受容」

アグニェシュカ・ロサレス・ロドリゲス「コラム　ワルシャワ国立博物館について」
関口時正「コラム　ニコラ・ショパン、ロレーヌの田舎からワルシャワの都へ」

スベート・ファン・ノールトウェイク「コラム　ドルトレヒト美術館について」
小野寛子「コラム　パリ都市景観図について」

「ショパン―200年の肖像」展開催記念鼎談
「ショパンとは何者だったのか？」
関口時正氏（東京外国語大学名誉教授）×仲道郁代（ピアニスト）×平野啓一郎（作家）

武田幸子「コラム　ショパンの手稿譜と創作過程」
下田幸二「コラム　ショパン国際ピアノコンクール―栄光の歴史と未来―」
下田幸二「コラム　2020年第18回ショパン国際ピアノコンクール本大会」
スタニスワフ・レシュチンスキ「コラム　第1回ショパン国際ピリオド楽器コンクール」

白木太一「近世末期から近代前半にかけての都市ワルシャワの光と影（1764 ～1864年）」
小野寛子「「若きフランス」と「洋梨」の時代―ショパンの生きたフランス・パリ」

フリデリク・ショパン略年表／掲載作品リスト／作家概説／主要参考文献

企画構成：国立フリデリク・ショパン研究所附属フリデリク・ショパン博物館（NIFC）、神戸新聞社、久留米市美術館、練馬区立美術館、静岡市美術館
執筆：クイリーヌ・ファン・デル・メール＝モール（ドルトレヒト美術館）、スベート・ファン・ノールトウェイク（ドルトレヒト美術館）、アグニェシュカ・ロサレス・ロドリゲス（ワルシャワ国立博物館）、アルトゥル・シュクレネル（国立フリデリク・ショパン研究所）、マルタ・タバキェルニク（フリデリク・ショパン博物館）、小野寛子（練馬区立美術館）、加須屋明子、佐々木奈美子（久留米市美術館）、下田幸二、白木太一、関口時正、武田幸子、多田純一
翻訳：熊澤弘、関口時正、平岩理恵、船岡美穂子
編集協力：神戸新聞社、笈川厚子（株式会社ROBINS）、小野寛子（練馬区立美術館）、永井由里子
助成：ポーランド広報文化センター
発行者：足立欣也
発行所：株式会社求龍堂
編集：深谷路子（求龍堂）
発行年：2020年（第2刷）

普及ツール：
1）音声ガイド

2）プレミアムフライデーでの粗品プレゼントの実施
会期中のプレミアムフライデーにあわせ、15時以降の入場者に粗品を進呈した。
実施日：8月28日（金）
利用者数：47件

各種連携：
1）近隣店舗との連携
葵タワー内および近隣店舗で、展覧会入場者へ優待サービスの実施、本展に合わせた特別メニューの提供を行った。
制作物：
◆チラシ
＜仕様＞紙：マットコート 70kg
サイズ・数量：A4 4,000部

協賛チラシ表面

協賛チラシ裏面

9月9日　来場者1万人達成

主要広報記録：

1)テレビ・ラジオ

・「展覧会紹介」FMしみず『モーニングパル』、7月13日放送。
・「ショパン 200年の肖像 に潜入」静岡朝日テレビ『とびっきり！しずおか　土曜版』、8月1日放送。
・「名作曲家の足跡たどる「ショパン 200年の肖像」静岡市美術館で開幕」静岡朝日テレビ『ANN　県内ニュース』、8月1日放送。
・「作品紹介①」静岡朝日テレビ『とびっきり！しずおか』、8月7日放送。
・「展覧会紹介」FMしみず『モーニングパル』、8月10日放送。
・「展覧会紹介」FM-Hi!『ひるラジ！情報館』、8月13日放送。
・「作品紹介②」静岡朝日テレビ『とびっきり！しずおか』、8月14日放送。
・「作品紹介③」静岡朝日テレビ『とびっきり！しずおか』、8月21日放送。
・「「ショパン展」1万人達成 富士市のファンに記念品」静岡朝日テレビ『ANN　県内ニュース』、9月9日放送。

2)新聞

・ただ・じゅんいち「絵画や資料でみる作曲家の新たな顔 「ショパン–200年の肖像」展」『公明新聞』、11月6日。
・山口雅敏（ピアニスト）「図録紹介」『中日新聞』静岡版、12月22日。
・「ショパンの資料　国内外250点展示」『日本経済新聞』静岡版、7月30日。
・「ピアノの詩人を辿る250点紹介」『日本経済新聞』名古屋支社版、8月18日。
・保坂千裕「30歳のショパン「孤独を深めた」」『中日新聞』静岡版、8月31日。
・天野のりこ「人間ショパンに出合う」『中日新聞』静岡版、9月3日。

3)雑誌他

・「展覧会紹介」『[完全ガイドシリーズ263]美術展完全ガイド2020』。
・「展覧会紹介」『和樂』、6・7月号。
・「ショパンの美しき直筆譜」『趣味の文具箱』、7月号。
・「“ピアノの詩人”ショパンの音楽と生涯に迫る」『ARE YOU HAPPY』、7月号。
・「静岡市美術館で展覧会「ショパン－200年の肖像」が開催」『音楽の友』、7月号。
・「ショパンの自筆譜が国内で見られる！」『ショパン７』、第37巻第7号通巻438号。
・「展覧会紹介」『和樂』、8・9月号。
・加藤浩子「音楽と美術の出逢うところ」『女性のひろば』、2020 8 No.498。
・「展覧会紹介」『大人のおしゃれ手帖』、8月号。
・「ショパンと彼の生きた時代を多角的に紹介」『教育家庭新聞』、第2175号。
・「展覧会紹介」『美術の窓』、8月号。
・「展覧会紹介」『和樂』、10・11月号。
・「展覧会紹介」『住宅建築』、10月号。
・「自筆譜や肖像画など“詩人”ショパンに迫る」『旅行読売』、10月号。

4)ウェブサイト等（媒体名のみ記載）

「アートアジェンダ」、「YAHOO!JAPAN」「じゃらんnet」、「ぐるっとしずおかラリー」、「ウェブ版「美術手帖」」、「美術展ナビ」、「静清信用金庫LINE配信」、「OBIKAKE」、「Local Network Magazine「colocal コロカル」」

関連事業：

1)講演会「ショパン―その生い立ちと人となり」

概要：ショパンが活躍した当時の複雑な政治状況や文化史的背景をわかりやすく紹介頂いた。ショパンの手紙からは、これまで語られることのなかった彼の人となりを伺い知ることができ、途中映像や音楽も織り交ぜた、ポーランド史の第一人者による充実した内容で好評を得た。新型コロナウイルス自粛後初のイベントとなり、定員は席の間隔を空け半数以下の50名と絞り、参加者にはマスク着用と連絡先の記入を義務付けるなど感染対策に留意し実施した。

日時：8月29日（土）14:00－15:30

会場：多目的室　　**参加者数**：43人

講師：関口時正氏（翻訳家、東京外国語大学名誉教授）

2)2020しずおか文化プロジェクト/静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業
静岡・室内楽フェスティバル2020

ミュージアム・コンサート「ショパンの時代の楽器で聴く」

概要：9月13日に開催の予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止とした。

3)2020しずおか文化プロジェクト/静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業

ピアノ解体ショー ～ピアノの中ってどんな風になってるの？～

※72頁を参照。

4)2020しずおか文化プロジェクト/静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業

講演会「作曲家入門F.ショパン」

※72頁を参照。

5)2020しずおか文化プロジェクト/静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業
静岡音楽館AOIコンサートシリーズ2020-21/静岡・室内楽フェスティバル2020

小菅優（ピアノ）＆石坂団十郎（チェロ）

デュオ・リサイタル～ショパンの調べ～

※72頁を参照。

6)2020しずおか文化プロジェクト/静岡市生涯学習センター全館連携コンサート事業

「ショパン～生涯の旅～」

※73頁を参照。

出品作品リスト

・図録番号171、172は当館では未出品、155、156は不出品となった。
・所蔵のうち略称の正式名称は以下のとおり。
NIFC＝国立フリデリク・ショパン研究所附属フリデリク・ショパン博物館
MNW＝ワルシャワ国立博物館　DMH＝ドルトレヒト美術館
・版画工房名の省略など一部編集を加えている。

第1楽章　わたしたちのショパン

図録番号	作家名	作品名	制作年	技法・素材	所蔵
1	ヴワディスワフ・ヤール	ショパン。ヤールの14のオリジナル・エッチング	1949	エッチング・紙	NIFC
-1		ポロネーズ　嬰ヘ短調　作品44			
-2		前奏曲　変イ長調　作品28			
-3		ノクターン　変ホ長調　作品9-2			
-4		バラード　ヘ長調　作品38			
-5		即興曲　変ト長調　作品51			
-6		華麗なるワルツ			
-7		エチュード　ハ短調　作品10-12			
-8		スケルツォ　ロ短調　作品20			
-9		マズルカ　嬰ハ短調　作品41-19			
-10		ポロネーズ　イ長調　作品40-1			
-11		協奏曲　ホ短調　作品11			
-12		ポロネーズ　変イ長調　作品53			
-13		幻想曲　ヘ短調　作品49			
-14		ソナタ　変ロ短調　作品35			
2	ヴォイチェフ・ヴァイス	絵画《ショパン》の下絵	1899	油彩・厚紙	NIFC
3	ヘンリク・スタジェフスキ	フリデリク・ショパンの肖像	1950	リトグラフ・紙	NIFC
4	マレク・ヴィジコフスキ	フリデリク・ショパンの肖像	1995	エッチング、アクアチント・紙	NIFC
5	ヤドヴィガ・ウミンスカ	フリデリク・ショパンの肖像	1949頃	インク・紙	NIFC
6	アガタ・アンナ・ガーベル（ペペルスキ）	ペペルスキによるショパン2010（ウィーン）、シリーズ番号18/25	2010	シルクスクリーン・和紙	NIFC
7	マルタ・ウカ	ショパン	2015	ドライポイント・紙	NIFC
8	ロベルト・クタ	AC/DCの曲を聴きながら描いた フリデリク・ショパンの肖像	2015	木炭・紙	NIFC
9	アレクサンデル・ソウタン	ソナタ ロ短調、シリーズ番号13/15	1975以降	リトグラフ・紙	NIFC
10	アントニ・ウニェホフスキ	即興演奏をするショパン（両面）	1953	インク、水・紙	NIFC
11	マリア・ウシュチュキェーヴィチ＝ヤスツシェンプスカ	ノクターン、シリーズ番号23/25	1960	ドライポイント・紙	NIFC
12	ミェチスワフ・ユルギェレーヴィチ	フリデリク・ショパンの肖像	1955	木版・紙	NIFC
13	アントニ・ウニェホフスキ	1830年11月2日　ショパン、ワルシャワを発つ	1975	水彩、インク・紙	NIFC
14	ヴォイチェフ・ヴァイス	絵画《ショパン》の下絵	1899	クレヨン、鉛筆・紙	NIFC
15	マヤ・ペレゾフスカ	ショパンとジョルジュ・サンド	1974	水彩、インク・紙	NIFC
16	ボグスワフ・シュファチュ	フリデリク・ショパンの肖像	1965	油彩・カンヴァス	NIFC
17	ティモン・ニェショウォフスキ	フリデリク・ショパンの肖像	1951以前	油彩・カンヴァス	NIFC
18	ヤヌシュ・ブシビルスキ	フリデリク・ショパンの肖像	1984	油彩・カンヴァス	NIFC
19	マルチン・マチェヨフスキ	なぜ多くのポーランド人が国外へ出たのか	2002	アクリル・カンヴァス	NIFC
20	エルジュビェタ・ヴァスィウィク	フリデリク・ショパン（十一月蜂起の終焉）	2010頃	アクリル・カンヴァス	NIFC
21	トマシュ・ヴィクトル	若き日のショパン	2015	油彩・カンヴァス	NIFC
22	ルドヴィク・ヴァヴリンキェーヴィチ	フリデリク・ショパンとジョルジュ・サンドの肖像 （1838年のドラクロワによる作品の復元）	1985–1989	油彩・カンヴァス	NIFC
23	エルジュビェタ・ヴァスィウィク	ショパンとジョルジュ・サンド	2010	アクリル・カンヴァス	NIFC
24	ユゼフ・メンチナ＝クシェシュ	フリデリク・ショパンの最後の和音	1910	油彩・カンヴァス	NIFC
25	ヤン・ヴィソツキ	ミューズたちから月桂冠を授かるショパン	1911以前	緑青・ブロンズ	NIFC
26	エヴァ・オルシェフスカ＝ボリス	タッチ	2005	緑青・ブロンズ	NIFC
27	マグダレナ・ドブルツカ	フリデリク・ショパンの横顔のメダル	1981	緑青・ブロンズ	NIFC
28	スタニスワフ・シコラ	フリデリク・ショパンの横顔のメダイヨン	1963	緑青・ブロンズ	NIFC
29	ヤニナ・ミレツカ＝マチェイェフスカ	不規則な造形とフリデリク・ショパンの肖像のプレート	1971	緑青・ブロンズ	NIFC
30	ユゼフ・マルキェーヴィチ	フリデリク・ショパンの横顔のメダイヨン	1965	緑青・ブロンズ	NIFC

図録番号	作家名	作品名	制作年	技法・素材	所蔵
31	フランチシェク・ハブダス	フリデリク・ショパンの肖像のメダイヨン	1964	緑青・ブロンズ	NIFC
32	タデウシュ・チャウォーヴィチ	第20回ドゥシュニキ=ズドルイ・ショパン音楽祭	1965	カラー印刷・紙	NIFC
33	ボグスワフ・シュファチュ	フリデリク・ショパン記念像のもとでのコンサート	1955	油彩・カンヴァス	NIFC
34	ヴァツワフ・シマノフスキ原作、エウゲニウシュ・ジャルコフスキ鋳造	王立ワジェンキ公園のフリデリク・ショパン記念像胸部	1968	緑青・ブロンズ	NIFC
35	作者不詳	1926 年11月14日　ワルシャワ王立ワジェンキ公園でのフリデリク・ショパンの記念像除幕式の写真	1926.11.14	写真・紙	NIFC
36	ヘンリク・シェミラツキ原画、ルードルフ・シュースター版画	アントニ・ラジヴィウ公のサロンのフリデリク・ショパン、1829	1888	エリオグラヴュール・紙	NIFC
37	アルヴィーン・フロイント=ベリアーニ	4人の人物に囲まれてピアノを弾く フリデリク・ショパン	1926–1950頃	印刷・紙	NIFC
38	スタニスワフ・チャイコフスキ	ショパン	1946	油彩・カンヴァス	NIFC
39	アントニ・ウニェホフスキ	ジョルジュ・サンドのサロンでのフリデリク・ショパン演奏会	1975	水彩、インク・紙	NIFC
40	ローベルト・シュピース	フリデリク・ショパン、24の前奏曲集	1912	コロタイプ・紙	NIFC
-1		表紙			
-2		ショパン　前奏曲1番 ハ長調			
-3		ショパン　前奏曲2番 イ短調			
-4		ショパン　前奏曲3番 ト長調			
-5		ショパン　前奏曲4番 ホ短調			
-6		ショパン　前奏曲5番 ニ長調			
-7		ショパン　前奏曲6番 ロ短調			
-8		ショパン　前奏曲7番 イ長調			
-9		ショパン　前奏曲8番 嬰ヘ短調			
-10		ショパン　前奏曲9番 ホ長調			
-11		ショパン　前奏曲10番 嬰ハ短調			
-12		ショパン　前奏曲11番 ロ長調			
-13		ショパン　前奏曲12番 嬰ト短調			
-14		ショパン　前奏曲13番 嬰ヘ長調			
-15		ショパン　前奏曲14番 変ホ短調			
-16		ショパン　前奏曲15番 変ニ長調			
-17		ショパン　前奏曲16番 変ロ短調			
-18		ショパン　前奏曲17番 変イ長調			
-19		ショパン　前奏曲18番 ヘ短調			
-20		ショパン　前奏曲19番 変ホ長調			
-21		ショパン　前奏曲20番 ハ短調			
-22		ショパン　前奏曲21番 変ロ長調			
-23		ショパン　前奏曲22番 ト短調			
-24		ショパン　前奏曲23番 ヘ長調			
-25		ショパン　前奏曲24番 ニ短調			
41	エウゲニウシュ・ビヘル	ショパン。木版画による情景	1965		NIFC
-1		グラフィックポートフォリオ50の2 ／表紙		木版、リノカット・紙	
-2		グラフィックポートフォリオ50の2 ／目次		木版、リノカット・紙	
-3		「革命のエチュード」		木版・紙	
-4		前奏曲「雨だれ」		木版・紙	
-5		ロンド・ア・ラ・クラコヴィアク		木版・紙	
-6		ノクターン　嬰ハ短調		木版・紙	
-7		マズルカ風ロンド		木版・紙	

図録番号	作家名	作品名	制作年	技法・素材	所蔵
-8		ソナタ　変ロ短調		木版・紙	
-9		スケルツォ　ロ短調		木版・紙	
42	ズィグムント・バドフスキ	フリデリク・ショパンのマズルカ　作品30-4	1908–1912	カラー印刷・紙	NIFC
43	ズィグムント・バドフスキ	フリデリク・ショパンのポロネーズ　作品53	1908–1912	カラー印刷・紙	NIFC
44	ニルス・バーヴィッツ	フリデリク・ショパンへのオマージュ	1985	エッチング、アクアチント・紙	NIFC
45	エルジュビェタ・ヴェイスフロク	前奏曲「雨だれ」に寄せるコンポジション	2000	水彩・紙	NIFC
46	エルジュビェタ・ヴェイスフロク	ピアノ協奏曲第1番	2011	水彩、インク・紙	NIFC
47	ヤゴダ・シフィオントキェーヴィチ	指の跡	2015	ジャガード織・綿糸、ポリアクリロニトリル（合成繊維）	NIFC
48	ミェチスワフ・ヴァシレフスキ	展覧会「ワルシャワ、パリ、ノアンのフリデリク・ショパン」、国立フリデリク・ショパン研究所主催	2005/2006	コンピュータ印刷・紙	NIFC
49	ヘンリク・トマシェフスキ	第8回ドゥシュニキ＝ズドルイショパン音楽祭	1953	カラーリトグラフ・紙	NIFC
50	ロマン・チェシレーヴィチ	第14回ドゥシュニキ＝ズドルイショパン音楽祭	1959	カラー印刷・紙	NIFC
51	ヘンリク・トマシェフスキ	第17回ドゥシュニキ＝ズドルイショパン音楽祭	1962	カラー印刷・紙	NIFC
52	ヤン・ヤロミル・アレクシウン	第25回ドゥシュニキ＝ズドルイショパン音楽祭	1970	カラー印刷・紙	NIFC
53	イェジー・サハ	第27回ドゥシュニキ＝ズドルイショパン音楽祭	1972	カラー印刷・紙	NIFC
54	ステファン・ヴォントロバ	第29回ドゥシュニキ＝ズドルイショパン音楽祭	1974	カラー印刷・紙	NIFC
55	ズザンナ・リピンスカ	第37回ドゥシュニキ＝ズドルイ国際ショパン音楽祭	1982	カラー印刷・紙	NIFC
56	タデウシュ・チャウォーヴィチ	第42回ドゥシュニキ＝ズドルイ国際ショパン音楽祭	1987	カラー印刷・紙	NIFC
57	アンジェイ・ポンゴフスキ	第12回アントニン「秋色のショパン」国際音楽祭	1993	カラー印刷・紙	NIFC
58	ヴァルデマル・シフィエジ	第15回アントニン「秋色のショパン」国際音楽祭	1996	シルクスクリーン・紙	NIFC
59	ラファウ・オルビンスキ	第17回アントニン「秋色のショパン」国際音楽祭	1998	グラビア印刷・紙	NIFC
60	アンジェイ・ヤン・レラチク	第22回アントニン「秋色のショパン」国際音楽祭	2003	カラー印刷・紙	NIFC
61	タデウシュ・ガヴォジェフスキ	第3回ショパン・デイズ・イン・アントニン（オストルフ・ヴィエルコポルスキ市文化協会、県立カリシュ市「文化の家」）	1984	カラー印刷・紙	NIFC
62	ヤロスラフ・スーラ	第18回マリアーンスケー・ラーズニェ・ショパン音楽祭	1977	カラー印刷・紙	NIFC
63	ヴァルデマル・シフィエジ	ジャコモ・オレフィーチェのオペラ「ショパン」（ワルシャワ国立劇場）	1997	カラー印刷・紙	NIFC
64	トマシュ・シュレツキ	「ショパン没後150周年記念、フリデリク・ショパン協会（ワルシャワ）およびポスター博物館（ヴィラヌフ）所蔵のショパン・ポスター展」	1999	カラー印刷・紙	NIFC
65	イェジー・チェルニャフスキ	第10回ショパン国際ピアノコンクール国内予選	1980	カラー印刷・紙	NIFC
66	カール・ライネッケ校訂版	ショパンの楽譜	1880–1885頃	書籍	個人蔵
67	ヘルマン・ショルツ校訂版	ショパンの楽譜	1879	書籍	個人蔵
68		『音樂』第12巻第3号、樂友社	1907（明治40）.7	定期刊行物	大阪音楽大学
69		『音樂世界』第2巻第6号、十字屋田中商店	1908（明治41）.6	定期刊行物	大阪音楽大学
70		『音樂界（ショパン誕生紀念號）』第2巻第2号、樂界社	1909（明治42）.2	定期刊行物	大阪音楽大学
71	作曲（編曲）澤田柳吉	『セノオ楽譜　お江戸日本橋』セノオ音樂出版社	1916（大正5）	書籍	個人蔵
72	ジェームズ・ハネカー著、鈴木賢之進訳	『ショパンの生涯』葡萄樹社	1922（大正11）	書籍	個人蔵
73	マウリツィ・カラソフスキ著、柿沼太郎訳	『ショパンの生涯と手紙』新生社	1923（大正12）	書籍	個人蔵
74	増澤健美著	『ショパン全曲の批判的解説』新響社	1924（大正13）	書籍	個人蔵
75	小泉洽著	『アルス楽聖叢書　ショパン』アルス	1930（昭和5）	書籍	個人蔵
76		『音楽コンクール三十年：1932–1961』音楽コンクール30年編纂事務局編、非売品	1962（昭和37）	書籍	個人蔵
77		『第四回音樂コンクール大演奏會プログラム』（於日比谷公会堂）	1935（昭和10）.11	書籍	個人蔵
78		『模範ピアノ樂譜 No.9　ショパン　ノクターン集（夜曲）』高折宮次編、好樂社	1944（昭和19）	書籍	個人蔵
79	ヘンリク・オピイェンスキ著、原田光子訳	『天才ショパンの心』第一書房	1942（昭和17）	書籍	個人蔵
80	ヘルマン・リヒテル著、道本清一郎訳	『小説　ショパン』興風館	1943（昭和18）	書籍	個人蔵

第2楽章　ショパンを育んだ都市ワルシャワ

図録番号	作家名	作品名	制作年	技法・素材	所蔵
81	ナポレオン・オルダ原画、アロイズィ・ミシェローヴィチ版画	ジェラゾヴァ・ヴォラ (『同胞たちに捧げるポーランドの歴史的風景の選集』第8集、図249)	1882–1883	リトグラフ・紙	NIFC
82	ベルナルド・ベロット	オストロクスキ宮殿から王宮までのワルシャワの景観	1774	エッチング・紙	NIFC
83	ジョヴァンニ・アントーニオ・リッツィ・ザノーニ原画、ニコラ・シャルマンドリエ版画	ワルシャワ市街図。街の眺望と主要な建築物	1772	銅版・紙	NIFC
84	フリードリヒ・クリストフ・ディートリヒ原画、アントーニオ・ヴェリコ版画	ワルシャワ。聖十字架教会とクラコフスキェ・プシェドミェシチェ通り (ベルナルト・ザイドレル著『ポーランドの歴史』第2巻、644頁の後の口絵)	1831	手彩色銅版・紙	NIFC
85	ヤン・フェリクス・ピヴァルスキ	1824年当時のカジミェシュ宮殿すなわちワルシャワ高校 (『過去以来の、ワルシャワや地方の種種雑多な風景』第4巻、図20)	1858	カラーリトグラフ・紙	NIFC
86	ヤクプ・ソコウォフスキ原画、フリードリヒ・クリストフ・ディートリヒ版画	ワルシャワのポーランド王国総督宮(ユゼフ・ヴァヴジニェツ・クラシンスキ著『ポーランドとクラクフ共和国の旅行案内』26頁のための挿絵)	1820–1821	エッチング、アクアチント・紙	NIFC
87	フリードリヒ・クリストフ・ディートリヒ	ワルシャワ市内クラシンスキ広場の眺め	1827–1829	エッチング、アクアチント・紙	NIFC
88	アントーニオ・ヴェリコ	ベルヴェデル宮殿　コンスタンチン(ロシア)大公の元居館 (ベルナルト・ザイドレル著『ポーランドの歴史』第2巻、644頁の後の口絵)	1831	銅版・紙	NIFC
89	作者不詳	ユゼフ・エルスネルの肖像	19世紀前半頃	油彩・カンヴァス	NIFC
90	マクスィミリアン・ファヤンス	カロル・リピンスキの肖像(連作《ポーランドの絵》より、分冊3、1852)	1850	リトグラフ・紙	NIFC
91	マクスィミリアン・ファヤンス	イグナツィ・フェリクス・ドブジンスキの肖像(連作《ポーランドの絵》より、分冊7、1852)	1850	リトグラフ・紙	NIFC
92	アルバート・ヘンリー・ペイン	カール・マリア・フォン・ヴェーバーの肖像(オペラ《魔弾の射手》の場面付き)(『あらゆる時代・性質のすべての国々の眺め、偉人の肖像、芸術の作例のエングレーヴィング・コレクションに収められたペインのすべて、あるいは、絵画世界』チャールズ・エドワーズ編、第2巻、114頁の後の口絵)	1850頃	銅版・紙	NIFC
93	アントワーヌ=ジャン・グロ原画、ヘンリク・アシェンブレンネル版画	ユリアン・ウルスィン・ニェムツェーヴィチの肖像	1860頃	リトグラフ・紙	NIFC
94	ヤン・フェリクス・ピヴァルスキ原画、フリードリヒ・クリストフ・ディートリヒ版画	アルセナウ〔武器庫〕(連作《1830年蜂起》[十一月蜂起]より)	1831	アクアチント、エッチンング・紙	NIFC
95	H.ビビー原画、アルバート・ヘンリー・ペイン版画	聖シュテファン大聖堂(ウィーン)	1845頃	銅版・紙	NIFC
96	マルチン・ザレスキ	ワルシャワ、聖十字架教会の祭壇—主身廊からの眺め	19世紀中頃	油彩・カンヴァス	MNW
97	マルチン・ザレスキ	ヴィエジュブノからのポーランド軍部隊の帰還	1831	油彩・カンヴァス	MNW
98	ヤン・フェリクス・ピヴァルスキ	居酒屋「有り金すべて」	1845頃	油彩・カンヴァス	MNW
99	マルチン・ザレスキ	ワジェンキ宮殿—夏の風景	1836–1838	油彩・カンヴァス	MNW
100	ブレスラウエル・フリスティアン	ナトリン	1852	油彩・カンヴァス	MNW
101	ヴィンツェンティ・カスプシツキ	公園側から見たヴィラヌフ宮殿の眺め	1834以前	油彩・カンヴァス	MNW
102	マルチン・ザレスキ	ワルシャワ、ベルナルディン派付属教会の解体	1843頃	油彩・カンヴァス	MNW

第3楽章　華開くパリのショパン

図録番号	作家名	作品名	制作年	技法・素材	所蔵
103	作者不詳	クララとロベルト・シューマン夫妻の肖像	1850頃	リトグラフ・紙	NIFC
104	アウグスト・ヴェーガー	フェリクス・メンデルスゾーン=バルトルディの肖像	1845頃	銅版・紙	NIFC
105	ジャン=バティスト・クレザンジェ	フリデリク・ショパンの胸像	1849以降	緑青・ブロンズ	NIFC
106	セヴェリン・オレシュチンスキ	ジョルジュ・サンドの肖像	1850頃	リトグラフ・紙	NIFC
107	ジャン=フランソワ・ジグー	ウジェーヌ・ドラクロワの肖像(『ガゼット・デ・ボザール』1864年1月号掲載)	1864	エッチング・紙	NIFC
108	フェリクス・ジョゼフ・バリアス原画	ショパンの死	1895	エリオグラヴュール・紙	NIFC
109	ニコラ=ウスタシュ・モラン	著名なピアニストたち(青年派):ヤーコプ(ジャック)・ローゼンハイン、エドヴァルト・ヴォルフ、テオドール・デーラー、フリデリク・ショパン、アードルフ・フォン・ヘンゼルト、フランツ・リスト、アレクサンダー・ドライショック、ジーギスムント・タールベルク(『ルヴュー・エ・ガゼット・ミュジカル・ド・パリ』1842年2号、購読者のための付録)	1842	リトグラフ・紙	NIFC

図録番号	作家名	作品名	制作年	技法・素材	所蔵
110	アリ・シェフェール原画、ルードルフ・ヴァイセ版画	フランツ・リストの肖像	1844	リトグラフ・紙	NIFC
111	アルシード=ジョゼフ・ロランツ版画	フランツ・リストの諷刺画(『シャリヴァリ』1842年7月8日のための挿絵)	1842	リトグラフ・紙	NIFC
112	作者不詳	フリードリヒ・ヴィルヘルム・カルクブレンナーの肖像	1840頃	リトグラフ・紙	NIFC
113	アシル・ドゥヴェリア	アンリ・エルツの肖像	1832	リトグラフ・紙	NIFC
114	ピエール・ルイ・アンリ・グルヴドン	ジーギスムント・タールベルクの肖像	1836	リトグラフ・紙	NIFC
115	ウジェーヌ・ルイ・ラミ原画、 チャールズ・モットラム版画	パリのテアトル=イタリアン (『フランス・イラストレイテッド』第4巻、81頁の後の口絵)	1845–1847	鋼版・紙	NIFC
116	ウジェーヌ・ルイ・ラミ原画、 ジョン・ロビンソン版画	オペラ座のボックス席で (『フランス・イラストレイテッド』第4巻、152頁の後の口絵)	1842	鋼版・紙	NIFC
117	ウジェーヌ・ルイ・ラミ原画、 フレドリック・ヒース版画	オペラ座を去る人々 (『フランス・イラストレイテッド』第4巻、97頁の後の口絵)	1845–1847	鋼版・紙	NIFC
118	フランソワ=セラファン・デルペシュ版画	ルイージ・ケルビーニの肖像(『同時代の名士たち、あるいは身分、地位、学識、才能において現代最も著名な人物たちの肖像画(各人の筆跡の複製付き)』1842年の挿絵19)	1842	リトグラフ・紙	NIFC
119	作者不詳	人気のある音楽家たち、ジョヴァンニ・バッティスタ・ルビーニ、ドメニコ・ドンゼッリ、ルイージ・ラブラーシュ (『ファッションの世界とヨーロッパ大陸の文芸欄:とりわけ優雅な生活、社交界の人々、ファッション、純文学、美術、オペラ、演劇などに捧げる月刊誌』143号の挿絵)	1836	鋼版・紙	NIFC
120	アレクサンドル・ラコーシー原画、 フランソワ=ルイ・クシェ版画	ジョアキーノ・ロッシーニのオペラ、ウィリアム・テルにおけるアルノルド・メルクタールの役アドルフ・ヌーリ(『天井桟敷、あるいは首都にある最高の劇場にいる主たる俳優たちの全身肖像画のコレクション、高名な版画家たちの版刻』分冊3、図9)	1833–1842	鋼版・紙	NIFC
121	コナール・ランマン原画、フィシャー版画	ポーリーヌ・ヴィアルドの肖像	1845頃	リトグラフ・紙	NIFC
122	P.O.ウォーナー原画、 ウォルター・スコット・ランクモア版画	ジェニー・リンドの肖像	1848頃	鋼版・紙	NIFC
123	アシル・ドゥヴェリア	パリの王立イタリア劇場の歌手ジューリア・グリージとジュディッタ・グリージの肖像	1833	リトグラフ・紙	NIFC
124	ルイ=エミール・ラサール	ロール・サンティ=ダモローの肖像 (『出版、文学、美術のギャラリー』ルイ・ユアール編)	1839	リトグラフ・紙	NIFC
125	ブージュ	ヴィクトル・ユゴーとマリー・ドルヴァルの肖像	1833	リトグラフ・紙	NIFC
126	作者不詳	パリのパノラマ	19世紀前半頃	リトグラフ・紙	NIFC
127	トーマス・アロム原画、ジョン・サドラー版画	コンコルド広場、パリ(『フランス・イラストレイテッド』第2巻、扉絵のための挿絵)	1845–1847	鋼版・紙	NIFC
128	シャルル=クロード・バシュリエ	ルーヴル美術館とテュイルリー公園、ポン・ヌフ橋からの眺望	1860頃	カラーリトグラフ・紙	NIFC
129	ジャン=バティスト・アルヌー (アルヌール)	ルーヴル美術館中庭の眺めとオルレアン公の乗馬像	1847頃	リトグラフ・紙	NIFC
130	オーブラン	ルーヴル美術館	1862	カラーリトグラフ・紙	NIFC
131	作者不詳	パリ市内グラントテルとカピュスィーヌ大通りの眺め	1850頃	鋼版・紙	NIFC
132	フレデリック・ナッシュ原画、 エドワード・グッドール版画	パレ・ロワイヤルの庭	1820	鋼版・紙	NIFC
133	シャルル=クロード・バシュリエ	パンテオン、パリ	1860頃	カラーリトグラフ・紙	NIFC
134	ジャック=アルフォンス・テスタール原画、 ウィリアム・ルプティ版画	リュクサンブール宮殿	1845頃	鋼版・紙	NIFC
135	シャルル=クロード・バシュリエ	マドレーヌ教会	1860頃	カラーリトグラフ・紙	NIFC
136	ウジェーヌ・ルイ・ラミ(派)	ジョルジュ・サンド、アルフレッド・ド・ミュッセ、ウジェーヌ・ドラクロワがいるサロン(架空の場面)	1835頃	水彩、ウォッシュ、 グアッシュ・紙	NIFC
137	トーマス・アロム原画、W・トーマス・フロイド版画	テュイルリー宮殿(『フランス・イラストレイテッド』第2巻、10頁の後の口絵)	1845–1847	鋼版・紙	NIFC
138	アントワーヌ・モラン	〔フランス王〕ルイ・フィリップの肖像	1860頃	リトグラフ・紙	NIFC
139	アト・ロトマン	テュイルリーでの夜会(パリ)(『マイヤー百科事典』のための挿絵)	1845頃	鋼版・紙	NIFC
140	ダヴィド・ダンジェ原画、 アントニ・オレシュチンスキ版画	アダム・ミツキェーヴィチの肖像	1833頃	鋼版・紙	NIFC
141	作者不詳	アダム・イェジー・チャルトリスキ公の肖像	19世紀	点刻版画・紙	NIFC
142	作者不詳	パリのオテル・ランベールでのチャリティ 舞踏会の入場券	1846	カラーリトグラフ・紙	NIFC
143	ユゼフ・シモン・クロフスキ	ユゼフ・ベムの肖像	1832–1833	リトグラフ・紙	NIFC

図録番号	作家名	作品名	制作年	技法・素材	所蔵
144	シャルレ・オーギュスト・シュラー原画、ヨアン・ゲオルグ・ノーダイム版画	ジローラモ・ラモリーノの肖像(『マイヤー百科事典』のための挿絵)	1845頃	鋼版・紙	NIFC
145	アリ・シェフェール	フリデリク・ショパンの肖像	1847	油彩・カンヴァス	DMH
146	アリ・ヨハネス・ランメ	アリ・シェフェール邸(パリ、シャプタル通り16番)の小さなアトリエ	1850	油彩・カンヴァス	DMH
147	アリ・シェフェール	《パオロとフランチェスカ》のための下絵	1822	油彩・板	DMH
148	アリ・シェフェール	故国に思いを馳せるミニョン	1850	油彩・カンヴァス	DMH
149	アリ・シェフェール	31歳の自画像	1826	油彩・カンヴァス	DMH
150	アリ・シェフェール	スーリの女たち(アリ・パシャの手に堕ちないために岩から身を投げる)	1823	油彩・カンヴァス	DMH
151	ジョセフ・マラード・ウィリアム・ターナー	嵐の近づく海景	1803–1804頃	油彩・カンヴァス	東京富士美術館
152	テオドール・ジェリコー	風景の中の山羊と羊	1812–1816	油彩・カンヴァス	東京富士美術館
153	ウジェーヌ・ドラクロワ	オランのアラブ人	1834	油彩・カンヴァス	東京富士美術館
154	シャルル・フランソワ・ドービニー	川辺の風景	1874	油彩・板	東京富士美術館

第4楽章　真実のショパン ―楽譜、手紙―

図録番号	作家名	作品名	制作年	技法・素材	所蔵
157	マリア・ヴォジンスカ	フリデリク・ショパンの肖像	1836	リトグラフ・紙	NIFC
158	ピエール=ロシュ・ヴィニュロン	フリデリク・ショパンの肖像	1833	リトグラフ・紙	NIFC
159	ジャン=ピエール・ダンタン(弟)	フリデリク・ショパンのブロンズ胸像	1841	緑青・ブロンズ	NIFC
160	ジョルジュ・サンド、本名アマンティーヌ=オーロール= リュシール・デュパン、デュドヴァン	フリデリク・ショパンの肖像(レオポルト・ビネンタル著『ショパン。生誕120周年の記念に。ドキュメントと思い出の品々』1930年刊、図版番号93)	不詳	鉛筆・紙(複製)	NIFC
161	アリ・シェフェール原画、マクスィミリアン・ファヤンス版画	フリデリク・ショパンの肖像(連作《ポーランドの絵》より、分冊6)	1850頃	リトグラフ・紙	NIFC
162	ポーリーヌ・ヴィアルド(旧姓ガルシア)	戯画・フリデリク・ショパン	1839頃	鉛筆、インク、水・紙	NIFC
163	フランツ・クサーヴァー・ヴィンターハルター	フリデリク・ショパンの肖像(楕円)	1847–1861	油彩・カンヴァス	NIFC
164	タデウシュ・ウォピェンスキ鋳造	フリデリク・ショパンの左手像(1849年ジャン=バティスト・クレザンジェ作の鋳型による)	1968	ブロンズ	NIFC
165	ウォピェンスキ兄弟鋳造	フリデリク・ショパンのデスマスク(1849年ジャン=バティスト・クレザンジェ作の鋳型による)	1930	緑青・ブロンズ	NIFC
166	フリデリク・ショパン	ロンド ハ短調 作品1、ポーランド初版(ワルシャワ、アントニ・ブジェジーナ出版)	1825.6.2刊	リトグラフ、インク(自筆の書き込み)・紙	NIFC
167	フリデリク・ショパン	エチュード ヘ長調 作品10-8 自筆譜(製版用)	1833以前	インク・紙	NIFC
168	フリデリク・ショパン	ポロネーズ ヘ短調 作品71-3 自筆譜(贈呈用)	1836	インク・紙	NIFC
169	フリデリク・ショパン	自筆の手紙―パリのユリアン・フォンタナ宛ての手紙(ノアン、1839年10月8日)	1839	インク・紙	NIFC
170	フリデリク・ショパン	自筆の手紙―パリのヴォイチェフ・グジマワ宛ての手紙(ノアン、1843年 10月15日または16日)	1843	インク・紙	NIFC
173	作者不詳	ショパン所蔵のベル、中国趣味の布袋像	19世紀頃	緑青・ブロンズ	NIFC

第5楽章　ショパン国際ピアノコンクール

図録番号	作家名	作品名	制作年	技法・素材	所蔵
174	タデウシュ・トレプコフスキ	第5回ショパン国際ピアノコンクール	1955	カラー印刷・紙	NIFC
175	マンフレート・クルスカ	第6回ショパン国際ピアノコンクール	1960	カラー印刷・紙	NIFC
176	ステファン・マウェツキ	第7回ショパン国際ピアノコンクール	1965	カラー印刷・紙	NIFC
177	ロスワフ・シャイボ	第7回ショパン国際ピアノコンクール(フランス語版)	1965	カラー印刷・紙	NIFC
178	ステファン・マウェツキ	第8回ショパン国際ピアノコンクール	1970	カラー印刷・紙	NIFC
179	ヘンリク・トマシェフスキ	第10回ショパン国際ピアノコンクール	1980	カラー印刷・紙	NIFC
180	カロル・シリフカ	第10回ショパン国際ピアノコンクール(フランス語版)	1980	カラー印刷・紙	NIFC

図録番号	作家名	作品名	制作年	技法・素材	所蔵
181	トマシュ・シュレツキ	第11回ショパン国際ピアノコンクール（フランス語版）	1985	カラー印刷・紙	NIFC
182	レフ・マイェフスキ	第12回ショパン国際ピアノコンクール	1990	カラー印刷・紙	NIFC
183	ロスワフ・シャイボ	第13回ショパン国際ピアノコンクール（ポーランド語／英語版）	1995	カラー印刷・紙	NIFC
184	トマシュ・シュレツキ	第14回ショパン国際ピアノコンクール（ポーランド語／英語版）	2000	カラー印刷・紙	NIFC
185-1	ユゼフ・マルキェーヴィチ	第10回ショパン国際ピアノコンクールのメダル（金メダル）	1980	金メッキ・ブロンズ	NIFC
-2	ユゼフ・マルキェーヴィチ	第10回ショパン国際ピアノコンクールのメダル（銀メダル）	1980	銀メッキ・ブロンズ	NIFC
-3	ユゼフ・マルキェーヴィチ	第10回ショパン国際ピアノコンクールのメダル（銅メダル）	1980	緑青・ブロンズ	NIFC
186-1	スタニスワフ・シコラ	フリデリク・ショパンの横顔のメダル（金メダル）	1980	金メッキ・ブロンズ	NIFC
-2	スタニスワフ・シコラ	フリデリク・ショパンの横顔のメダル（銀メダル）	1980	銀メッキ・ブロンズ	NIFC
-3	スタニスワフ・シコラ	フリデリク・ショパンの横顔のメダル（銅メダル）	1980	ブロンズ	NIFC

ピアノの森

	原画14点など

2－5　静岡市美術館開館10周年記念
生誕110年・没後30年　絵本画家・赤羽末吉展
『スーホの白い馬』はこうして生まれた

会期：10月3日（土）－11月29日（日）

概要：50歳のときに絵本画家としてデビューを果たした赤羽末吉（1910-1990）は、モンゴルの雄大な風景を描いた『スーホの白い馬』などで知られている。
赤羽は22歳で満洲（中国東北部）へ渡ると、仕事の傍ら土俗人形の蒐集や影絵人形芝居を研究し、日本画家としても活躍。同時に満洲画壇における気鋭の論客でもあった。1943年、取材旅行で訪れた内蒙古（現・内モンゴル自治区）の壮大な風景に感動した赤羽は、そこで目にしたものを大量の写真やスケッチに収め、引揚げ時に命がけで持ち帰った。これらの資料をもとに描かれた『スーホの白い馬』は、出版から半世紀がたった今なお日本中の子どもたちに読み継がれている。その後も満洲時代に培った経験をもとに、日本やモンゴル、中国の少数民族の民話を数多く手がけ、80歳で亡くなるまでの間に約80冊もの絵本を発表した。
本展では内蒙古取材時の写真やスケッチ、資料などから『スーホの白い馬』誕生の軌跡を探るとともに、ちひろ美術館所蔵の絵本原画やデビュー以前に描かれた作品約300点をとおして、赤羽の画業の全体像を紹介した。

巡回先：なし（自主企画展）

主催：静岡市、静岡市美術館 指定管理者（公財）静岡市文化振興財団、ちひろ美術館、Daiichi-TV

後援：静岡市教育委員会、静岡県教育委員会

協力：一般財団法人日本カメラ財団、静岡図書館友の会、静岡市立中央図書館、静岡県読み聞かせネットワーク、静岡県立中央図書館

助成：一般財団法人地域創造

観覧料：一般　1,200円（1,000円）
大高生・70才以上　800円（600円）
※中学生以下無料
※（　）内は前売料金
※障がい者手帳等をご持参の方および介助者原則1名は無料

観覧者数：16,196人（有料10,385人、無料5,811人、有料率64.12%）

出品点数：292点

制作物：
1）チラシ
＜仕様＞紙：b7トラネクスト 99kg
サイズ・加工・数量：A3二つ折り（仕上A4）75,000部

2）ポスター
＜仕様＞紙：モンテアルバ 120.5kg（B1、B2）、ユーライト 135kg（B3）
サイズ・数量：B1 55部、B2 2,050部、B3 2,750部（うち400部はJR帯つき）

チラシ表面

チラシ裏面

チラシ中面

B1・B2ポスター

B3ポスター

カタログ：
＜仕様＞222×200mm、212頁

カタログ表紙

図版（カラー233点、モノクロ62点）
参考図版（カラー4点、モノクロ108点）

赤羽茂乃「『スーホの白い馬』の赤」
古川信夫「絵本（視覚総合芸術）の金字塔『スーホの白い馬』」
上島史子「赤羽末吉　絵本への道」

年譜／赤羽末吉　随筆・紀行文／各図解説・作品リスト／赤羽末吉児童書リスト／赤羽末吉の外国語に翻訳刊行された絵本リスト

編集：静岡市美術館
編集協力：赤羽茂乃、ちひろ美術館
発行：静岡市美術館
発行年：2020年

普及ツール：
1)本展オリジナルミニDMの作成・配布
ハガキサイズのミニDMを制作し、認定こども園・保育園・幼稚園へ配布した。
制作物：
◆ミニDM
＜仕様＞紙：ライトスタッフGA-FS 135kg
サイズ・数量：100×148mm 70,000部

ミニDM表面

ミニDM裏面

各種連携：
1)近隣店舗との連携
葵タワー内および近隣店舗で、展覧会入場者へ優待サービスを行った。
制作物：
◆チラシ
＜仕様＞紙：マットコート 70kg
サイズ・数量：A4 4,000部

協賛チラシ表面

協賛チラシ裏面

2)市内図書館との連携
本展にあわせ、市内13の図書館で出品作品の絵本や関連書籍を集めた特設コーナーを設置する「静岡市美術館赤羽末吉展フェア」が開催された。当館でもフェアを告知するチラシを作成し、来場者に告知した。
制作物：
◆チラシ
＜仕様＞紙：マットコート 90kg
サイズ・数量：A4 10,000部

図書館チラシ

主要広報記録：

1)テレビ・ラジオ

・「展覧会紹介」株式会社シティーエフエム静岡『シティエフエム静岡』、9月26日放送。
・「展覧会紹介」静岡第一テレビ『しずプリ・しずプリミニ』、10月2日放送。
・「「絵本画家・赤羽末吉展」一足先に公開！大注目！あすから静岡市美術館で開催」静岡第一テレビ『まるごと「撮って出し」コーナー』、10月2日放送。
・「きょう開幕」静岡第一テレビ『NNNストレイトニュース』、『news every.サタデー』、『news FRONT zero』、10月3日放送。
・「絵本画家赤羽末吉の作品展」NHK静岡放送局『県内ニュース』、10月6日放送。
・「作品紹介①」静岡第一テレビ『まるごとワイド「脳ミソたいそう」』、10月9日放送。
・「作品紹介②」静岡第一テレビ『まるごとワイド「脳ミソたいそう」』、10月16日放送。
・「展覧会紹介」静岡第一テレビ『しずプリ・しずプリミニ』、10月16日放送。
・「静岡市美術館「赤羽末吉展」見なきゃ損 大注目アート」静岡第一テレビ『まるごとワイド「丸山桂里奈のなでしこスタイル」』、10月20日放送。
・「巨匠「赤羽末吉展」の魅力」静岡第一テレビ『news every.しずおか』、10月23日放送。
・「作品紹介③」静岡第一テレビ『まるごとワイド「脳ミソたいそう」』、10月23日放送。
・「展覧会紹介」FM-Hi!『ひるラジ！情報館』、2020.10.29日放送。
・「作品紹介④」静岡第一テレビ『まるごとワイド「脳ミソたいそう」』、10月29日放送。
・「「スーホの白い馬」誕生秘話」静岡第一テレビ『news every.しずおか』10月29日放送。
・「赤羽末吉展の魅力」静岡第一テレビ『news every.しずおか』、11月4日放送。
・「作品紹介⑤」静岡第一テレビ『まるごとワイド「脳ミソたいそう」』、11月6日放送。
・「展覧会紹介」静岡第一テレビ『しずプリ・しずプリミニ』、11月6日放送。
・「一万人記念」静岡第一テレビ『NNNストレイトニュース』、11月12日放送。
・「懐かしの絵本原画ずらり！赤羽末吉展」静岡第一テレビ『まるごとワイド「GOTOみやぞん」』、11月13日放送。
・「作品紹介⑥」静岡第一テレビ『まるごとワイド「脳ミソたいそう」』、11月13日放送。
・「11/4分再放送」静岡第一テレビ『NNNストレイトニュース』、11月14日放送。
・「作品紹介⑦」静岡第一テレビ『まるごとワイド「脳ミソたいそう」』、11月20日放送。
・「作品紹介⑧」静岡第一テレビ『まるごとワイド「脳ミソたいそう」』、11月27日放送。

2)新聞

・「10/3開幕！」『報知新聞』静岡版、9月29日。
・「赤羽末吉　絵本原画ずらり」『読売新聞』静岡版、10月4日。
・「「スーホの白い馬」赤羽末吉の絵画展」『静岡新聞』、10月5日。
・「赤羽末吉生誕110年で脚光」『静岡新聞』、10月6日。
・「大好評開催中」『報知新聞』静岡版、10月27日。
・塩田彩「「スーホの白い馬」の原風景」『毎日新聞』、10月31日。
・「終了迫る」『報知新聞』静岡版、11月24日。

3)雑誌他

・「展覧会紹介」『[完全ガイドシリーズ263]美術展完全ガイド2020』。
・「展覧会紹介」『画集　赤羽末吉の絵本』。
・「展覧会紹介」『赤羽末吉 絵本への一本道』。
・「展覧会紹介」『和樂』、8·9月号。
・「展覧会紹介」『チルチンびと』、2020夏号。
・「展覧会紹介」『和樂』、10・11月号。
・「展覧会紹介」『月刊美術』、10月号。
・「展覧会紹介」『にんぎょう日本』、10月号。
・「展覧会紹介」『MOE』、11月号。
・「『スーホの白い馬』誕生の軌跡を探る」『教育家庭新聞』、第2179号。
・「展覧会紹介」『ひととき』、11月号。
・「展覧会紹介」『美術の窓』、10月号。
・「世代を超えて読み継がれる名作誕生の軌跡を辿る」『ARE YOU HAPPY』、11月号。
・「展覧会紹介」『潮』、11月号。
・「展覧会紹介」『和樂』、12・1月号。
・「展覧会紹介」『アートコレクターズ』、11月号。
・「展覧会紹介」『美術の窓』、12月号。
・「展覧会紹介」『すろ～かる』、11月号。
・「展覧会紹介」『イノセント』、195号。
・「絵本画家 赤羽末吉展」『富士ニュース』、第22318号。
・「展覧会図録紹介」『こどもとしょかん』、第168号。

4)ウェブサイト等（媒体名のみ記載）

「イラストレーション ファイルWeb」、「YAHOO!JAPAN」、「じゃらんnet」、「アットエス」、「アートアジェンダ」、「ウェブ版「美術手帖」」、「NNNドットコム - Daiichi-TV」、「絵本ナビスタイル」

関連事業：

1)絵本をたのしむおはなし会

概要：静岡図書館友の会運営委員の草谷桂子氏がコーディネートを務め、会の有志30名が出品作品の絵本を朗読した。会期中の週末に3日間・計6回実施し、各回の演目は6グループで分担、構成も各自で計画された。感染症対策として、会場を展示室から多目的室に変更し、席の間隔をあけ、絵本はスクリーンに拡大投影した。読み手と聞き手との距離感が心配されたが、マイクを通した朗読は聞き取りやすく、同時に大画面で絵を見ることで新しい発見があった等、好評であった。

日時：10月10日・31日、11月14日　いずれも(土)
A.13:30－　B.14:30－(各回30分程度)

会場：多目的室　　**参加者数**：計245人

参加料：無料　　**朗読協力**：静岡図書館友の会ほか

内容：①『まのいいりょうし』 ②『かさじぞう』 ③『こぶじいさま』 ④『あかりの花』 ⑤『ももたろう』 ⑥『おおきな おおきなおいも』 ⑦『だいくとおにろく』 ⑧『そら、にげろ』 ⑨『鬼ぞろぞろ』 ⑩『スーホの白い馬』 ⑪『さるとかに』 ⑫『へそもち』 ⑬『ほしになったりゅうのきば』 ⑭『くわずにょうぼう』

10月10日：A.①②③④　B.⑤⑥⑦⑧

31日：A.⑨⑦⑩　B.⑪①②

11月14日：A.⑬⑦　B.⑭⑦⑩

印刷物：

◆チラシ

＜仕様＞紙：マットコート 90kg
サイズ・数量：A4 4,000部

2)影絵“皮影戯(ピーインシー)”上演会

概要：日本で唯一、皮影戯の伝統的な影絵人形を制作できる柴廣義氏が所属する劇団影法師を招き実施した。近隣の小梳神社境内に約10mのスクリーンを設置し、夕暮れから上演を開始。赤羽末吉も魅了された精緻な彫刻の施された色鮮やかな影が自在に動く姿は幻想的で、大変好評であった。当日はコロナ対策を十分に行い、幅広い年齢層の参加があった。地元の商店街や神社と連携し、広く市民が美術に触れる機会を提供することができた。

日時：10月24日(土)17:30－19:00

会場：小梳神社　　**参加者数**：110人

参加料：無料

主要広報記録：

◆新聞

・「皮影戯「中国の影絵芝居　色や動きで魅了」」『静岡新聞』、10月25日。

3)当館学芸員によるスライドトーク

概要：展覧会に対する理解を深めるため、当館学芸員によるスライドトークを会期中実施した。

日時：11月3日(火・祝)14:00－

会場：多目的室　　**参加者数**：30人

参加料：無料

4)対談「江戸っ子のふたり？赤羽末吉と大塚勇三」
概要：生前の赤羽を知る両講師が、『スーホの白い馬』の訳者・大塚勇三氏と、絵を手掛けた赤羽末吉氏の人生を紐解きながら名作誕生の裏側を語った。落語好きであった二人は、語りの芸である落語を通して話の起承転結やことばの豊かさを学び、それが絵本づくりに生かされたと指摘した。定員は収容人数の半数以下の50人に絞り、席の間隔をあけて実施した。参加者には検温や手の消毒、マスク着用を義務付け、連絡先の提出をお願いした。
日時：11月15日(日)14:00－15:30
会場：多目的室　　**参加者数**：49人
講師：赤羽茂乃氏(赤羽末吉研究家)、古川信夫氏(元福音館書店編集者)
主要広報記録：
◆テレビ・ラジオ
・「対談「江戸っ子のふたり？赤羽末吉と大塚勇三」」静岡第一テレビ『NNNストレイトニュース』、11月16日放送。
◆新聞
・鈴木凛平「静岡市美術館で対談イベント」『中日新聞』、11月16日。

5)講演会「『スーホの白い馬』の舞台: 現代モンゴルの歴史と文化」
概要：10月18日に開催の予定であったが、諸般の事情により中止とした。

6)静岡・音楽館×科学館×美術館 共同事業
ミュージアム・コンサート「馬頭琴とホーミーによるモンゴル民族音楽　『スーホの白い馬』の故郷からの風」
概要：10月11日に開催の予定であったが、諸般の事情により中止とした。

11月6日　来場者1万人達成

出品作品リスト

・記載のない作品はすべてちひろ美術館所蔵である。
・著者、再話者、訳者などの情報はすべて絵本の表記、並び順に従った。赤羽末吉・絵および画は省略した。
・寸法は原則として紙（支持体）の寸法とし、資料および参考図版は割愛した。

no.30内蒙古（現・内モンゴル自治区）の写真について
・すべて一般財団法人日本カメラ博物館所蔵である。
・写真は1943年、赤羽末吉が内蒙古（現・内モンゴル自治区）にて撮影した。
・表記およびデータは原則として一般財団法人日本カメラ博物館より提供されたものに従った。
・キャプションには赤羽自筆の写真の裏書を記し、改行箇所は　/　とした。
・[　]内には一般財団法人日本カメラ博物館が資料をもとに作成した内容を記した。
・写真の種類について、赤羽が引揚げ時に持ち帰った写真をオリジナルプリント、ネガをもとに一般財団法人日本カメラ博物館が制作した写真をニュープリントと記した。
・写真はすべてモノクロフィルムである。
・図録に掲載のない写真22点については、30-57 ～78の番号を付した。

1 章　民話　むかしむかし、あるところに——

no.	作品タイトル （絵本、書籍は『』）	制作年 （不明の場合は初版年）	著者、再話者、訳者 （出版社、初版年）	支持体・画材等	寸法 （縦× 横cm）
1	『かさじぞう』 （「こどものとも」58号）	1960年 （奥付絵は1966年）	瀬田貞二・案（福音館書店、1961年 ＊1966年、同社より単行本として刊行）		
1-1	奥付絵			和紙・墨	35.0×24.5
1-2	表紙・裏表紙			和紙・墨、日本画絵具	34.5×46.4
1-3	習作			和紙・墨、日本画絵具	33.5×45.5
1-4	習作			和紙・墨、日本画絵具	34.0×45.7
1-5	習作			和紙・墨、日本画絵具	33.0×45.5
1-6	習作			和紙・墨、日本画絵具	34.0×45.5
2	《雪国の物売り》	1959年		和紙・墨	60.7×73.0
3	雪国のスケッチ				
3-1	《雪国》	1950年代後半		和紙・墨	51.1×67.2
3-2	《十日町　雪国の民家》	1956年		紙・鉛筆、水彩	25.2×35.7
3-3	《裏磐梯　薪を担ぐ男と少年》	1957年		紙・鉛筆	20.5×14.6
3-4	《塩沢　雪で遊ぶ子ども》	1956年		紙・鉛筆、水彩	21.3×14.9
3-5	《塩沢　雪靴の子ども》	1956年		紙・鉛筆、水彩	21.3×14.9
3-6	《横手　りんご売り》	1959年		紙・鉛筆、水彩	22.0×28.5
3-7	《蓑をかぶった子ども》	1950年代後半		和紙・墨	20.5×26.5
3-8	《さいの神》	1957年頃		紙・墨	20.5×26.5
4	『だいくとおにろく』 （「こどものとも」75号）	1962年	松居　直・再話（福音館書店、1962年 ＊1967年、同社より単行本として刊行）		
4-1				和紙・墨、日本画絵具	24.0×56.0
4-2				和紙・墨、日本画絵具	24.2×56.0
4-3				和紙・墨、日本画絵具	23.8×56.0
4-4				和紙・墨、日本画絵具	23.8×56.0
5	『ももたろう』	1965年	松居　直・文（福音館書店、1965年）		
5-1				和紙・墨、日本画絵具	26.3×27.4
5-2				和紙・墨、日本画絵具	24.3×45.4
5-3				和紙・墨、日本画絵具	24.0×44.5
5-4				和紙・墨、日本画絵具	24.5×45.5
6	『こぶじいさま』 （「こどものとも」94号）	1964年	松居　直・再話（福音館書店、1964年 ＊1980年、同社より単行本として刊行）		
6-1				和紙・墨、日本画絵具	22.5×56.3
6-2				和紙・墨、日本画絵具	22.8×56.7
7	『へそもち』 （「こどものとも」125号）	1966年	渡辺茂男・作（福音館書店、1966年 ＊1980年、同社より単行本として刊行）		
7-1				和紙・墨、日本画絵具	59.0×24.0
7-2				和紙・墨、日本画絵具	58.5×24.0
7-3				和紙・墨、日本画絵具	57.5×24.8

no.	作品タイトル （絵本、書籍は『』）	制作年 （不明の場合は初版年）	著者、再話者、訳者 （出版社、初版年）	支持体・画材等	寸法 （縦× 横cm）
8	『さるとかに』	1968年	神沢利子・文（講談社、1968年 *1974年、銀河社より改訂版刊行 *2017年、BL 出版より改訂版刊行）		
8-1				紙・墨、水彩	34.2×47.0
8-2				紙・墨、水彩	34.3×48.8
8-3				紙・墨、水彩	34.0×48.5
8-4				紙・墨、水彩	33.0×45.0
8-5				紙・墨、水彩	34.0×48.8
9	『うりこひめとあまんじゃく』 （「キンダーおはなしえほん」第5 集1）	1972年	堀尾青史・文（フレーベル館、1972年 *1976年、同社より単行本として刊行 *2020年、BL 出版より改訂版刊行）	和紙・墨、日本画絵具	34.3×46.7
10	『ひょうたんめん』	1984年	神沢利子・文（偕成社、1984年 *2017年、復刊ドットコムより改訂版刊行）	和紙・墨、日本画絵具	32.5×49.0
11	『シカの童女』	1973年	岡野薫子・作（あかね書房、1973年 *2018年、復刊ドットコムより改訂版刊行）	和紙・墨	37.5×47.7
12	『まのいいりょうし』 （「こどものとも」200号記念増刊号2）	1973年	瀬田貞二・再話（福音館書店、1973年 *1975年、同社より単行本として刊行）	和紙・墨	34.0×45.5
13	『黄金りゅうと天女』	1974年	代田　昇・文（銀河社、1974年 *2018年、BL 出版より改訂版刊行）		
13-1				和紙・日本画絵具、金泥	35.0×46.5
13-2				和紙・日本画絵具	46.5×34.5
14	『ほうまんの池のカッパ』	1975年	椋　鳩十・文（銀河社、1975年 *2018年、BL 出版より改訂版刊行）		
14-1				和紙・墨、日本画絵具	36.0×48.5
14-2				和紙・墨、日本画絵具	36.0×48.5
15	『くわずにょうぼう』 （「こどものとも」252号）	1977年	稲田和子・再話（福音館書店、1977年 *1980年、同社より単行本として刊行）		
15-1				和紙・墨、日本画絵具	34.5×48.5
15-2				和紙・墨、日本画絵具	35.0×49.5
16	『鬼ぞろぞろ』	1978年	舟崎克彦・文（偕成社、1978年）		
16-1				和紙・墨、日本画絵具	32.1×45.0
16-2				和紙・墨、日本画絵具	32.5×45.0
16-3				和紙・墨、日本画絵具	32.2×45.2
17	『したきりすずめ』	1982年	石井桃子・再話（福音館書店、1982年）		
17-1				和紙・墨、日本画絵具	26.0×34.0
17-2				和紙・墨、日本画絵具	26.4×34.5
17-3				和紙・墨、日本画絵具	28.0×64.2
17-4				和紙・墨、日本画絵具	26.0×33.8
18	『かちかちやま』	1988年	おざわとしお・再話（福音館書店、1988年）		
18-1				和紙・墨、日本画絵具	32.7×55.0
18-2				和紙・墨、日本画絵具	32.7×55.0
18-3				和紙・墨、日本画絵具	32.5×55.0
18-4				和紙・墨、日本画絵具	35.8×55.0
19	《カーニバル（仮題）》	1950年代後半		和紙・墨、日本画絵具	67.8×47.2
20	《空かける馬》	1959年		和紙・墨、日本画絵具	65.0×72.7
21	《テーブルを囲む4人と空を飛ぶ2人（仮題）》	1950年代後半		和紙・墨、日本画絵具	33.3×42.7
22	《森のなかの女の子とうさぎ（仮題）》	1950年代後半（推定）		和紙・墨、日本画絵具	32.0×42.5
23	《雪のなかを歩く男（仮題）》	1950年代後半（推定）		和紙・墨、日本画絵具	32.0×42.4
24	『ジークフリート』のイメージ	1958年頃		紙・インク、墨	20.3×26.5

no.	作品タイトル （絵本、書籍は『』）	制作年 （不明の場合は初版年）	著者、再話者、訳者 （出版社、初版年）	支持体・画材等	寸法 （縦× 横cm）
25-1	《日本の昔ばなし（民話.風）》	1959年		和紙・墨、日本画絵具	155.0×155.0
25-2	《外国の昔ばなし》	1960年		和紙・墨、日本画絵具	155.0×155.0
26-1	西川流舞踊劇『花若』背景画	1962-68年		和紙・墨、日本画絵具	24.5×45.8
26-2	西川流舞踊劇『花若』衣装	1962-68年		和紙・墨、日本画絵具	23.0×34.2

2 章　『スーホの白い馬』はこうして生まれた

27	『スーホの白い馬』（改訂版）	1967年	大塚勇三・再話（福音館書店、1967年）		
27-1				和紙・日本画絵具	27.3×69.0
27-2				和紙・日本画絵具	27.2×68.2
27-3				和紙・日本画絵具	27.2×67.5
27-4				和紙・日本画絵具	27.1×67.2
27-5				和紙・日本画絵具	26.6×68.3
27-6				和紙・日本画絵具	27.2×68.0
27-7				和紙・日本画絵具	27.0×67.8
27-8				和紙・日本画絵具	27.0×66.3
27-9				和紙・日本画絵具	27.2×66.8
27-10				和紙・日本画絵具	27.2×69.3
27-11				和紙・日本画絵具	27.1×66.3
27-12				和紙・日本画絵具	27.1×67.8
27-13				和紙・日本画絵具	27.0×67.5
27-14				和紙・日本画絵具	27.3×66.9
27-15				和紙・日本画絵具	27.2×67.1
27-16				和紙・日本画絵具	27.1×68.1
27-17				和紙・日本画絵具	27.3×67.5
27-18				和紙・日本画絵具	27.4×67.7
27-19				和紙・日本画絵具	27.0×66.4
27-20				和紙・日本画絵具	27.0×67.0
27-21				和紙・日本画絵具	27.2×67.1
27-22				和紙・日本画絵具	27.3×67.7
27-23				和紙・日本画絵具	27.2×68.2
27-24				和紙・日本画絵具	27.0×68.7
27-25				和紙・日本画絵具	27.0×67.5
28	『スーホのしろいうま』（旧版） （「こどものとも」67号）	1961年	大塚勇三・訳（福音館書店、1961年）		
28-1				和紙・墨、日本画絵具	24.0×64.3
28-2				和紙・墨、日本画絵具	23.5×55.5
28-3				和紙・墨、日本画絵具	23.2×56.0
28-4				和紙・墨、日本画絵具	23.2×55.7
28-5				和紙・墨、日本画絵具	23.2×55.0
28-6				和紙・墨、日本画絵具	23.2×55.5
28-7	『スーホのしろいうま』のダミー	1960年		和紙・墨、水彩	21.5×22.0
28-8	『スーホのしろいうま』のダミー	1960年		和紙・墨	22.0×22.0
29	《モンゴルの少年》	1950年代（推定）		紙・鉛筆、水彩	19.2×12.6
30	内蒙古（現・内モンゴル自治区）の写真	1943年		モノクロフィルム	
30-1	ラマ僧　/　叡山の僧兵を思はしむ　［貝子廟］			オリジナルプリント ニュープリント	10.5×15.2 30.3×39.8

no.	作品タイトル （絵本、書籍は『』）	制作年 （不明の場合は初版年）	著者、再話者、訳者 （出版社、初版年）	支持体・画材等	寸法 （縦× 横cm）
30-2	従者をしたがえた王妃　/　この王妃さま　ひどくカメラをきらつて中々うつさせなかつたが　/　スイと現はれひらりと逃げた処をレンズがつかまえた　/　応接包の内部より　［貝子廟］			オリジナルプリント ニュープリント	14.9×10.6 40.0×30.3
30-3	［貝子廟］			ニュープリント	39.8×30.3
30-4				ニュープリント	39.8×30.3
30-5	踊の予行演習　/　影は役人の古風な帽子　［貝子廟］			オリジナルプリント ニュープリント	10.3×15.2 30.3×39.8
30-6	見物する貴族婦人達　/　前方天幕は王、来客の席　［貝子廟］			オリジナルプリント ニュープリント	10.4×14.0 29.3×39.8
30-7	日本の武士を思はせる蒙古人　/　腰に下げた袋ハ臭ぎ煙草入れ［貝子廟］			オリジナルプリント ニュープリント	14.9×10.5 39.9×30.3
30-8	蒙古の子供　［貝子廟］			オリジナルプリント ニュープリント	10.3×15.2 30.3×39.9
30-9	廟の近くにて			オリジナルプリント ニュープリント	12.3×15.3 30.4×39.9
30-10	［売買店］			オリジナルプリント ニュープリント	10.9×15.2 30.3×39.9
30-11	王府とハ云え草原に包が十三あるだけで、定住家屋は一つもない　/　それにハイヤー二台、トラック二台、荷車等、こゝに王城の生活がある　/　頭に特種な印のある左辺の包が王の居室である　/　立てる太った人物がシリンゴールのヂヤサック（王）である［阿巴嘎大王府］			オリジナルプリント ニュープリント	10.5×14.8 30.3×39.9
30-12	赤峯［原文ママ］　/ 泥の家　泥の塀　泥の道　/ 泥砂で構成された赤峰の町ハ砂漠の入り口である			ニュープリント	30.3×39.9
30-13	暗き土色にけしの花のしろさは　/　一入対照的に浮き上る			ニュープリント	30.3×40.0
30-14	草原とラクダ　/　夏のラクダはうすぎたない			ニュープリント	30.3×39.8
30-15	立ち話			ニュープリント	30.3×39.8
30-16	塔			ニュープリント	30.3×39.8
30-17	雨足　/　貝子廟と廟背のオボ			ニュープリント	30.3×39.9
30-18	貝子廟背の丘のオボ			ニュープリント	30.3×39.8
30-19	暮色蒼々の頃　/　ロバ上の老人は急ぐ　/　はるかうしろは貝子廟			ニュープリント	30.3×39.8
30-20	貝子廟　/　正面の衝立様の壁と向ふハ僧房			ニュープリント	39.9×30.3
30-21	漢人　売買店（マイマイジヤ）　/　貝子廟を中心に東西南北に漢人の売買店がある　/　蒙古人の放牧より以外になにもしらない、従って頭の先から足の先まで漢文化の御世話にならねばならない　/　歴史的にも性格的にも合わない漢人とのこうした関係は矛盾を感じる　/　現に漢人の定住を恐れて妻帯者の入蒙を許さない　/　然し根強い漢人は代々こゝに進出している　/　西　売買店　身廻り品を売っている　/　東　売買店　車、かごや仏絵師　仕立や等をみる			ニュープリント	30.3×39.9
30-22	［貝子廟］			ニュープリント	30.3×39.8
30-23	白い壁に赤い僧の衣が鬼女の様に泳ぐ			ニュープリント	29.8×39.8
30-24	祭に急ぐ親子			ニュープリント	30.3×40.0
30-25	［貝子廟］			ニュープリント	30.3×39.9
30-26	私達の起居した僧房から廟の屋根をみた処である　/　中庭にある円い石畳はこの上に包がはれる様になってゐる　［貝子廟］			ニュープリント	40.0×30.4
30-27	朝のおつとめ　［貝子廟］			ニュープリント	39.9×30.3
30-28	チヤムの予行演習　/　王や貴族達は一段高い所から見物する　［貝子廟］			ニュープリント	30.3×39.9
30-29	チヤムの祭が近づいて読経や長ラツパの音が昼となく夜となく続く　/　その読経をきゝに集まる婦人　/　盛装せるハ家老の氵二号［貝子廟］			ニュープリント	30.3×39.8
30-30	群衆　/　茶わんの中ハ馬乳酒（馬の乳よりとりたる酒）　［貝子廟］			ニュープリント	39.9×30.3
30-31	群衆風俗　/　玉かざりをおき黒の陣羽織りの如きものまとふハ人妻　/　装飾一切なくオビをグルグルとまきつけてゐるハ娘　［貝子廟］			ニュープリント	30.0×39.9
30-32	［貝子廟］			ニュープリント	30.3×39.9
30-33	［貝子廟］			ニュープリント	30.3×39.8
30-34	［貝子廟］			ニュープリント	30.4×40.0
30-35	［貝子廟］			ニュープリント	30.3×40.0
30-36	蒙古の家族			ニュープリント	30.3×39.9
30-37	この土地で最も位の高い婦人　/　前にあるのハ氷砂糖とチーズを乾した様な菓子			ニュープリント	39.9×30.3
30-38	これハ婦人の礼装である　/　トサラクチーと称する家老級の夫人が盛装こらして祭りに出かける姿である　/　この婦人の顔をみてゐると日本の古典にある婦人を思ひ出す			オリジナルプリント ニュープリント	10.5×14.9 40.0×30.3
30-39	これハ婦人の礼装である　/　トサラクチーと称する家老級の夫人が盛装こらして祭りに出かける姿である　/　この婦人の顔をみてゐると日本の古典にある婦人を思ひ出す			ニュープリント	39.9×30.2

no.	作品タイトル （絵本、書籍は『』）	制作年 （不明の場合は初版年）	著者、再話者、訳者 （出版社、初版年）	支持体・画材等	寸法 （縦× 横cm）
30-40	これハ婦人の礼装である　/　トサラクチーと称する家老級の夫人が盛装こらして祭りに出かける姿である　/　この婦人の顔をみてゐると日本の古典にある婦人を思ひ出す			ニュープリント	39.9×30.2
30-41				ニュープリント	39.9×30.3
30-42				ニュープリント	39.9×30.3
30-43				ニュープリント	39.9×30.3
30-44				ニュープリント	39.9×30.3
30-45	［貝子廟］			ニュープリント	39.9×30.3
30-46	茶をナベで煮出し葉をよけて茶湯をすくふ茶はスーテイチャイ（磚茶）と称して乳がはいってゐる　/　王府にて［阿巴嘎大王府］			ニュープリント	39.9×30.3
30-47	王府の羊毛　［阿巴嘎大王府］			ニュープリント	30.3×39.8
30-48	王居室の天蓋は朱塗に彫をほどこした立派なものである　［阿巴嘎大王府］			ニュープリント	30.3×39.9
30-49	包の内部　之は貴族の包　［阿巴嘎大王府］			ニュープリント	30.3×39.8
30-50	天蓋と側面の木組の情［原文ママ］態　/　外部の布はフエルト　［阿巴嘎大王府］			ニュープリント	30.3×39.9
30-51	［阿巴嘎大王府］			ニュープリント	30.3×40.0
30-52	［阿巴嘎大王府］			ニュープリント	30.3×40.0
30-53	［阿巴嘎大王府］			ニュープリント	40.0×30.3
30-54	［阿巴嘎大王府］			ニュープリント	39.9×30.3
30-55	王府の料理人　/　料理人ハやはり白い衣をまとう　/　腰に鍵や火打石を下げる　［阿巴嘎大王府］			ニュープリント	30.3×39.8
30-56	王府の従者　/　まゆ太くカンコツ高く口元しまる風貌ハ蒙古人の特徴である　/　こうした古武士の様な若者が茫々たる平原を背景に朱塗の鞍おいた馬にむちうつて走る様ハ正に武者絵巻である　［阿巴嘎大王府］			ニュープリント	30.3×39.8
30-57	蒙古犬			ニュープリント	30.3×39.9
30-58	雄大なる日没の雲			ニュープリント	30.3×39.9
30-59	［売買店］			ニュープリント	30.3×39.9
30-60	［貝子廟］			ニュープリント	40.0×30.3
30-61	予行演習　［貝子廟］			ニュープリント	30.3×39.9
30-62	［貝子廟］			ニュープリント	30.3×39.8
30-63	祭の群集　［貝子廟］			ニュープリント	39.9×30.3
30-64	［貝子廟］			ニュープリント	30.3×39.9
30-65	祭の群集　/　頭にまくターバンはかつて中央亜細亜を征服した時のなごりか――　［貝子廟］			ニュープリント	30.3×39.9
30-66	チヤムをみるラマ僧の面々［貝子廟］			ニュープリント	30.3×39.9
30-67	群衆　漢人もまぢる　［貝子廟］			ニュープリント	30.3×40.0
30-68				ニュープリント	39.9×30.3
30-69	［売買店］			ニュープリント	40.1×30.3
30-70				ニュープリント	39.9×30.3
30-71				ニュープリント	40.0×30.3
30-72	王の居室　/　但之ハ旗公署にある王の居室で王府の居室ははいれない　/　ジウタンの立派さに土足で上がるのが気がひける　側面の布は西蒙古染　/　時計が二つならんでゐるがどつちもとまつてゐる　/　蒙古人にハ装飾品でしかない　［阿巴嘎大王府］			ニュープリント	30.3×39.9
30-73	王府の厨房包の内部で［原文ママ］ハ下部に当る　/　非常に暗い　［阿巴嘎大王府］			ニュープリント	30.3×39.9
30-74	王府厨房包内部の上部　［阿巴嘎大王府］			ニュープリント	39.8×30.3
30-75	蒙古草原に入る　/　包がみえる　/　蒙古犬の目が不気味である			ニュープリント	30.3×39.8
30-76	羊をくゝりつけて乳をしぼる王府の下婢　［阿巴嘎大王府］			ニュープリント	30.3×39.9
30-77	［阿巴嘎大王府］			ニュープリント	30.3×39.9
30-78	［阿巴嘎大王府］			ニュープリント	30.3×39.9
31	内蒙古のスケッチ	1943年			
31-1	《内蒙古　貝子廟　僧房》			紙・鉛筆、水彩	39.5×54.5
31-2	《内蒙古　座る横向きの男性》			紙・鉛筆、水彩	54.5×39.5
31-3	《内蒙古　売買店の内部》			紙・鉛筆、水彩、パステル	26.0×35.0

no.	作品タイトル （絵本、書籍は『』）	制作年 （不明の場合は初版年）	著者、再話者、訳者 （出版社、初版年）	支持体・画材等	寸法 （縦× 横cm）
31-4	《内蒙古　アバガナール旗のジャサック》			紙・鉛筆、水彩	39.5×50.8
31-5	《内蒙古　売買店》			紙・鉛筆、水彩	20.3×33.0
31-6	《内蒙古の少年たち》			紙・鉛筆、水彩	54.5×39.0
32-1	《熱河　須弥福寿之廟の瑠璃塔》 （《瑠璃塔》スケッチ）	1940年		紙・鉛筆、水彩、パステル	各36.9×28.3
32-2	《熱河　大佛寺》	1940年		紙・鉛筆、パステル	28.6×36.7
32-3	《熱河　普陀宗乗之廟》	1940年		紙・鉛筆、パステル	各36.9×26.7
32-4	《露店の人々》	1940年頃		紙・鉛筆	37.0×28.8
32-5	《大同　雲崗石窟》	1943年		紙・鉛筆、水彩	51.5×39.5
33	《満洲の冬の街頭物売り》	1950年代		和紙・日本画絵具	170.0×170.0
34	《満洲人形巻物》	1947年		和紙・墨、日本画絵具	33.0×536.0
35	『白いりゅう 黒いりゅう』（「岩波おはなしの本」）	1964年	君島久子・訳、賈芝／孫 剣冰・編 （岩波書店、1964年）	和紙・墨、日本画絵具、コラージュ	26.3×38.0
36	『王さまと九人のきょうだい』	1969年	君島久子・訳（岩波書店、1969年）		
36-1				紙・水彩	35.5×44.8
36-2				紙・水彩	36.0×44.5
36-3				紙・水彩	36.3×44.7
37	『ほしになったりゅうのきば』（改訂版）	1976年	君島久子・再話、蕭 甘牛・採話 （福音館書店、1976年）		
37-1				和紙・墨、日本画絵具	32.0×69.5
37-2				和紙・墨、日本画絵具	31.0×37.0
37-3				和紙・墨、日本画絵具	31.0×37.6
37-4				和紙・墨、日本画絵具	70.0×32.0
37-5				和紙・墨、日本画絵具	32.2×37.6
37-6				和紙・墨、日本画絵具	32.0×37.5
37-7				和紙・墨、日本画絵具	32.0×37.2
37-8				和紙・墨、日本画絵具	31.5×37.8
37-9				和紙・墨、日本画絵具、銀泥	31.4×37.2
37-10				和紙・墨、日本画絵具	31.4×37.8
37-11				和紙・墨、日本画絵具	32.0×69.5
37-12	『ほしになったりゅうのきば』のダミー	1976年頃		——	35.5×44.5
38	『チワンのにしき』	1969年	君島久子・文（ポプラ社、1969年）		
38-1				和紙・日本画絵具	33.0×48.0
38-2				和紙・日本画絵具	32.8×47.7
38-3				和紙・日本画絵具	32.3×47.0
39	『あかりの花』	1985年	君島久子・再話、肖 甘牛・採話 （福音館書店、1985年）		
39-1				和紙・墨、日本画絵具	34.5×55.0
39-2				和紙・墨、日本画絵具	36.0×55.0
39-3				和紙・墨、日本画絵具	36.0×55.0
39-4				和紙・墨、日本画絵具	36.0×55.0
39-5				和紙・墨、日本画絵具、金泥	34.0×55.0
39-6				和紙・墨、日本画絵具	33.7×55.0
40	『いしになったかりゅうど』	1970年	大塚勇三・再話（福音館書店、1970年）	和紙・日本画絵具、金泥	37.2×52.2

no.	作品タイトル （絵本、書籍は『』）	制作年 （不明の場合は初版年）	著者、再話者、訳者 （出版社、初版年）	支持体・画材等	寸法 （縦× 横cm）
41	『つるにょうぼう』	1979年	矢川澄子・再話 （福音館書店、1979年）		
41-1	『つるにょうぼう』のダミー	1979年		紙・鉛筆、ガッシュ、コンテ	25.0×25.0
41-2	『つるにょうぼう』			和紙・墨、日本画絵具	34.0×55.0
41-3				和紙・墨、日本画絵具	30.8×53.3
41-4				和紙・墨、日本画絵具	30.7×53.3
41-5				和紙・墨、日本画絵具	30.4×52.8
41-6				和紙・墨、日本画絵具	30.4×53.4
41-7				和紙・墨、日本画絵具	30.0×53.5
41-8				和紙・墨、日本画絵具	30.5×53.1
41-9				和紙・墨、日本画絵具	30.3×52.8
41-10				和紙・墨、日本画絵具	29.9×53.0
41-11				和紙・墨、日本画絵具	31.0×52.8
41-12				和紙・墨、日本画絵具	31.0×53.0
42	『おおきな おおきな おいも』	1972年	市村久子・原案、赤羽末吉・作 （福音館書店、1972年）		
42-1				紙・インク、ガッシュ	27.5×39.5
42-2				紙・インク、ガッシュ	27.5×39.5
42-3				紙・インク、ガッシュ	27.3×39.5
42-4				紙・インク、ガッシュ	27.3×39.5
43	『おへそがえる・ごん① ぽんこつやまのぽんたとこんたの巻』	1986年	赤羽末吉・作 （福音館書店、1986年）		
43-1				和紙・墨、日本画絵具	21.9×51.0
43-2				和紙・墨、日本画絵具	22.2×51.0
43-3				和紙・墨、日本画絵具	22.9×50.0
43-4				和紙・墨、日本画絵具	23.2×49.4
43-5				和紙・墨、日本画絵具	22.8×49.5
43-6				和紙・墨、日本画絵具	22.8×50.2
43-7				和紙・墨、日本画絵具	22.8×50.0
43-8				和紙・墨、日本画絵具	22.8×50.0
44	『鬼のうで』	1976年	赤羽末吉・文（偕成社、1976年）		
44-1				和紙・墨、日本画絵具	25.0×52.5
44-2				和紙・墨、日本画絵具、金泥	25.0×52.8
44-3				和紙・墨、日本画絵具	25.3×27.8
44-4				和紙・墨、日本画絵具	25.4×52.5
45	『そら、にげろ』	1978年	赤羽末吉・作（偕成社、1978年）		
45-1				和紙・日本画絵具、金泥	24.0×55.0
45-2				和紙・日本画絵具	29.0×55.0
45-3				和紙・日本画絵具	29.0×55.0
45-4				和紙・日本画絵具、金泥	28.8×55.0
45-5				和紙・日本画絵具	29.0×55.0
46	『源平絵巻物語　第5巻　ひよどりごえ』（改訂版）	1971年 / 1979年	今西祐行・文（講談社、1971 年 *1979 年、偕成社より改訂版刊行）	和紙・日本画絵具、金泥	37.3×52.7
47	『源平絵巻物語　第6巻　屋島のたたかい』 （改訂版）	1971年/ 1979年	今西祐行・文（講談社、1971 年 *1979 年、偕成社より改訂版刊行）	和紙・日本画絵具、金泥	37.2×52.5

no.	作品タイトル （絵本、書籍は『』）	制作年 （不明の場合は初版年）	著者、再話者、訳者 （出版社、初版年）	支持体・画材等	寸法 （縦× 横cm）
48	『源平絵巻物語　第7 巻　壇の浦のたたかい』 （改訂版）	1971年/ 1979年	今西祐行・文（講談社、1971年 ＊1979年、偕成社より改訂版刊行）		
48-1			1971年	和紙・日本画絵具	37.7×52.5
48-2				和紙・日本画絵具、金泥	37.5×51.3
48-3				和紙・日本画絵具、銀箔	37.0×52.2
49	『日本の神話　第 1 巻　くにのはじまり』	1987年	舟崎克彦・文（トモ企画、1987年 ＊1995年、あかね書房より改訂版刊行）	和紙・墨、日本画絵具、金泥	31.5×67.0
50	『日本の神話　第 2 巻　あまのいわと』	1987年	舟崎克彦・文（トモ企画、1987年 ＊1995年、あかね書房より改訂版刊行）	和紙・墨、日本画絵具、金泥	31.2×64.8
51	『日本の神話　第3 巻　やまたのおろち』	1983年	舟崎克彦・文（トモ企画、1983年 ＊1995年、あかね書房より改訂版刊行）		
51-1				和紙・墨、日本画絵具	32.3×40.1
51-2				和紙・墨、日本画絵具	32.0×69.8
51-3				和紙・墨、日本画絵具	32.0×69.0
52	『日本の神話　第 4 巻　いなばのしろうさぎ』	1984年	舟崎克彦・文（トモ企画、1984年 ＊1995年、あかね書房より改訂版刊行）	和紙・墨、日本画絵具	32.3×75.0
53	『春のわかれ』	1979年	槇 佐知子・文（偕成社、1979年）		
53-1				和紙・墨、日本画絵具	28.2×41.8
53-2				和紙・墨、日本画絵具、金泥、銀泥	27.8×22.8
53-3				和紙・墨、日本画絵具	29.3×20.7
53-4				和紙・墨、日本画絵具	29.2×45.0
54	『水仙月の四日』	1969年	宮沢賢治・作（福音館書店、1969年 ＊1997年、創風社より改訂版刊行）		
54-1				和紙・墨、日本画絵具、ボールペン	26.5×42.1
54-2				和紙・日本画絵具、銀箔、ボールペン	28.0×44.7
54-3				和紙・日本画絵具、銀箔	28.0×44.3
54-4				和紙・墨、日本画絵具	26.5×42.8
54-5				和紙・日本画絵具、ボールペン	29.0×44.2
54-6				和紙・日本画絵具、ボールペン	28.0×44.5
55	『セロ弾きのゴーシュ』	1989年	宮沢賢治・作（偕成社、1989年）		
55-1				和紙・日本画絵具	38.0×56.8
55-2				和紙・日本画絵具	32.5×32.0
56	『ひかりの素足』	1990年	宮沢賢治・作（偕成社、1990年）		
56-1				和紙・墨、日本画絵具	41.0×48.5
56-2				和紙・墨、日本画絵具	41.0×48.5
56-3				和紙・日本画絵具、金泥	42.2×53.0

資料1	『雪國の民俗』柳田國男／三木茂・共著　1944 年、養徳社（旧甲鳥書林）、個人蔵
資料6	『満洲土俗人形』　満洲郷土色研究会・編　1940 年、満洲郷土色研究会　＊甲斐芳子・表紙絵
資料7	影絵芝居人形（遺品）
資料8	赤羽末吉『影絵芝居の話』（観光叢書第10 輯）　1940 年、満鉄鉄道総局営業局旅客課
資料10	『満洲月暦』　日文・松尾茂・作、満文・劉揖唐・訳　1944 年、満洲富山房　＊赤羽は2、6、9、12 月の挿絵を担当
資料13-2	『おへそがえる・ごん』覚書　1980 年代（推定）
資料13-3	『おへそがえる・ごん』構想　1980 年代（推定）
資料14	《鳥毛立女屏風》（樹下美人図）の印刷物　（遺品）
資料15	初山滋・表紙絵「コドモノクニ」　1932 年6 月号、東京社

2－6　静岡市美術館開館10周年記念・中日新聞東海本社40周年記念
ライデン国立古代博物館所蔵　古代エジプト展

会期：12月19日（土）－3月31日（水）

概要：世界で最も古い国立博物館の一つ、オランダ・ライデン国立古代博物館は、ヨーロッパの5大エジプト・コレクションで知られている。本展ではその質・量ともに優れた古代エジプト・コレクションより、人や動物のミイラや棺、石碑、貴重なパピルスなど約250点を厳選し、3000年にわたり繁栄した古代エジプトの世界を展観した。
また同館の長年の調査研究で明らかになった古代エジプト人の生活や社会、死生観などを紹介した。さらに、本展に出品されるミイラをCTスキャンし、その成果をデジタル画像処理した映像で世界初公開するなど、最新の科学技術による、当時の人々の医学的な知識やミイラ作りの過程、色やかたちに込められた美意識なども解き明かした。

巡回先：愛知県美術館、Bunkamuraザ・ミュージアム、仙台市博物館、山口県立美術館、兵庫県立美術館、福岡市博物館、北海道立近代美術館

主催：静岡市、静岡市美術館 指定管理者（公財）静岡市文化振興財団、テレビ静岡、中日新聞東海本社、ライデン国立古代博物館

後援：外務省、オランダ王国大使館、静岡市教育委員会、静岡県教育委員会

協賛：大日本印刷、静岡銀行

協力：ヤマトグローバルロジスティクスジャパン

観覧料：一般　1,500円（1,300円）
大高生・70才以上　1,000円（800円）
※（　）内は前売料金
※中学生以下無料
※障がい者手帳等をご持参の方および介助者原則1名は無料

観覧者数：71,725人（有料55,717人、無料16,008人、有料率77.68%）

出品点数：255点（参考出品16点を含む）

制作物：
1）チラシ
＜仕様＞紙：ユーライト 110kg
サイズ・加工・数量：A3二つ折り（仕上A4）75,000部
2）ポスター
＜仕様＞紙：ユーライト 135kg
サイズ・数量：B1 60部、B2 2,200部、B3 2,750部（うち400部はJR帯つき）

チラシ表面

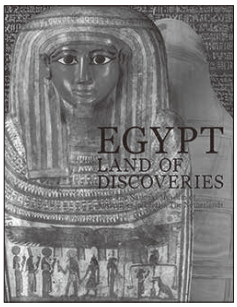
チラシ裏面

チラシ中面

B1・B2ポスター

B3ポスター

カタログ：
＜仕様＞225×290mm、208頁



カタログ表紙

カラー図版278点
参考図版（カラー94点、モノクロ51点）

中野智章「ライデン国立古代博物館所蔵 古代エジプト展の位置づけと見どころ」
ララ・ヴァイス、ダニエル・ソーリマン、ペトラ・ホーゲンブーム「ライデン国立古代博物館による調査と発掘」

ライデン国立古代博物館「コラム　ライデン国立古代博物館によるサッカラ遺跡の発掘」
中野智章「コラム　ライデン国立古代博物館のシャブティ・コレクション―ハンス・シュナイダー氏による研究」
ライデン国立古代博物館「コラム　ライデン国立古代博物館のミイラ研究と今回のスキャン結果」

ライデン国立古代博物館「ヴァチカン・プロジェクトとライデンの木棺研究」
中野智章「古代エジプト美術をよりよく理解するために」

古代エジプト史年表／古代エジプト関連地図／エジプトの神々／List of Works

監修：中野智章
編集：愛知県美術館、静岡市美術館、Bunkamuraザ・ミュージアム、仙台市博物館、山口県立美術館、兵庫県立美術館、東京新聞、中日新聞社、フジテレビジョン
執筆：中野智章、ララ・ヴァイス、ダニエル・ソーリマン、ペトラ・ホーゲンブーム、ハネケ・キク
翻訳：中野智章
制作：リーヴル
発行：東京新聞、中日新聞社、フジテレビジョン
発行年：2020年

普及ツール：
1)音声ガイド

2)本展オリジナル型抜DMの作成・配布
本展オリジナル型抜DMを制作し、市内小中学校へ配布した。
制作物：
◆型抜DM
＜仕様＞紙：ユーライト 135kg
サイズ・加工・数量：140×150mm二つ折り（仕上70×150mm）60,000部

型抜DM表面

型抜DM中面

型抜DM裏面

3)グッズ付き特別前売券の販売
「リラックマ」とコラボしたグッズ付き特別前売券を200個限定で販売した。

4)棺の等身大パネルを設置
JR浜松駅と沼津駅に展覧会特設コーナーを設け、棺の等身大パネルを設置した。

5)プレミアムフライデーでの粗品プレゼントの実施
会期中のプレミアムフライデーにあわせ、15時以降の入場者に粗品を進呈した。
実施日：①1月29日（金）　②2月26日（金）
利用者数：①69件　②60件

各種連携：
1)近隣店舗との連携
葵タワー内および近隣店舗で、展覧会入場者へ優待サービスの実施、本展に合わせた特別メニューの提供を行った。
制作物：
◆チラシ
＜仕様＞紙：マットコート 70kg
サイズ・数量：A4 4,000部

協賛チラシ表面

協賛チラシ裏面

主要広報記録：

1)テレビ・ラジオ

・「圧巻の立体展示 古代エジプト展開幕」テレビ静岡『ＦＮＮ　Ｌｉｖｅ Ｎｅｗｓ イット！』、12月19日放送。
・「古代エジプトの謎 最新技術で迫る」NHK静岡放送局『ニュースしずおか645』、12月19日放送。
・「「古代エジプト展」来場者が1万人突破」テレビ静岡『FNN Live News イット！』、1月8日放送。
・「展覧会紹介」テレビ静岡『ただいまテレビ』、1月11日放送。
・「展覧会紹介」FM-Hi!『ひるラジ！情報館』、1月28日放送。
・「展覧会紹介」FM-Hi!『cha!cha!サタデー　静岡ドライブインフォメーション』、2月6日放送。
・「来場者3万人を突破「古代エジプト展」」テレビ静岡『県内ニュース』、2月18日放送。

2)新聞

・「まるごと大図解 知恵の宝庫 古代エジプト」『中日こどもWEEKLY』、9月12日。
・「エジプト展きょう開幕 愛知県美術館」『中日新聞』静岡版、9月19日。
・「古代エジプト ミイラの謎に迫る」『中日新聞』静岡版、10月4日。
・谷口大河「時空の旅「すごい」」『中日新聞』静岡版、10月23日。
・「永遠の命　色あせぬ祈り」『中日新聞』静岡版（夕刊）、10月29日。
・糸井絢子「古代エジプトの世界へ　浜松駅でPR」『中日新聞』静岡版、12月2日。
・板倉陽佑「ミイラの棺　スタンバイ」『中日新聞』静岡版、12月16日。
・「神秘への時間旅行　静岡美術館19日開幕」『中日新聞』静岡版、12月17日。
・広田和也「ミイラに敬意　神式祈り」『中日新聞』静岡版、12月19日。
・板倉陽佑「神秘的　木棺ずらり」『中日新聞』静岡版（夕刊）、12月19日。
・板倉陽佑「大いなる眠り　思いはせ」『中日新聞』、12月20日。
・板倉陽佑「多彩な装飾の棺　感激」『中日新聞』静岡版、12月24日。
・特集記事「ライデン国立古代博物館所蔵 古代エジプト展」『中日新聞』静岡版、1月1日。
・きょうの紙面「エジプトに魅せられて」『中日新聞』静岡版、1月9日。
・五十幡将之「「ミイラ棺、見て感じて」エジプト展来館1万人」『中日新聞』静岡版、1月9日。
・近藤晶「「ミイラの真実　上」発見の歴史感じて」『中日新聞』静岡版、1月19日。
・近藤晶「「ミイラの真実　中」透視で明かす体の謎」『中日新聞』静岡版、1月20日。
・近藤晶「「ミイラの真実　下」厳重管理遺産後世に」『中日新聞』静岡版、1月21日。
・近藤晶「「ミイラの真実　番外編」シーボルトが結ぶ絆」『中日新聞』静岡版、1月23日。
・大石沙織「「古代エジプト展　見どころ紹介１」蓋石に高価な花崗岩」『中日新聞』静岡版、2月2日。
・大石沙織「「古代エジプト展　見どころ紹介2」来世への旅を手引き」『中日新聞』静岡版、2月3日。
・大石沙織「「古代エジプト展　見どころ紹介3」10点を立てて細部鑑賞を」『中日新聞』静岡版、2月4日。
・大石沙織「「古代エジプト展　見どころ紹介4」ミイラとCTスキャン映像　傷つけずに謎を解く」『中日新聞』静岡版、2月6日。
・戸田知敬「最新技術でミイラに迫る」『朝日新聞』静岡版、2月6日。
・板倉陽佑「太古へ冒険　永遠を発見」『中日新聞』静岡版、2月10日。
・五十幡将之「インシャーラ」『中日新聞』静岡版、2月13日。
・読者投稿「図録で古代エジプトへ」『中日新聞』静岡版、2月13日。
・奥田哲平「「ミラクルライフ　古代エジプトの暮らし1」ビール醸造　大発明」『中日新聞』静岡版、2021.02月18日。
・板倉陽佑「エジプト展　来館3万人」『中日新聞』静岡版、2月19
・奥田哲平「「ミラクルライフ　古代エジプトの暮らし2」美 青色は復活の願い」『中日新聞』静岡版、2月20日。
・奥田哲平「「ミラクルライフ　古代エジプトの暮らし3」娯楽　西洋音楽の原型」『中日新聞』静岡版、2月21日。
・奥田哲平「「ミラクルライフ　古代エジプトの暮らし4」葬送　来世永遠の生を」『中日新聞』静岡版、2月22日。

3)雑誌他

・「展覧会紹介」『[完全ガイドシリーズ263]美術展完全ガイド2020』。
・「展覧会紹介」『日経おとなのOFF』、1月号。
・「古代エジプトとその発見の歴史を科学の目で見直す」『時空旅人』、3月号増刊。
・「ヨーロッパ5大エジプト・コレクションから来日」『美術館＆博物館さんぽ[東海版]週末おでかけミュージアム』。
・「科学が解き明かす古代エジプトの神秘」『ぴあMOOK　すごい美術展2020』。
・「展覧会紹介」『にんぎょう日本』、11月号。
・「展覧会紹介」『和樂』、12・1月号。
・「展覧会紹介」『Hanako』、1月号。
・「棺の立体展示は必見！エジプト文明の秘密に迫ろう」『ぴあMOOK中部　冬ぴあ　東海版』。
・「展覧会紹介」『東三河＆西遠・西三河・南信応援誌　そう』、2021冬号。
・「展覧会紹介」『美術の窓』、12月号。
・「展覧会紹介」『小さな蕾』、1月号。
・「展覧会紹介」『pumpkin』、1月号。
・「展覧会紹介」『和樂』、2・3月号。
・「展覧会紹介」『週刊新潮』、1月14日迎春増号。
・「展覧会紹介」『美術の窓』、1月号。
・「解き明かせ！古代エジプトの謎」『ぴあMOOK　美術展ぴあ2021』。
・「棺、ミイラ、美しい副葬品の数々―世界に誇るエジプトコレクション」『時空旅人』、3月号増刊。
・「展覧会紹介」『和樂』、4・5月号。
・「エジプト学の歴史をひもとく」『目の眼』、4月号。
・「古代エジプト文明の最新知見と神々のものがたり」『芸術新潮』、4月号。
・「古代エジプト展　ライデン国立古代博物館の所蔵品」『富士ニュース』、第22368号。
・「展覧会紹介」『すろ～かる』、12月号。
・「展覧会紹介」『すろ～かる』、1月号。
・「展覧会紹介」『すろ～かる』、2月号。
・「展覧会紹介」『すろ～かる』、3月号。

4)ウェブサイト等（媒体名のみ記載）

「アートアジェンダ」、「パルシェ公式サイト、公式ラインアカウント」、「OBIKAKE」、「ウェブ版「美術手帖」」、「静清信用金庫LINE配信」、「るるぶ＆more.」

1月8日　来場者1万人達成

2月18日　来場者3万人達成

関連事業：

1)講演会「棺とミイラから読み解く古代エジプト文明」

概要：緊急事態宣言発出により講師の来館が難しく、遠隔講義方式で実施した。前半は古代エジプト文明がどのような風土で繁栄したのか、ヨーロッパでの古代エジプトの受容、本展の構成、後半は棺の色や形に込められた意味、古代エジプトの死生観や宗教観、そして、ミイラのCTスキャンで判明したことなど最先端の研究成果を作品画像の部分図や映像を交えて解説した。講師の明瞭な語り口は非常に聞きやすく、内容を含め大変好評であった。

日時：1月30日(土)14:00－15:30

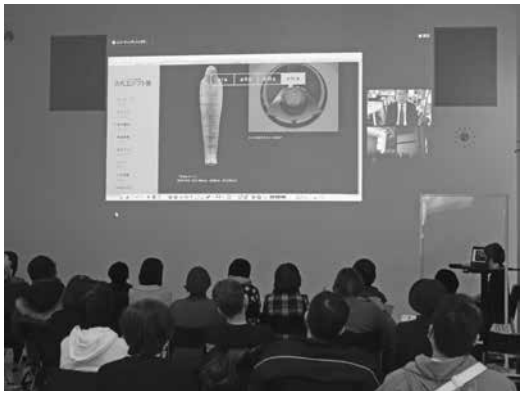
会場：多目的室　　**参加者数**：40人

講師：中野智章氏(本展監修者、中部大学教授)

主要広報記録：

◆新聞

・板倉陽佑「「木棺の色に意味」エジプト展を解説」『中日新聞』、1月31日。



2)古代エジプト展を”100倍”楽しむ!オンラインミュージアム

概要：テレビ静岡(共催)の全面的な協力で実施した当館初のオンライン関連事業。監修者の中野智章氏が、テレビ静岡アナウンサーとともに、本展の魅力をVTRやクイズを交え紹介するもので、チャット機能により参加者の質問も受け付けた。

日時：2月26日(金)19:30－20:40

参加者数：115人

講師：中野智章氏(本展監修者、中部大学教授)
室伏真璃氏(テレビ静岡アナウンサー)

3)静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業

「サイエンスカフェ「古代の人々の顔を蘇らせる！復顔師の仕事」」

※72頁を参照。

出品作品リスト

・ボン大学からの参考資料を除き、すべてライデン国立古代博物館の所蔵。
・欠番(No.24、37、41、42、50、149-1、149-2、151、202、204、213、215)は、所蔵館の都合により未出品。

第1章 エジプトを探検する　EXPLORING EGYPT

作品No.	作品名	年代	出土地／制作地	材質	法量
A. ヨーロッパ人によるエジプトの探検					EUROPEAN EXPLORATION OF EGYPT
1	アブシールのピラミッド複合体模型	2001年	オランダ	厚紙、木	高さ13cm、幅93cm、奥行93cm
2	ギザの大スフィンクス (『コルネリス・ドゥ・ブラウンの旅』より)	1698年			縦29cm、横39.5cm
3	ルクソール神殿(『エジプト誌』第3巻より)	1809–22年			縦67cm、横51cm
4	ヒエログリフの表(『エジプト誌』第5巻より)	1809–22年			縦51cm、横67cm
5	ロゼッタ・ストーン(レプリカ)	1972年	ロンドン	合成樹脂	高さ95.5cm、幅76.5cm、厚さ6cm
6	敵を討つラメセス2世 (『エジプトとヌビアの記念物』第1巻より)	1832–34年		リトグラフ	縦54cm、横75cm
7	外国から連れてこられた動物 (『エジプトとヌビアの記念物』第2巻より)	1832–34年		リトグラフ	縦54cm、横75cm
8	テーベの貴族墓に描かれた文様 (『エジプトとヌビアの記念物』第2巻より)	1832–34年		リトグラフ	縦54cm、横75cm
9	ツタンカーメン王の倚像	新王国時代、第18王朝、前1330年頃	テーベ	花崗閃緑岩	高さ67cm、幅33cm、奥行54cm
B. ライデン国立古代博物館によるエジプトの発掘調査					EXCAVATION IN EGYPT BY THE NATIONAL MUSEUM OF ANTIQUITIES IN LEIDEN
10	円筒形壺	初期王朝時代、第1王朝(前2900–2730年頃)	アブー・ラワシュ	方解石(アラバスター)	高さ44cm、直径20cm
11	壺	初期王朝時代、第1王朝(前2900–2730年頃)	アブー・ラワシュ	方解石(アラバスター)	高さ8cm、直径12.8cm
12	皿	初期王朝時代、第1王朝(前2900–2730年頃)	アブー・ラワシュ	片岩	高さ3.8cm、直径29.3cm
13	ミニチュア円筒形壺	古王国時代、第4王朝(前2543–2436年頃)	アブー・ラワシュ	方解石(アラバスター)	高さ6.4cm、直径3.9cm
14	椀	後期メロエ時代(2–4世紀)	ショカン	土器	高さ8.6cm、直径16.7cm
15	瓶	後期メロエ時代(2–4世紀)	ショカン	土器	高さ36.5cm、直径29cm
16	オイル・ランプの断片	後期メロエ時代(2–4世紀)	ショカン	土器	高さ1.9cm、幅6.7cm、奥行7cm
17	アブダッラー・ニルキ教会の模型	1982–83年	オランダ	木、ポリスチレン	高さ18cm、幅97cm、奥行86cm
18	高台付椀	古ヌビア時代(8–15世紀頃)	アブダッラー・ニルキ教会	土器	高さ12cm、直径25cm
19	コプト十字架の断片	古ヌビア時代(8–15世紀頃)	アブダッラー・ニルキ教会	青銅	高さ3.4cm、幅6.3cm、厚さ1cm
20	マヤとメリトの墓の模型	1997年	オランダ	厚紙、木	高さ37cm、幅33.3cm、奥行63.3cm
21	ホルミンの供養像	新王国時代、第19王朝、セティ1世から ラメセス2世の治世(前1290–1213年頃)	サッカラ	石灰岩	高さ125cm、幅53cm、奥行68cm
22	アメンヘテプ・フイの方形座像	新王国時代、第19王朝、ラメセス2世の治世 (前1279–1213年頃)	サッカラ	石灰岩	高さ54.5cm、幅48cm、奥行27.5cm
23	イウイウの供養像	新王国時代、第18王朝(前1539–1292年頃)	サッカラ	方解石	高さ48cm、幅22.9cm、奥行28.6cm
25	アメンヘテプ・フイのピラミディオン	新王国時代、第18王朝、アメンヘテプ3世の治世 (前1390–1353年頃)	サッカラ	花崗岩	高さ65cm、幅79cm、奥行79cm
26	王の書記パウティのピラミディオン	新王国時代、第19王朝、セティ1世の治世 (前1290–1279年頃)	サッカラ	石灰岩	高さ47cm、幅47cm、奥行47cm
27	パカルの石碑	新王国時代、第18王朝、ツタンカーメンから アイの治世(前1332–1320年頃)	サッカラ	石灰岩	高さ68cm、幅47cm、厚さ6.6cm
28	パゲルゲルのナオス形石碑	新王国時代、第19王朝(前1292–1191年頃)	サッカラ	石灰岩	高さ58cm、幅30cm、厚さ12cm
29	パゲルゲルのナオス形石碑	新王国時代、第19王朝(前1292–1191年頃)	サッカラ	石灰岩	高さ55cm、幅27.9cm、厚さ11cm
30	パゲルゲルのナオス形石碑	新王国時代、第19王朝(前1292–1191年頃)	サッカラ	石灰岩	高さ53cm、幅29cm、厚さ9cm
31	パゲルゲルのナオス形石碑	新王国時代、第19王朝(前1292–1191年頃)	サッカラ	石灰岩	高さ50cm、幅26cm、厚さ9cm
32	サッカラの将軍ホルエムヘブの墓から出土した レリーフ(レプリカ)	20世紀	オランダ	石膏、鋳鉄	高さ80cm、幅108cm、厚さ6.5cm
33	将軍ホルエムヘブの供養像	新王国時代、第18王朝、ツタンカーメンの治世 (前1332–1324年頃)	サッカラ	石灰岩	高さ54cm、幅28cm、奥行40cm

第2章 エジプトを発見する　DISCOVERING EGYPT

A. 古代エジプト史の概要					BRIEF TIMELINE OF EGYPTIAN HISTORY
34	ワニの描かれた椀	先王朝時代、ナカーダI 期(前3750–3650年頃)	エジプト	彩色土器	高さ6cm、直径18.5cm

作品No.	作品名	年代	出土地／制作地	材質	法量
35	船の描かれた壺	先王朝時代、ナカーダII 期（前3500–3300年頃）	エジプト	彩色土器	高さ14.5cm、直径11.5cm
36	ペルイブセン王の封泥が記された土器の栓	初期王朝時代、第2王朝（前2660–2650年頃）	アビドス	泥	高さ18.5cm、直径12cm
38	名前不詳の供養碑	第1中間期、第11王朝、前2000年頃	ゲベレイン（?）	石灰岩	高さ40cm、幅23cm、厚さ6.6cm
39	クウと家族の供養碑	中王国時代、第12王朝、アメンエムハト2世の治世（前1878–1843年頃）	アビドス	石灰岩	高さ38cm、幅50cm、厚さ6cm
40	カーメスとセネブセンの石碑	第2中間期、第17王朝（前1540年頃）（?）	リザイカート	石灰岩	高さ49cm、幅31.5cm、厚さ7.5cm
43	アメンエムヘブの碑	新王国時代、第19王朝（前1292–1191年頃）	エジプト	ファイアンス	高さ26.5cm、幅25cm、厚さ4cm
44	フルート	新王国時代（前1539–1077年頃）	エジプト	葦	長さ32cm、直径0.7cm
45	パマアエフの碑	第3中間期、第22王朝（前943–746年頃）	テーベ	彩色された木	高さ28cm、幅23.5cm、厚さ3.1cm
46	タネトアメンのプタハ・ソカル・オシリス像	第3中間期、第21王朝（前1076–944年頃）	テーベ	木	高さ59cm、幅14.5cm、奥行34cm
47	呪術テキストが記された彫像の断片	後期王朝時代、第26王朝（前664–525年頃）	エジプト	玄武岩	高さ12cm、幅15cm、奥行32cm
48	ホルの碑	後期王朝時代、第26王朝（前664–525年頃）	テーベ	木	高さ43cm、幅29cm、厚さ3.3cm
49	イシスの像	グレコ・ローマン時代、ローマ時代	エジプト	花崗閃緑岩	高さ103.5cm、幅25.5cm、奥行15cm
B. 古代エジプトの宗教					EGYPTIAN RELIGION
51	神官の小像	後期王朝時代もしくはプトレマイオス朝（前722–30年頃）	エジプト	青銅	高さ5.5cm、幅2cm、奥行2.6cm
52	プタハイルディスが奉献した神官の小像	後期王朝時代もしくはプトレマイオス朝（前722–30年頃）	エジプト	青銅	高さ7.1cm、幅2.7cm、奥行2.9cm
53	アメン神に捧げられたカーエムテルの像	新王国時代、第19王朝（前1292–1191年頃）	ディール・エル＝メディーナ	木	高さ57.5cm、幅14.5cm、奥行16.5cm
54	シチュラ	後期王朝時代（前722–332年頃）	エジプト	青銅	高さ13cm、直径4.7cm
55	シストラム	グレコ・ローマン時代、前332年–後1世紀頃	エジプト	青銅	高さ28.5cm、幅14.8cm、厚さ4.9cm
56	シストラムの断片	後期王朝時代（前722–332年頃）	エジプト	青銅	高さ7.3cm、幅5.3cm、厚さ1.3cm
57	香炉の部分	新王国時代、第18王朝末から第19王朝（前1300–1191年頃）	エジプト	青銅	高さ17cm、幅4.5cm、厚さ2cm
58	神の標章の装飾	後期王朝時代、第26王朝（前664–525年頃）	エジプト	青銅	高さ33.5cm、幅7.5cm、奥行25.5cm
59	イシスとオシリスが彫られた石碑	新王国時代、第18王朝から第19王朝（前1300年頃）	アビドス	石灰岩	高さ49cm、幅55cm、奥行10cm
60	膝にホルス神を載せたイシス女神の像	後期王朝時代（前722–332年頃）	エジプト	青銅	高さ19.8cm、幅4.7cm、奥行7.8cm
61	ハルポクラテスの立像	後期王朝時代（前722–332年頃）	エジプト	青銅	高さ19.2cm、幅5.6cm、奥行9.4cm
62	二重冠をかぶるハヤブサ	後期王朝時代（前722–332年頃）	エジプト	青銅	高さ7.5cm、幅4.5cm、奥行15.9cm
63	パディコンスの『死者の書』	第3中間期、第21王朝（前1076–944年頃）	エジプト	パピルス	縦24.5cm、横61.2cm
64	台座にのったプタハ神の像	後期王朝時代（前722–332年頃）	エジプト	青銅	高さ15.5cm、幅4.3cm、奥行11.5cm
65	トト神の像	後期王朝時代（前722–332年頃）	エジプト	青銅	高さ4.8cm、幅1.4cm、奥行2cm
66	角の間に太陽円盤と羽のついた冠をかぶるハトホル女神（?）の像	後期王朝時代（前722–332年頃）	エジプト	青銅	高さ16.5cm、幅3.5cm、奥行5.5cm
67	ムウト神の像	後期王朝時代（前722–332年頃）	エジプト	青銅	高さ12.5cm、幅2.4cm、奥行2.5cm
68	モンチュウ神の像	後期王朝時代（前722–332年頃）	エジプト	青銅	高さ14.8cm、幅5cm、奥行6.9cm
69	月の神の像	後期王朝時代（前722–332年頃）	エジプト	青銅	高さ15.3cm、幅3.5cm、奥行6.5cm
70	ネフェルテム神の像	後期王朝時代（前722–332年頃）	エジプト	青銅	高さ36.5cm、幅7.4cm、奥行11.3cm
71	蛇の頭を持つ神像	後期王朝時代（前722–332年頃）	エジプト	青銅	高さ20.6cm、幅3.4cm、奥行7.6cm
72	プトレマイオス王の立像	グレコ・ローマン時代、プトレマイオス朝、前3世紀	エジプト	青銅	高さ24.1cm、幅6.3cm、奥行10cm
73	バステト女神の像	後期王朝時代（前722–332年頃）	エジプト	青銅	高さ11.4cm、幅3.7cm、奥行2.5cm
74	台座にのったイクニューモン	後期王朝時代（前722–332年頃）	エジプト	青銅	高さ2.6cm、幅2.2cm、奥行13cm
75	猫の像	後期王朝時代（前722–332年頃）	エジプト	青銅	高さ40.5cm、幅10cm、奥行22.5cm
76	イクニューモン	後期王朝時代（前722–332年頃）	エジプト	青銅	高さ26.8cm、幅6.8cm、奥行9.4cm
77	コブラ	後期王朝時代（前722–332年頃）	エジプト	青銅	高さ8.5cm、幅3cm、奥行3.5cm

作品No.	作品名	年代	出土地／制作地	材質	法量
78	ヒヒの像	新王国時代、第18王朝（前1539–1292年頃）	エジプト	石灰岩	高さ9cm、幅2cm、奥行5.5cm
79	オクシリンコス魚	新王国時代後期、前1170–1150年頃	エジプト	石鹸石	高さ5.7cm、幅3.8cm、奥行12.5cm
80	コウモリ	後期王朝時代（前722–332年頃）	エジプト	青銅	高さ23cm、幅6.7cm、奥行5.9cm
81	サソリ	後期王朝時代（前722–332年頃）	エジプト	青銅	高さ1.8cm、幅4.9cm、奥行6cm
82	ハリネズミ	新王国時代（前1539–1077年頃）	エジプト	ファイアンス	高さ4.4cm、幅2.9cm、奥行5.5cm
83	アトゥム神の像	後期王朝時代（前722–332年頃）	エジプト	青銅	高さ10.9cm、幅3.2cm、奥行19cm

第3章 エジプトを解読する　UNVEILING EGYPT

A. 死後の世界　LIFE AFTER DEATH

84	ネスナクトの『死者の書』	グレコ・ローマン時代、プトレマイオス朝（前304–30年頃）	エジプト	パピルス	縦30cm、横45cm
85	ネスナクトの『死者の書』	グレコ・ローマン時代、プトレマイオス朝（前304–30年頃）	エジプト	パピルス	縦30.5cm、横55.7cm
86	ネスナクトの『死者の書』	グレコ・ローマン時代、プトレマイオス朝（前304–30年頃）	エジプト	パピルス	縦29.8cm、横48.3cm
87	ネスナクトの『死者の書』	グレコ・ローマン時代、プトレマイオス朝（前304–30年頃）	エジプト	パピルス	縦27.5cm、横48cm
88	アセトウェレトの『死者の書』	後期王朝時代、第30王朝（前380–343年頃）	テーベ	パピルス	縦38cm、横30.5cm
89	心臓スカラベ	後期王朝時代、第26王朝（前664–525年頃）	エジプト	灰色/ 緑色の石	高さ1.1cm、幅3.9cm、奥行5.1cm
90	心臓スカラベ	年代不詳	エジプト	緑石	高さ2.1cm、幅4.6cm、奥行6.6cm
91	バァ	後期王朝時代（前722–332年頃）	エジプト	木	高さ13.1cm、幅4cm、奥行8.4cm
92	バァ	後期王朝時代（前722–332年頃）	エジプト	木	高さ9cm、幅2.5cm、奥行2.7cm
93	バァのついたタァとチャィのシャブティ	新王国時代、第19王朝（前1292–1191年頃）	サッカラ（?）	片岩	高さ28.5cm、幅9.3cm、奥行6cm
94	供物卓	中王国時代（前1980–1760年頃）	アビドス	石灰岩	高さ6cm、幅49cm、奥行50cm
95	セベクテンの石碑	中王国時代（前1980–1760年頃）	アビドス	赤色砂岩	高さ80cm、幅45cm、奥行3.5cm
96	黄金の顔を持つバヘルペンエスの像	後期王朝時代（前722–332年頃）	エジプト	石灰岩	高さ29cm、幅10.8cm、奥行14.5cm
97	睡蓮の花を持つ女性像	グレコ・ローマン時代、プトレマイオス朝（前304–30年頃）	エジプト	石灰岩、金箔	高さ36.5cm、幅8.7cm、奥行13cm
98	家族の群像	新王国時代、第18王朝、アメンヘテプ2世の治世（前1425–1400年頃）	エジプト	砂岩	高さ45cm、幅47cm、奥行31cm
99	イルナクトアメンとワウィの像	新王国時代、第19王朝（前1292–1191年頃）	エジプト	砂岩	高さ45cm、幅24.7cm、奥行12.9cm
100	黄金の耳飾り	新王国時代、第18王朝（前1539–1292年頃）以降	エジプト	金	直径2.1cm
101	黄金の耳飾り	新王国時代、第18王朝（前1539–1292年頃）以降	エジプト	金	直径2.3cm
102	黄金の耳飾り	新王国時代、第18王朝（前1539–1292年頃）以降	エジプト	金	直径1.9cm
103	黄金の耳飾り	新王国時代、第18王朝（前1539–1292年頃）以降	エジプト	金	幅0.7cm
104	雄牛の耳飾り	グレコ・ローマン時代、プトレマイオス朝（前304–30年頃）	エジプト	金、ガーネット、エメラルド	幅2.1cm
105	護符とビーズの首飾り	新王国時代（前1539–1077年頃）	エジプト	金、トルコ石、紅玉髄、瑪瑙	長さ36cm
106	ホルスの眼が付いた首飾り	新王国時代（前1539–1077年頃）	エジプト	金、紅玉髄、ガラス	長さ50.5cm
107	護符のついた首飾り	新王国時代（前1539–1077年頃）	エジプト	ファイアンス	長さ50.2cm
108	羊頭の付いた首飾り	新王国時代（前1539–1077年頃）	エジプト	金、紅玉髄、施釉凍石、アメジスト、茶色の不透明な石	長さ53.5cm
109	多くのスカラベが付いた首飾り	年代不詳	エジプト	ファイアンス、紅玉髄、瑪瑙、ガラス、金	長さ40.6cm
110	さまざまな色のガラス製ビーズが付いた首飾り	年代不詳	エジプト	ファイアンス、紅玉髄、ラピスラズリ、金、ガラス	長さ29cm

作品No.	作品名	年代	出土地／制作地	材質	法量
111	大型金製ビーズのついた首飾り	新王国時代（前1539–1077年頃）	エジプト	金、ガラス、ファイアンス	長さ37cm
112	花形のペンダントが付いた首飾り	新王国時代（前1539–1077年頃）	エジプト	金、ファイアンス	長さ23cm
113	胸飾り	新王国時代（前1539–1077年頃）	エジプト	木、木に金彩、亜麻布、ガラス	高さ10cm、幅14.3cm、厚さ2cm
114	醸造所の模型	中王国時代（前1980–1760年頃）	エジプト	木	高さ25cm、幅33.5cm、奥行23cm
115	船の模型	中王国時代、第11王朝（前2009–1940年頃）	エジプト	木	高さ47cm、幅17cm、奥行87cm
116	楕円形のバスケット	新王国時代、第18王朝（前1539–1292年頃）	エジプト	葦	高さ14.7cm、幅21cm、奥行10cm
117	杯	新王国時代（前1539–1077年頃）	エジプト	ファイアンス	高さ14.5cm、直径7.5cm
118	隼のついた鏡	新王国時代（前1539–1077年頃）	エジプト	青銅	高さ22cm、幅10.8cm、厚さ1.8cm
119	野生ヤギの把手付アンフォラ	新王国時代（前1539–1077年頃）	エジプト	方解石	高さ33.5cm、幅28.2cm、直径19.9cm
120	シチュラ	新王国時代（前1539–1077年頃）	エジプト	方解石	高さ21cm、直径12cm
121	タッツア	新王国時代、第18王朝から第19王朝、アメンヘテプ2世からラメセス2世の治世（前1425–1213 年頃）	エジプト	方解石	高さ5.5cm、直径9cm
122	双把手付アンフォラ	新王国時代（前1539–1077年頃）	エジプト	方解石	高さ18cm、幅15cm、直径14cm
123	双把手付多色ガラス壺	新王国時代、第18王朝、アメンヘテプ3世からアクエンアテンの治世（前1390–1336年頃）	エジプト	ガラス	高さ12cm、幅8.5cm、直径8cm
124	ヤシ柱形ガラス製瓶	後期王朝時代（前722–332年頃）	エジプト	ガラス	高さ9.5cm、直径3.8cm
125	バァキィのセネト・ゲーム箱	新王国時代、第18王朝から第19王朝（前1539–1191年頃）	エジプト	木	高さ9cm、幅40.2cm、奥行12.2cm
126	少女の形をした把手付軟膏スプーン	新王国時代（前1539–1077年頃）	エジプト	木	高さ5cm、幅6.2cm、奥行24.5cm
127	ハトホルの把手が付いた鏡	新王国時代（前1539–1077年頃）	テーベ（?）	青銅	高さ27.2cm、幅14cm、厚さ3cm
128	木製の枕	新王国時代、第18王朝（前1539–1292年頃）	エジプト	木	高さ16.3cm、幅29cm、奥行8cm
129	オシリスの姿をしたホルのパピルス容器	後期王朝時代、第26王朝（前664–525年頃）	テーベ	木、亜麻布、穀物	高さ40cm、幅8.7cm、奥行24.2cm
130	イレトホルのプタハ・ソカル・オシリス像	グレコ・ローマン時代、プトレマイオス朝（前304–30年頃）	エジプト	木、金箔	高さ60cm、幅11cm、奥行35cm
131	ネヒのシャブティ	第2中間期（前1759–1539年頃）	アビドス（?）	石灰岩	高さ24cm、幅8cm、奥行8.7cm
132	プサムテクのシャブティ	後期王朝時代（前722–332年頃）	エジプト	ファイアンス	高さ18.6cm、幅4.8cm、奥行3.5cm
133	ホルウジャのシャブティ	後期王朝時代、第30王朝（前380–343年頃）	ハワラ	ファイアンス	高さ27.5cm、幅7.2cm、奥行4.5cm
134	タァのシャブティ	新王国時代、第19王朝（前1292–1191年頃）	テーベ	石灰岩	高さ19.5cm、幅6cm、奥行4.8cm
135	ビアトのシャブティ	新王国時代、第18王朝、アクエンアテンの治世（前1353–1336年頃）	エジプト	石灰岩	高さ26.7cm、幅8.6cm、奥行6.2cm
136	イピィの棺の模型	新王国時代、第18王朝から第19王朝（前1539–1191年頃）	テーベ（?）	木	（蓋）高さ21cm、幅7.3cm、奥行3.8cm （身）高さ21cm、幅7.3cm、奥行3.3cm
137	イピィのシャブティ	新王国時代、第18王朝から第19王朝（前1539–1191年頃）	テーベ（?）	木	高さ18cm、幅5.5cm、奥行3.5cm
138	メリトアメンのシャブティ	第3中間期、第21王朝（前1076–944年頃）	ディール・エル＝バハリ	ファイアンス	高さ12.9cm、幅3.8cm、奥行3.8cm
139	ネスパネフェルヘルのシャブティ	第3中間期、第21王朝（前1076–944年頃）	ディール・エル＝バハリ	ファイアンス	高さ11.3cm、幅3.9cm、奥行2.8cm
140	メリのシャブティ	新王国時代、第18王朝、アメンヘテプ3世の治世（前1390–1353年頃）	テーベ（?）	木	高さ21cm、幅7.1cm、奥行5.5cm
141	パヘリベジェトのシャブティ	新王国時代、第19王朝（前1292–1191年頃）	エジプト	木	高さ23.7cm、幅7.5cm、奥行4.2cm
B. 埋葬習慣の変化					CHANGING BURIAL PRACTICES
142	コンスウヘテプのミイラ覆い	第3中間期、第20王朝から第21王朝（前1190–944年頃）	テーベ	木	長さ174cm、幅55cm、高さ11.5cm
143-1 143-2	コンスウヘテプの内棺	第3中間期、第20王朝から第21王朝（前1190–944年頃）	テーベ	木	143-1:（蓋）長さ185cm、幅55cm、高さ41cm 143-2:（身）長さ185cm、幅55cm、高さ41cm
144	アメンヘテプのミイラ覆い	第3中間期、第21王朝（前1076–944年頃）	テーベ	木	長さ174cm、幅44cm、高さ14cm
145-1 145-2	アメンヘテプの内棺	第3中間期、第21王朝（前1076–944年頃）	テーベ	木	145-1:（蓋）長さ185cm、幅50cm、高さ35cm 145-2:（身）長さ185cm、幅50cm、高さ34cm

作品No.	作品名	年代	出土地／制作地	材質	法量
146-1 146-2	パネシィの外棺	第3中間期、第22王朝（前943–746年頃）	テーベ	木	146-1:（蓋）長さ201cm、幅56cm、高さ27cm 146-2:（身）長さ201cm、幅56cm、高さ28cm
147	ネヘムスウのカルトナージュ棺	第3中間期、第22王朝（前943–746年頃）	テーベ	カルトナージュ	長さ150cm、幅40cm、高さ31cm
148-1 148-2	ホルの外棺	後期王朝時代、第25王朝（前722–655年頃）	テーベ	木	（蓋）長さ199cm、幅72cm、高さ38cm （身）長さ200cm、幅72cm、高さ35cm
150	男のミイラの肖像	グレコ・ローマン時代、ローマ時代、1–2世紀	ファイユーム（?）	木	高さ39.5cm、幅20cm、厚さ0.4cm
152	金彩のミイラマスク	グレコ・ローマン時代、プトレマイオス朝 （前304–30年頃）	エジプト	カルトナージュ、金箔	高さ48.5cm、幅28cm、厚さ14cm
153	デンレグの葬祭コーン	新王国時代（前1539–1077年頃）	テーベ	テラコッタ	長さ23.2cm、直径8.1cm
154	アバァの葬祭コーン	後期王朝時代、第26王朝（前664–610年頃）	テーベ	テラコッタ	長さ19cm、直径8.5cm
155	メンケペルラーセネブの葬祭コーン	新王国時代、第18王朝、トトメス3世の治世 （前1479–1425年頃）	テーベ	テラコッタ	長さ23cm、直径8.1cm
156	モンチュウエムハトの葬祭コーン	後期王朝時代、第25王朝から第26王朝 （前722–525年頃）	テーベ	テラコッタ	長さ24.8cm、直径8.7cm
157	ミイラ作りの道具	後期王朝時代（前722–332年頃）	エジプト	青銅	高さ0.4cm、幅0.9cm、長さ27.8cm
158	死者の内臓を納めた木箱	後期王朝時代、第30王朝（前380年–343年頃）	エジプト	木	高さ61.5cm、幅19.5cm、奥行22.5cm
159	樹脂	前500–後300年	エジプト	樹脂	（最大）長さ4cm、幅4.5cm
160	石製ナイフ	新王国時代もしくは後期王朝時代（?） （前1539–332年頃）	エジプト	フリント	厚さ0.7cm、長さ11.1cm、幅4.6cm
161	ミイラの包帯	グレコ・ローマン時代、プトレマイオス朝 （前304–30年頃）	テーベ	亜麻布	幅2.5cm、長さ250cm
162	ハレレムのミイラ	後期王朝時代、第25王朝から第26王朝 （前722–525年頃）	テーベ	ミイラ、亜麻布、 ファイアンス製ビーズ	長さ170cm、幅39cm、高さ25.5cm
163	護符のリストが記されたパピルス	グレコ・ローマン時代、プトレマイオス朝 （前304–30年頃）	サッカラ	パピルス	縦32cm、横41cm
164	蛇形護符	年代不詳	エジプト	紅玉髄	高さ4.1cm、幅2.2cm、奥行0.9cm
165	ジェド柱の護符	年代不詳	エジプト	紅玉髄	高さ3.1cm、幅1.1cm、厚さ0.6cm
166	ジェド柱の護符	年代不詳	エジプト	ラピスラズリ	高さ3.3cm、幅1.2cm、厚さ0.7cm
167	ジェド柱の護符	年代不詳	エジプト	ファイアンス	高さ10.8cm、幅3.4cm、厚さ1.6cm
168	ウジャトの眼形護符	年代不詳	エジプト	ファイアンス	高さ3.5cm、幅4.3cm、厚さ0.5cm
169	枕形護符	年代不詳	エジプト	黒曜石または赤鉄鉱	高さ1.6cm、幅2.8cm、厚さ1.2cm
170	パピルス柱形護符	新王国時代（前1539–1077年頃）	エジプト	ファイアンス	高さ6.3cm、直径1.6cm
171	アヌビス形護符	年代不詳	エジプト	ファイアンス	高さ4.4cm、幅1cm、奥行2cm
172	ドゥアムトエフ神の護符	年代不詳	エジプト	ファイアンス	高さ3.8cm、幅1.5cm、奥行0.6cm
173	ハピ神の護符	年代不詳	エジプト	ファイアンス	高さ4.5cm、幅1.2cm、奥行0.7cm
174	ケベフセヌエフ神の護符	年代不詳	エジプト	ファイアンス	高さ 4.2 cm、幅1.2cm、奥行0.5cm
175	イムセト神の護符	年代不詳	エジプト	ファイアンス	高さ 4.5cm、幅1.3cm、奥行0.6cm
176	イシス神の護符	年代不詳	エジプト	ファイアンス	高さ3.4cm、幅0.7cm、奥行0.6cm
177	ネフティス神の護符	年代不詳	エジプト	ファイアンス	高さ5cm、幅1.1cm、奥行0.9cm
178	イシスの結び目の護符	年代不詳	エジプト	ファイアンス	高さ2.9cm、幅1.1cm、奥行0.6cm
179	有翼スカラベの護符	年代不詳	エジプト	ファイアンス	高さ7cm、幅15.2cm、奥行4.9cm
180	階段形護符	年代不詳	エジプト	ファイアンス	高さ2.5cm、幅1.2cm、奥行0.5cm
181	指形護符	年代不詳	エジプト	黒色の石材	高さ0.7cm、幅2cm、奥行6.5cm
182	亜麻布でできた護符	年代不詳	エジプト	亜麻布	Amulet 1: 幅3cm、長さ70cm Amulet 2: 幅2.5cm、長さ70cm Amulet 3: 幅3cm、長さ70cm Amulet 4: 幅4.5cm、長さ70cm Amulet 5: 幅4.5cm、長さ70cm
183	ベス神の護符	年代不詳	エジプト	ファイアンス	高さ3.8cm 、幅1.8cm、奥行0.8cm
184	タウェレト神の護符	後期王朝時代、第26王朝（前664–525年頃）	エジプト	ファイアンス	高さ5.5cm、幅1.7cm、奥行2cm
185	男根を強調した像の護符	グレコ・ローマン時代、プトレマイオス朝 （前304–30年）	エジプト	ファイアンス	高さ2.5cm、幅1.2cm、奥行1cm

作品No.	作品名	年代	出土地／制作地	材質	法量
186	羊頭形護符	新王国時代(?)(前1539–1077年頃)	エジプト	ファイアンス	高さ2.1cm、幅1.3cm、奥行0.6cm
187	ハトホル女神の護符	年代不詳	エジプト	ファイアンス	高さ3cm、幅2.2cm、奥行1cm

第4章 エジプトをスキャンする　SCANNING EGYPT

A. 永遠の命：ミイラのベールを取る　ETERNAL LIFE: MUMMIES UNVEILED

188	女性のミイラ	第3中間期、第22王朝、前817年頃	テーベ	ミイラ、亜麻布	長さ165.5cm、幅36.5cm、高さ24.5cm
189	タディスもしくはタ(ネト)カルウのミイラ	第3中間期、第22王朝、前800年頃	テーベ	ミイラ、亜麻布	長さ148cm、幅33cm、高さ24.5cm
190	男性のミイラ	第3中間期、第22王朝、前800年頃	テーベ(?)	ミイラ、亜麻布	長さ160cm、幅38cm、高さ26cm
191	センサオスのミイラ	グレコ・ローマン時代、ローマ時代、109年	テーベ	ミイラ、亜麻布	長さ166cm、幅45cm、高さ42cm
192	センサオスの顔の復元過程を示した模型	1998年	デルフト(オランダ)	プラスチック	高さ24cm、幅14cm、奥行19cm
193	センサオスの顔の復元模型	1998年	デルフト(オランダ)	プラスチック	高さ24cm、幅14cm、奥行19cm
194	偽のトキ(?)のミイラ	後期王朝時代もしくはグレコ・ローマン時代 (前722年もしくはそれ以降)	エジプト	ミイラ、亜麻布	高さ12cm、幅14cm、長さ23cm
195	猫のミイラ	後期王朝時代もしくはグレコ・ローマン時代 (前722年もしくはそれ以降)	エジプト	ミイラ、亜麻布	高さ41cm、幅9cm、奥行9cm
196	ハヤブサのミイラ	グレコ・ローマン時代、ローマ時代 (前30–後395年頃)	エジプト	ミイラ、亜麻布	高さ34.3cm、幅8.3cm、奥行7.2cm
197	トキのミイラを入れた壺	グレコ・ローマン時代、プトレマイオス朝、 前3–1世紀	サッカラ(?)	ミイラ、亜麻布、土器	長さ41.5cm、直径17.5cm
198	トキの壺	ローマ時代(前30–後395年頃)	ヘルモポリス	粘土	高さ23.5cm、直径17.3cm
199	トキのミイラ	ローマ時代(前30–後395年頃)	エジプト	ミイラ、亜麻布	高さ12.5cm、幅17.5cm、長さ40.5cm
200	ワニのミイラ	ローマ時代(前30–後395年頃)	エジプト	ミイラ、亜麻布	高さ5.8cm、幅7.7cm、長さ38.5cm
201	蛇のミイラ	年代不詳	エジプト	ミイラ、亜麻布	高さ6cm、幅9.6cm、長さ19.7cm
203	楕円形のカノポス壺	中王国時代(前1980–1760年頃)	ダハシュール(?)	方解石	高さ30.5cm、幅32.5cm、奥行10.5cm
205	イテルウのカノポス壺	後期王朝時代(前722–332年頃)	エジプト	方解石	高さ42cm、直径17cm
206	ウアフイブラーのカノポス壺	後期王朝時代(前722–332年頃)	エジプト	方解石	高さ30.5cm、直径16cm
207	葬祭用(カノポス用)箱	後期王朝時代(前722–332年頃)	アクミム(エジプト)	木	高さ47.5cm、幅22cm、奥行26cm
208	ホルネジュイテフの内臓を納めた木箱	グレコ・ローマン時代、プトレマイオス朝、 前250–200年頃	テーベ	木	高さ66cm、幅28cm、奥行28cm

B. 木棺の研究　RESEARCHING COFFINS

209	パウィアメンのカルトナージュ	後期王朝時代、 第25王朝から第26王朝(前722–525年頃)	テーベ	カルトナージュ	(カルトナージュ) 長さ200cm、幅54cm、高さ30cm (足覆い)高さ8.5cm、幅40cm、奥行23cm
210	カルトナージュ製の足覆い	グレコ・ローマン時代、プトレマイオス朝 (前304–30年頃)	サッカラ	カルトナージュ	高さ11cm、幅23cm、奥行24cm
211	カルトナージュ製の襟飾り	グレコ・ローマン時代、プトレマイオス朝 (前304–30年頃)	エジプト	カルトナージュ	高さ15cm、幅26cm、厚さ0.3cm
212	木棺	グレコ・ローマン時代、プトレマイオス朝 (前304–30年頃)	エジプト	木	長さ184cm、幅58cm、高さ31cm
214	木棺のマスク断片	後期王朝時代(前722–332年頃)	エジプト	木	高さ17cm、幅10.5cm、奥行7.5cm
216	木棺につけられたひげ	新王国時代、第18王朝(前1539–1292年頃)	エジプト	木	高さ18.3cm、幅5cm、奥行4cm
217	木棺につけられた神のひげ	後期王朝時代(前722–332年頃)	エジプト	青銅	高さ12cm、幅3.7cm、奥行2.9cm
218	木棺につけられた神のひげ	後期王朝時代(前722–332年頃)	エジプト	木	高さ15.8cm、幅3.6cm、奥行3cm
219	木棺用の象眼の眼	後期王朝時代(前722–332年頃)	エジプト	青銅、石	高さ2cm、幅7.5cm、奥行2.8cm
220	木棺用の象眼の眼	後期王朝時代(前722–332年頃)	エジプト	青銅、石	高さ2cm、幅7.5cm、奥行2.8cm
221	ネシタネブタウィのミイラ覆い	第3中間期、第21王朝(前1076–944年頃)	バブ・エル＝ガスス	木	長さ178cm、幅43cm、高さ12cm

C. 書字に関する新たな研究　NEW RESEARCH INTO WRITING

222	王の書記ジェフティの筆記用パレット	新王国時代、第18王朝、 トトメス3世の治世(前1479–1425年頃)	エジプト	スレート	高さ1cm、幅5.7cm、奥行38.5cm
223	容器形護符	第3中間期(前1076–723年頃)	テーベ	ファイアンス	高さ3.1cm、直径4.8cm

作品No.	作品名	年代	出土地／制作地	材質	法量
224	ペン	新王国時代（前1539–1077年頃）	エジプト	葦	長さ38cm、直径0.3cm
225	ペン	新王国時代（前1539–1077年頃）	エジプト	葦	長さ38cm、直径0.3cm
226	ペン	新王国時代（前1539–1077年頃）	エジプト	葦	長さ38.1cm、直径0.3cm
227	第19王朝の魔術/ 医術パピルス	新王国時代、第19王朝（前1292–1191年頃）	サッカラ	パピルス	縦18cm、横63cm
228	ラメセス2世の称号が記された魔術/ 医術パピルス	新王国時代、第19王朝（前1292–1191年頃）	サッカラ	パピルス	縦18cm、横57cm
229	パセルの神話パピルス	第3中間期、第21王朝（前1076–944年頃）	テーベ	パピルス	縦39cm、横125cm
230	ラメセス朝の手紙	新王国時代、第19王朝（前1292–1191年頃）	サッカラ	パピルス	縦27cm、横21cm
231	コプト語写本の断片	コプト時代（頃）	エジプト	羊皮紙	縦31.5cm、横23.5cm
D. エジプト人の技術を解明する					REVEALING EGYPTIAN TECHNIQUES
232	サギの像用の鋳型	後期王朝時代もしくはプトレマイオス朝 （前722–30年頃）	エジプト	粘土	高さ3.6cm、幅12.2cm、奥行16.2cm
233	サギの像用の鋳型	後期王朝時代もしくはプトレマイオス朝 （前722–30年頃）	エジプト	粘土	高さ3.6cm、幅12.2cm、奥行16.2cm
234	花の鋳型	新王国時代から後期王朝時代（前1539–332年頃）	エジプト	粘土	高さ1.5cm、幅2.5cm、奥行2.3cm
235	ロゼット用鋳型	新王国時代から後期王朝時代（前1539–332年頃）	エジプト	粘土	高さ1cm、直径2cm
236	青銅製ベス像	後期王朝時代もしくはプトレマイオス朝 （前722–30年頃）	エジプト	青銅	高さ9.6cm、幅3.4cm、奥行2.9cm
237	ベス像の鋳型	後期王朝時代もしくはプトレマイオス朝 （前722–30年頃）	エジプト	粘土	長さ5cm
238	イシス女神	後期王朝時代（前722–332年頃）	エジプト	青銅	高さ19cm、幅4.5cm、奥行6.5cm
239	イシス女神の冠	後期王朝時代（前722–332年頃）	エジプト	青銅	高さ18cm、幅15cm、奥行6.3cm
240	ネイト女神の頭部	後期王朝時代（前722–332年頃）	エジプト	青銅	高さ13cm、幅5cm、奥行6cm
241	オシリス神のアテフ冠の左羽	後期王朝時代（前722–332年頃）	エジプト	青銅	高さ12.7cm、幅5.8cm、奥行1.3cm
242	座っているトキ	後期王朝時代（前722–332年頃）	エジプト	青銅、木	高さ26cm、幅41cm、奥行12cm
243	トキの足	後期王朝時代（前722–332年頃）	エジプト	青銅	高さ11cm、幅5.5cm、奥行16.5cm
244	トキの頭部	後期王朝時代（前722–332年頃）	エジプト	青銅	高さ8.5cm、幅2cm、奥行8.3cm
245	人間の足	後期王朝時代（前722–332年頃）	エジプト	青銅	高さ9.2cm、幅6cm、奥行16.6cm
246	人間の足	後期王朝時代（前722–332年頃）	エジプト	青銅	高さ9.2cm、幅6cm、奥行16.6cm

３．交流事業（教育普及事業）目次

3－1　交流事業

1）　静岡市美術館開館10周年記念事業…… 63
2）　Shizubi シネマアワー　…… 66
3）　しずびオープンアトリエ　…… 66
4）　しずびチビッこプログラム　…… 66
5）　暦とあそぶワークショップ　…… 67
6）　プレゼントワークショップ　…… 67
7）　夜店市　…… 67

3－2　連携事業

1）　ミュージアム教室・展示解説　…… 68
2）　めぐるりアート静岡2020　…… 69
3）　生涯学習センター・静岡市美術館連携事業「しずび出前講座」　…… 71
4）　静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業（三館共同事業）　…… 72
5）　2020しずおか文化プロジェクト　…… 73
6）　その他施設との連携　…… 73

3．交流事業（教育普及事業）

3－1　交流事業

1）静岡市美術館開館10周年記念事業

概要：2010年5月に開館した当館は、2020年に開館10周年をむかえた。周年を記念し、1年を通じ様々な事業を展開した。誰もが気軽に立ち寄れる“街の中の広場”のような美術館を目指して活動してきたこれまでの経験を活かしながら、次の10年を見据え、新たな企画にも取り組んだ。

⑴「鈴木康広 まばたきの葉　未来の待ち合わせ場所」

概要：浜松市出身のアーティスト鈴木康広の「まばたきの葉」は、2010年の開館時、最初に展示された作品である。10年ぶりの展示を4月21日から5月10日に予定していたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、延期とした。

制作物

◆チラシ

＜仕様＞紙：モフル ミルク　90kg
　　サイズ・数量：A4 13,000部

チラシ表面

チラシ裏面

◆ポスター

＜仕様＞紙：モフル ミルク 90kg（B1）、
　　b7トラネクスト100kg（B2）
　　サイズ・数量：B1 30部、B2 400部

B1・B2ポスター

関連事業：

◆アーティストトーク

概要：4月29日に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、延期とした。

⑵参加型公開制作「柿木原さんとタイルで美術館のロゴマークをつくろう！」

概要：5月6日に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、延期とした。

⑶10周年記念ソング公開・しずびショートムービー公開

概要：映画監督／マルチクリエイターの岩井俊二氏率いるアコースティックユニットikire（イキレ）による10周年記念ソング「aoi（あおい）」を制作、当館のグランドオープン記念日の10月2日に公開した。その後、岩井氏監修・尾野慎太郎氏監督による映像作品「しずびショートムービー」を制作、11月20日に公開した。
イメージモデルをつとめた静岡市出身の女優・青島心氏と当館のロゴマークが館内をめぐりながら、10年の歩みや美術館の日常、裏側に触れる内容で、ドキュメンタリーとフィクションが交差する映像表現ならではの作品となった。
美術に限らず様々な表現を表現してきた当館の方針を、開館10周年という節目の機会に、本作品を通して改めて周知することができた。

・静岡市美術館開館10周年記念ソング　ikire「aoi」（5分32秒）
　作詞・作曲・編曲：ikire

・ミュージックビデオ（6分16秒）
　監督　岩井俊二
　出演　Chima（Vo.）
　　市川和則（Gt.）
　　岩井俊二（Ba.）
　　中村由利子（Pf.）
　　荒井桃子（Vn.）
　　林田順平（Vc.）
　制作　ロックウェルアイズ

・「しずびショートムービー」（11分40秒）
　監修　岩井俊二
　監督　尾野慎太郎
　出演　青島心　ほか
　音楽　ikire

制作物

◆チラシ

＜仕様＞紙：マットコート 90kg
　　サイズ・数量：A4 6,000部

チラシ表面

チラシ裏面

◆ミニDM

＜仕様＞紙：マットコート 180kg、220kg

サイズ・数量：100×148mm 8,000部

ミニDM表面

ミニDM裏面

◆特設サイトの制作

概要：本事業専用の特設サイトを当館HP内に開設した。

www.shizubi.jp/10th

・第１弾：8月31日公開、イメージモデル告知

・第２弾：10月2日公開、記念ソング公開

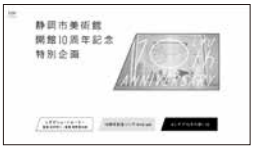
・第３弾：11月20日公開、ショートムービー公開

第1弾：パソコン版

第1弾：スマートフォン版

第2弾：パソコン版

第2弾：スマートフォン版



第3弾：パソコン版

第3弾：スマートフォン版

◆Youtubeチャンネル開設

概要：本事業で制作した記念ソング、ショートムービーを公開するため、当館専用のYoutubeチャンネルを開設した。

◆＃しずび10年の思い出 募集

市民参画型の企画として、当館にまつわる思い出を募集した。館内アンケート、SNSやHP上で募集し、特設サイトで公開した。

主要広報記録：

◆新聞

・菊地真生「静岡市美10周年記念ソング制作」『静岡新聞』、9月24日。

・菊地真生「記念ソングと映像制作」『静岡新聞』（夕刊）、12月11日。

◆ウェブサイト等（媒体名のみ記載）

「ブログ 青い日記帳」、「artscape アートフラッシュニュース」、「SPACE SHOWER MUSIC」、「Like Dis Music」

関連事業：

◆ショートムービー上映

概要：当館多目的室の200インチのスクリーンを活用し、記念ソングのMVとショートムービーをループ上映した。

日時：11月21日（土）－12月13日（日）

会場：多目的室

◆しずびショートムービー完成記念トークイベント

概要：ショートムービーの監督である尾野慎太郎氏（映像ディレクター）、イメージモデルをつとめた青島心氏（女優）をゲストに迎え、リモートで監修の岩井俊二氏（映画監督）が出演した。当館学芸課長の以倉新、司会で学芸員の伊藤鮎も参加。記念ソングやショートムービーの制作背景を紹介できただけでなく、第一線で活躍する岩井氏のクリエイターとしての姿勢も伝わる内容となり、10周年事業の締めくくりにふさわしい事業となった。

日時：12月13日（日）14:00－15:30

会場：多目的室　　参加者数：37人

⑷記念ロゴマークの制作

◆開館10周年ロゴマーク

開館10周年を記念し作成。令和2年度開催のすべての展覧会、および年間スケジュールで使用した。

10周年のロゴマークは、全体を斜体にすることでスピード感を出しています。これまでの歩みを引き継ぎ、時代の変化を見据えながら進む美術館の姿をイメージしています。

デザイン：柿木原政広（アートディレクター /10inc）

◆立体ロゴマークの制作

当館のロゴマークの重ねられた2つの円は、美術館を中心とした人の輪の広がりと地域と世界を結ぶイメージが表現されている。また、視点と奥行きの変化によって見え方が変わるこのロゴには、美術館が多様な視点を発見する場所になればという想いも込められている。5月29日、館内に立体ロゴを新たに設置した。ロゴマークに込められた想いが視覚的に伝わるオブジェとなっただけでなく、フォトスポットとしても親しまれた。

⑸広報活動

◆ホームページリニューアル

概要：開館10周年に合わせホームページをリニューアルした。

※81頁を参照。

⑹開館10周年記念スタンプラリー

概要：2020年4月から2021年3月開催の展覧会のうち、2つの展覧会をご観覧いただいた方、先着300名様にしずび10周年オリジナルバックをプレゼントした。

⑺開館記念日プレゼント

概要：5月1日に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止とした。

⑻開館10周年記念ポスター展

概要：見るよろこび展にあわせ、開館以来当館で開催した展覧会のポスターを一同に展示した。

※23頁を参照。

⑼静岡市美術館　オリジナルビール「あわい」発売

概要：今回6回目となる、静岡市初のクラフトビール醸造所・AOI BREWING（アオイブリューイング）とのコラボレーション企画。当館をイメージし、特別なレシピでつくられた「あわい」（ケルシュ）は、開館10周年を記念して、当館のロゴマークを手がけた柿木原政広氏がラベルをデザインした。当館ミュージアムショップ併設のカフェで提供したほか、近隣店舗でも発売した。

主要広報記録：

◆新聞

・「ビール「あわい」限定販売」『静岡新聞』、9月16日。

・「美術館の限定ビール「あわい」」『読売新聞』静岡版、9月17日。

・古川幸奈「静岡市美術館がビール限定販売」『毎日新聞』静岡版、9月24日。

2)Shizubi シネマアワー

(1)Shizubi シネマアワー vol.26

「チェコのアニメーション」

概要：美術館ならではのテーマとセレクトの映画上映。

「ミュシャと日本、日本とオルリク　めぐるジャポニスム」展にあわせ、5月2日及び3日に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止とした。

告知チラシ（当館作成）

3)2020しずおか文化プロジェクト

しずびオープンアトリエ

概要：春・夏の年2回、開催中の展覧会にあわせて実施する、鑑賞と創作が一体となったオリジナルワークショップ。地元の大学生による「学生ボランティア」が制作をサポートする。

(1)「ショパン－200年の肖像」

8月10日から23日に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止とした。

(2)「ライデン国立古代博物館所蔵　古代エジプト展」

2月13日から3月14日に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止とした。

(3)おうちで！しずびオープンアトリエ

「アリスの飛び出すカードをつくろう！」

概要：コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点からしずびオープンアトリエの中止が続いていることに伴い、過去のプログラムの制作キット（平成31年度「不思議の国のアリス展」プログラム）を数量限定で販売し、自宅でしずびのワークショップを楽しめる機会を提供した。

販売期間：8月11日から（なくなり次第販売終了）

販売数：全3種類、各100個　計300個

販売価格：各200円

4)2020しずおか文化プロジェクト

しずびチビッこプログラム

概要：2歳以上の未就学児を対象とした、鑑賞に基づく制作プログラム。保護者は展覧会を見学する。展覧会毎に様々なアプローチで未就学児の表現の可能性に迫っている。市内保育支援団体の協力を得て実施。（保護者は要観覧券）

(1)「ショパン－200年の肖像」

8月29日に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止とした。

(2)「絵本画家・赤羽末吉展」

11月23日に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止とした。

(3)「ライデン国立古代博物館所蔵　古代エジプト展」

開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止とした。

5)2020しずおか文化プロジェクト
暦とあそぶワークショップvol.19
概要：祭事や年中行事を通して季節を感じ、それをかたちにするワークショップシリーズ。暦の本来の意味や歴史を学びながら制作する。

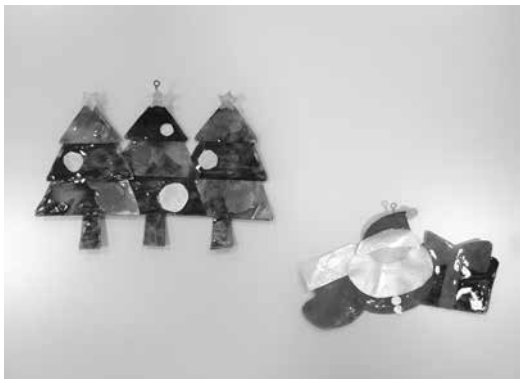
(1)「ひな祭りの準備をしよう！」
2月23日に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止とした。

6)2020しずおか文化プロジェクト
プレゼントワークショップ
概要：子どもたちの創作意欲の原点である、家族や大切な人への想いをかたちにするという行為に焦点を当て、記念日にあわせて実施。プレゼントを「つくって、贈る」ことから生まれるコミュニケーションに主眼を置く。

(1)プレゼントワークショップvol.30
「母の日だ！親子でプレゼントをつくろう」
概要：5月9日に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止とした。

(2)プレゼントワークショップvol.31
「父の日だ！親子でプレゼントをつくろう」
概要：6月20日に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止とした。

(3)プレゼントワークショップvol.32
「クリスマスの準備をしよう！」
概要：新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で中止が続いていたワークショップの再開第1回目として、様々な対策を講じた上で実施。UVレジンという樹脂性の素材をコーティングに使用し、光にかざすと透過するクリスマスオーナメントをつくった。オーナメントは2種制作、1つはクリスマスツリーが3つ連続するかたちに、もう1つは自由な形を大きなサイズに仕上げた。細かなパーツを切り貼りする内容で集中力が要されたが、子ども達も夢中で取組んでいた。美術館に人が集い、ワークショップを通して創作する喜びや楽しさを改めて感じる機会となった。
日時：12月12日(土)13:00－16:30
会場：ワークショップ室
対象・参加者数：小学生以上14人
参加料：1人につき500円(材料費含む)
主要広報記録：
◆新聞
「手作り飾りで準備　小学生らが挑戦」『静岡新聞』、12月13日。



7)夜店市
概要：中央商店街恒例のイベント「夜店市」は、8月14日から16日に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止となった。

3－2　連携事業

1)ミュージアム教室・展示解説

概要：当館では、学校や生涯学習センター等からの団体を対象にして、展覧会担当学芸員が直接解説する鑑賞教室に力を入れている。幼稚園・保育園児～高校生については、子どもたちと当館学芸員等が対話形式で展覧会鑑賞を行う「ミュージアム教室」として実施。子どもたち自身が作品の魅力を発見し、考えるよう促すことで、美術を身近で楽しいものと感じることを目指すとともに、美術館でのマナーも学習することを目的とする。大学・専門学校生、および生涯学習センター・生涯学習交流館等の事業参加者については、展覧会の見どころを中心とした「展示解説」として実施している。

対象：＜ミュージアム教室＞幼稚園・保育園児～高校生
＜展示解説＞大学生・専門学校生～一般

実施内容・所要時間(共通)：
スタッフの解説30分＋自由鑑賞30分　計60分

利用状況：

◆ミュージアム教室利用状況

	幼稚園・保育園		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校 特別支援学級		児童クラブ 等		展覧会合計	
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
日・チェコ交流100周年 ミュシャと日本、日本とオルリク めぐるジャポニスム※	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
静岡市所蔵品　特集展示 見るよろこび：東海道図屏風・竹久夢二を中心に※	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ショパン―200年の肖像	0	0	0	0	2	23	4	61	0	0	0	0	6	84
生誕110年・没後30年　絵本画家・赤羽末吉展 『スーホの白い馬』はこうして生まれた	6	229	2	127	2	45	3	65	0	0	2	63	15	529
ライデン国立古代博物館所蔵　古代エジプト展	0	0	6	218	10	255	5	100	0	0	0	0	21	573
計	6	229	8	345	14	323	12	226	0	0	2	63	42	1,186

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、受入を中止した　　計　42団体　1,186人

◆展示解説利用状況

	大学・専門学校		生涯学習センター 生涯学習交流館		その他		展覧会合計	
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
日・チェコ交流100周年 ミュシャと日本、日本とオルリク めぐるジャポニスム※	0	0	0	0	0	0	0	0
静岡市所蔵品　特集展示 見るよろこび：東海道図屏風・竹久夢二を中心に※	0	0	0	0	0	0	0	0
ショパン―200年の肖像	0	0	0	0	0	0	0	0
生誕110年・没後30年　絵本画家・赤羽末吉展 『スーホの白い馬』はこうして生まれた	0	0	3	32	0	0	3	32
ライデン国立古代博物館所蔵　古代エジプト展	0	0	0	0	2	56	2	56
計	0	0	3	32	2	56	5	88

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、受入を中止した　　計　5団体　88人

2)めぐるりアート静岡2020

概要：「めぐるりアート静岡」は、静岡大学「アートマネジメント力育成事業」美術分野実習として2013年から始まり、静岡市内の様々な場所を会場に、今を生きるアートを紹介する展覧会として毎年開催している。今年最終年を迎え、当館及び県立美術館エントランスと東静岡アート＆スポーツ/ヒロバの3会場で開催した。当館では、エントランスホールで「ワタリドリ計画」(麻生知子・武内明子)を紹介した。2人は静岡アートギャラリー最後の展覧会にも出品しており、今回11年振りに静岡を再訪し旅の手彩色絵葉書や油彩画、陶器、映像作品などを制作展示した。ほのぼのとした旅行記の体裁で好評を博した。

会期：10月20日(火)－11月8日(日)＜※当館＞

会場：①当館エントランスホール　②東静岡アート＆スポーツ/ヒロバ(10月17日(土)－11月8日(日))　③静岡県立美術館(10月20日(火)－11月8日(日))

出品作家：①ワタリドリ計画(麻生知子・武内明子)　②石上和弘、岩野勝人、千葉広一、日詰明男、福井揚、占部史人(9月19日(土)-10月11日(日)の金土日及び祝日)、きむらとしろうじんじん(9月27日(日))、アオキ裕キ(10月31日(土)、11月1日(日))　③臼井良平

来場者数：14,024人(当館分のみ)

出品リスト(当館分のみ)：

ワタリドリ計画(麻生知子・武内明子)

1.《「帰りたい」泣いたソテツ》　武内明子　2020年　パネル・ミクストメディア
2.《小夜の中山　茶畑》　麻生知子　2020年　キャンバス・油彩
3.《とろろ汁》　麻生知子　2020年　キャンバス・油彩
4.《静岡絵葉書日記》　2020年　ミクストメディア
5.《ワタリドリ通信　静岡特別号》　2020年
6.《また、この場所で。》　2020年　映像3分48秒
7.《旅の手彩色絵葉書》　2009-2020年　白黒写真に油彩
8.《帰りたい　帰りたい》　武内明子　2020年　パネル・ミクストメディア
9.《梅ヶ島温泉》　麻生知子　2020年　キャンバス・油彩
10.《富士山》　麻生知子　2020年　キャンバス・油彩

主要広報記録：

◆テレビ・ラジオ

・「展覧会紹介」株式会社TOKAIケーブルネットワーク『トコチャンワイド』、10月9日放送。

◆新聞

・菊地真生「本県ゆかりのアーティスト集結　静岡3会場で作品展　めぐるりアート2020開幕」『静岡新聞』、10月21日。

◆ウェブサイト(媒体名のみ記載)

「アットエス」

制作物：

◆チラシ

＜仕様＞サイズ・加工：626×299mm（巻3つ折り　仕上A4）

チラシ表面

チラシ中面

◆記録集

＜仕様＞A4版、51頁

記録集　表紙

ごあいさつ／作家紹介／アーティスト・インタビュー／関連イベント／アーティストトーク／来場者の声／成果と課題　等

編集：白井嘉尚、堀切正人、川谷承子、以倉新、軍司しずか、柚木康裕、植松篤
発行：公益財団法人静岡市文化振興財団
発行年：2021年

関連事業：

◆アーティストトーク①

概要：占部史人氏に春からのコンテナ外壁壁画の制作を含め、展覧会の内容について作品の前で話を聞いた。『箱の生活』という壁画及び展覧会タイトルは、コロナ禍で自粛生活が続く中、アメリカの小説家ソローの『森の生活』に着想を得たとのこと。出品した学生有志も話に加わった。当日は好天に恵まれ、多くの聴講者があり、東京や愛知からこの展覧会とトークのために来場した美術関係者(4名)もおり、占部氏への関心の高さが伺えた。

日時：9月27日(日)14:00－14:40

会場：東静岡アート＆スポーツ／ヒロバ

参加者数：30人

講師：占部史人(出品作家)

◆アーティストトーク②

概要：当日は雨天となり、気温も低く、生憎の天候となった。野外のヒロバには来場者がほとんどいない中、トーク後のワークショップに申し込んだ親子一組(2人)と、トークを聞きに来た1人、及び当館の博物館実習生3人が参加。雨除けのテントの下で、岩野氏の熱のこもった話を聞いた。そして、トークに来た1人も急遽参加し、ワークショップを実施。話だけでなく実際に作品作りを体験した。参加者には荒天ながら忘れがたい機会となったようだ。

日時：10月17日(土)13:00－13:30

会場：東静岡アート＆スポーツ／ヒロバ

参加者数：6人

講師：岩野勝人(出品作家)

◆アーティストトーク③

概要：ワタリドリ計画の2人、麻生知子氏と武内明子氏が、自らの作品の前で、制作のプロセスや意図についてトークを行った。11年ぶりに再訪した今回の旅の様子や、それぞれ画家として活動する2人が何故、10年以上に渡りワタリドリ計画としても活動しているかなど率直な話が聞けた。参加者から質問や感想も出て、2人にとっても有意義なイベントになった。

日時：10月20日(火)13:00－13:40

会場：エントランスホール

参加者数：13人

講師：ワタリドリ計画(出品作家)

◆アーティストトーク④

概要：ヒロバで巨大な竹の作品を前に、日詰明男氏のアーティストトークを実施した。これまで30年以上に渡り、幾何学、中でも黄金比の造形を追求してきた作家に、その魅力を聞いた。途中、竹を使った黄金比の音楽の実演を挟み、話題は今年ノーベル物理学賞を受賞したペンローズとの出会いや、ベーシックインカムの有用性にも及び、この思想家とも呼べる稀有な実践者の熱のこもった話に会場からも活発に質問が出た。

日時：11月1日(日) 13:00－13:40

会場：東静岡アート＆スポーツ／ヒロバ

参加者数：35人

講師：日詰明男(出品作家)

◆ワークショップ①平面から立体へ「くもならべ」part2
概要：定員20人のところ申込多数となり、30人まで受け付けたが、実施日(10/17)は風雨の強い荒天となり参加者6人となったため、急遽、作家の協力により翌10/18にも実施し17人の参加を得た。初日は雨除けのテント下での実施となったが、講師の熱のこもった指導に参加者は作品を最後まで完成。翌日は好天で親子での参加も多く、野外芝地で伸び伸びと実施出来た。色彩溢れる立体的な雲の群れが芝地に完成した。
日時：10月17日(土)-18日(日)13:00－16:00
会場：東静岡アート＆スポーツ／ヒロバ
参加者数：23人
講師：岩野勝人(出品作家)

3)生涯学習センター・静岡市美術館連携事業
「しずび出前講座」
概要：「しずび出前講座」は、開催中の展覧会にかかわらず、生涯学習センターに当館学芸員を講師として派遣し、座学やワークショップを実施する連携講座。本年度は9講座を実施した。

①北部生涯学習センター
「ミュシャとオルリクと日本」
概要：4月17日及び24日に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止とした。

②大里心の乙女塾～女性のための教養講座～
「しずおかでめぐる現代美術　めぐるりアート静岡ほか」
概要：「めぐるりアート静岡」を中心に、第一線で活躍するアーティストを紹介してきた「Shizubi Project」や、各地の芸術祭など、多様化した現代の美術について紹介した。
日時：10月14日(水)19:00－21:00
会場：大里生涯学習センター　　**参加者数**：31人
講師：以倉新

③西奈生涯学習センター
「作品から辿る赤羽末吉の生涯」
概要：「絵本画家・赤羽末吉展」にあわせ実施。1回目の講座では赤羽末吉の人物像に焦点を当て、その生涯を追いながら出品作品を解説した。2回目は作品の鑑賞ポイントを紹介した後、各自で展覧会を鑑賞した。
日時：①10月20日(火)　②10月27日(火)
　　いずれも14:00－15:30
会場：①西奈生涯学習センター　②当館　　**参加者数**：計18人
講師：安岡真理

④藁科生涯学習センター
「絵本画家・赤羽末吉の魅力に迫る」
概要：「絵本画家・赤羽末吉展」にあわせ実施。1回目の講座では代表作『スーホの白い馬』の誕生秘話をはじめ、絵本原画作品を中心にその特徴を解説した。2回目は作品の鑑賞ポイントを紹介した後、各自で展覧会を鑑賞した。
日時：①10月29日(木)　②11月5日(木)
　　いずれも10:00－11:30
会場：①藁科生涯学習センター　②当館　　**参加者数**：計22人
講師：安岡真理

⑤南部生涯学習センター
「日本画の巨匠と名作－その理由をひもとく」
概要：横山大観、竹内栖鳳、今村紫紅らを紹介し、彼らはなぜ巨匠と呼ばれるのか、そしてその作品がなぜ名作なのかを解説した。日本画鑑賞のポイントも交えて、絵を見ることがより興味深くなるような講座を心がけた。
日時：11月13日(金)19:00－20:30
会場：南部生涯学習センター　　**参加者数**：16人
講師：山本香瑞子

⑥西部生涯学習センター
「武将が愛した名刀」
概要：平安時代初期の坂上田村麻呂から徳川家康ら桃山時代の戦国武将たちの愛刀を、静岡ゆかりの名品を中心に紹介したほか、刀剣を通して垣間見られる所有者の人物像についても解説した。
日時：11月21日(土)13:30－15:30
会場：西部生涯学習センター　　**参加者数**：34人
講師：髙橋哲也

⑦高齢者学級みのり大学　東部学級での講義
「ルネサンスの女性像」
概要：ルネサンス期は、女性に対する視線が多様に変化し、聖書や神話の世界に登場する女性だけでなく、実在の女性も豊かな表現で数多く描かれた。ダ・ヴィンチ、ボッティチェッリ、ラファエロ、フィリッポ・リッピなど、巨匠たちの作品を読み解きながら、当時の美しさとは何かを解説した。
日時：①1月12日(火)　②1月26日(火)
　　いずれも10:00－11:30
会場：東部生涯学習センター　　**参加者数**：計45人
講師：伊藤鮎

⑧高齢者学級みのり大学　西部学級での講義
「日本画と写生ー竹内栖鳳を中心に」
概要：竹内栖鳳が得意とした動物画に着目し、虎、獅子、猫を題材とする作品を取り上げ、写生という観点からその革新性や伝統とのつながりを解説した。
日時：①1月21日（木）　②2月4日（木）
いずれも9:30－11:30
会場：西部生涯学習センター　　**参加者数**：計36人
講師：山本香瑞子

⑨南部生涯学習センター
「国宝の名刀」
概要：平安から南北朝時代に制作された国宝指定の名刀を中心に、地域や時代ごとに特徴が異なる作風について解説するとともに、金属工芸としての日本刀の造形的な美しさや鑑賞する際の注目ポイントも紹介した。
日時：1月22日（金）19:00－20:30
会場：南部生涯学習センター　　**参加者数**：20人
講師：髙橋哲也

4）静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業（三館共同事業）
概要：JR静岡駅前に位置する静岡音楽館AOI、静岡科学館る・く・る、静岡市美術館が特徴を活かして、音楽、科学、美術の境界を越え、総合的な文化空間の創造を目指して連携実施する事業。本年度は7事業を実施した。

（1）2020しずおか文化プロジェクト/静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業
ピアノ解体ショー ～ピアノの中ってどんな風になってるの？～
概要：「ショパン－200年の肖像」に関連し実施。ピアノを実際に解体し、音が出る仕組みについて紹介した。当初は直接ピアノの中身を見てもらう予定であったが、三密状態を回避するために、モニターに映して仕組みを紹介した。アンケートでの満足度は高かったが「もっと近くで見たかった」という意見もあり、次回行う際には当初計画のように実施できる方法を模索したい。
日時：8月18日（火）14:00－15:30
会場：静岡科学館る・く・る　　**参加者数**：計43人
講師：宮澤晴奈氏（（株）音楽舎ピアノ調律師）、
関本淑乃（静岡音楽館AOI学芸員）

（2）2020しずおか文化プロジェクト/静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業
講演会「作曲家入門F.ショパン」
概要：「ショパン－200年の肖像」に関連し実施。静岡音楽館AOIの学芸員を講師として招き、ショパンの作品とその生涯を解説した。講義の中で講師がピアノによる演奏やCDでショパンの曲を流すと、受講者は静かに耳を傾けてショパンの作品を楽しんでいた。受講後のアンケートでは、「芸術的気分に浸ることができた」「いろんなショパンの曲が聞けてよかった」との感想が寄せられ、受講者の音楽に関する興味関心を高めることができた。
日時：①6月19日（金）19:00－20:30　②9月12日（土）10:00－11:30
③9月16日（水）19:00－20:30
会場：①静岡音楽館AOI・講堂　②藁科生涯学習センター
③葵生涯学習センター　　**参加者数**：計47人
講師：関本淑乃（静岡音楽館AOI学芸員）
主要広報記録：
◆新聞
・白柳一樹「ショパンの作品解説　静岡AOI作曲家入門　学芸員ピアノ演奏交え」『静岡新聞』、6月21日。

（3）2020しずおか文化プロジェクト/静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業
静岡・室内楽フェスティバル2020
ミュージアム・コンサート「ショパンの時代の楽器で聴く」
※29頁を参照。

（4）2020しずおか文化プロジェクト/静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業
静岡音楽館AOIコンサートシリーズ2020-21/静岡・室内楽フェスティバル2020
小菅優（ピアノ）＆石坂団十郎（チェロ）
デュオ・リサイタル～ショパンの調べ～
概要：10月3日に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止とした。

（5）静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業
ミュージアム・コンサート「馬頭琴とホーミーによるモンゴル民族音楽　『スーホの白い馬』の故郷からの風」
※41頁を参照。

（6）静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業
サイエンスカフェ「古代の人々の顔を蘇らせる！復顔師の仕事」
概要：エジプト展でのミイラのCTスキャンの解析に着目し、骨や人種などのデータから顔を復元する「復顔師」を講師に招き、年代、性別、食文化、生活習慣など骨からどのようなことが読み取れるか、ツタンカーメン王などを例に復顔の手法を解説いただいた。こうした科学館ならではの視点で行う良質な講座は、多角的に展覧会や作品理解を深める意義深い事業といえる。
日時：3月20日（土・祝）13:00－15:00
会場：静岡科学館る・く・る　　**参加者数**：計29人
講師：戸坂明日香氏（京都芸術大学 准教授・復顔師）

5)2020しずおか文化プロジェクト

概要：2020年に東京で開催されるオリンピック・パラリンピックはスポーツの祭典だけでなく、文化の祭典でもあり、世界中の注目が集まっている。当館を指定管理する（公財）静岡市文化振興財団でも2020年に向け、これまで培ってきた文化に関する様々な知見やネットワークを活かし、文化振興のみならず、文化による地域や社会課題への対応についても取り組むこととし、「「しずおか文化」の発信」「次世代育成と新たな文化芸術の創造」「あらゆる人の参加・交流と地域の活性化」という３点を主軸にした文化プログラムを展開している。本年当館では延べ8事業を開催した。

(1)2020しずおか文化プロジェクト
日本・ポーランド国交樹立100周年記念ショパン－200年の肖像
※26頁を参照。

(2)2020しずおか文化プロジェクト
しずびオープンアトリエ
※66頁を参照。

(3)2020しずおか文化プロジェクト
しずびチビッこプログラム
※66頁を参照。

(4)2020しずおか文化プロジェクト
暦とあそぶワークショップ
※67頁を参照。

(5)2020しずおか文化プロジェクト
プレゼントワークショップ
※67頁を参照。

(6)2020しずおか文化プロジェクト/静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業
ピアノ解体ショー ～ピアノの中ってどんな風になってるの？～
※72頁を参照。

(7)2020しずおか文化プロジェクト/静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業
講演会「作曲家入門F.ショパン」
※72頁を参照。

(8)2020しずおか文化プロジェクト/静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業
静岡・室内楽フェスティバル2020
ミュージアム・コンサート「ショパンの時代の楽器で聴く」
※29頁を参照。

6)その他施設との連携

(1)Kids Art Project Shizuoka

概要：令和2年4月～令和3年3月末まで、「Kids Art Project Shizuoka実行委員会」に参画、県内の小学生全児童に参加各館のオリジナルスタンプを集めるスタンプラリー付の「しずおかミュージアムパスポート」を配布した。

実施期間：4月1日（水）－3月31日（水）

対象：静岡県内の全小学生（537校・約18万人）

加盟館：静岡県内の美術館・博物館　計38館

利用者数（当館分のみ）：596人

ロゴマーク：

2020 しずおか文化プロジェクト

2020しずおか 文化プロジェクト

(9)2020しずおか文化プロジェクト/静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業
静岡音楽館AOIコンサートシリーズ2020-21/静岡・室内楽フェスティバル2020
小菅優（ピアノ）＆石坂団十郎（チェロ）
デュオ・リサイタル～ショパンの調べ～
※72頁を参照。

(10)2020しずおか文化プロジェクト/静岡市生涯学習センター全館連携コンサート事業
「ショパン～生涯の旅～」

概要：生涯学習センター全館を会場に、リレー形式でショパンの主要楽曲を全て鑑賞できる連携コンサート。
なお、5月24日（西部生涯学習センター）、6月7日（南部生涯学習センター）、6月21日（藁科生涯学習センター）、7月25日（大里生涯学習センター）、8月2日（西奈生涯学習センター）、8月9日（東部生涯学習センター）に開催の予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止とした。

日時：①9月6日（日）　②9月19日（土）　③10月10日（土）
④10月24日（土）　⑤11月21日（土）
いずれも14:00開演（13:30開場）

会場：①長田生涯学習センター　②北部生涯学習センター
③美和生涯学習センター　④駿河生涯学習センター
⑤葵生涯学習センター

参加料：いずれも500円

参加者数：①60人、②58人、③42人、④55人、⑤93人

出演：①今野千春（ピアノ）、②東正治（ピアノ）、③小林秀子（ピアノ）、④本多美瑞紀（ピアノ）、⑤小澤実々子（ピアノ）

(2)浜松市楽器博物館におけるワークショップへの開催協力

概要：「絵本画家・赤羽末吉展」関連事業として、浜松市楽器博物館にて「オリジナルの色紙で馬頭琴を描こう！」が開催され、当館学芸員が講師を務めた。制作前には美術館職員が『スーホの白い馬』の誕生秘話を紹介し、博物館職員が馬頭琴の解説と簡単な演奏をした。その後、参加者は一人一台、馬頭琴を真横に置いて鑑賞しながら、カラフルなオリジナルの色紙を切り貼りし、ほぼ原寸大の馬頭琴の絵を完成させた。両館の専門性を生かしたワークショップとなった。

日時：11月22日（日）13:30－16:00

会場：浜松市楽器博物館

対象・参加者数：小学生　14人

講師：安岡真理・太田紗世（いずれも当館学芸員）

主要広報記録：

◆新聞

・糸井絢子「貼り絵で馬頭琴自動カラフルに」『静岡新聞』、11月24日。
・「色紙で馬頭琴再現児童ら歴史も学ぶ」『中日新聞』、11月24日。

4．受託事業等

4－1　受託事業等

1)「竹久夢二」展

概要：静岡市美術館が所蔵する竹久夢二作品（志田コレクション）を、夢二と同時代に建てられた国登録有形文化財の旧五十嵐歯科医院（旧五十嵐邸）を会場に4日間の会期で展示公開してきたが、今年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から当館展示室で「見るよろこび展」と併催した。肉筆画7点、版画21点、装丁本11点の竹久夢二作品を出品して充実した内容で実施することができた。観覧料無料で公開したことも来場者には好意的に受け止められ、展示機会が少ない市所蔵品を市民に紹介するよい機会となった。

※23頁を参照。

2)静岡市清水文化会館マリナート常設展示

「平野富山－清水が生んだ彩色木彫の名匠」

概要：今年度で9年目となる静岡市清水文化会館マリナートにおける、彩色木彫家・平野富山の常設展示。静岡市が収蔵する富山作品（彩色木彫35点、塑像等約35点、書2点）と富山の収集品454件を活用し、各期テーマを設けて年3回の展示を行った。また、それに係る保存管理、調査研究もあわせて実施した。

テーマおよび会期：

【第1期】現代的作品―初期から晩年まで　7月－10月

【第2期】動物―富山と同時代の作家　11月－2月

【第3期】能楽の世界　3月－6月

会場：静岡市清水文化会館マリナート　1階ギャラリー隣
平野富山常設展示コーナー

第1期

第3期

第2期

作品リスト：

【第1期】テーマ：現代的作品―初期から晩年まで

第1期は平野富山の現代的なテーマの作品を中心に紹介した。富山70代の作である母子像《母子順風》や少女像《おさな心》など、今日的な表現に取り組んだ彩色木彫を展示し、晩年にかけさらに意欲的になっていった富山の試みを紹介した。そのほか富山コレクションから陶磁器も展示した。なお今年度より静岡市の常設展示HPがリニューアルされ、市担当者による展示レポートも掲載されている。

1. 平野富山《筒井筒》昭和16 年、彩色木彫、静岡市
2. 平野富山《孫》昭和19年、彩色木彫、静岡市
3. 平野富山《紀州犬》昭和49年、彩色木彫、静岡市
4. 平野富山《おさな心》昭和59年、彩色木彫、静岡市
5. 平野富山《母子順風》昭和55年、彩色木彫、静岡市
6. 平野富山(敬吉)《ボデー・ビルダー》※第11回日展出品、昭和30年、FRP、静岡市
7. 《青花花唐草文皿》清代後期、徳化窯、磁器、静岡市/平野富山コレクション
8. 《染付花卉文蕎麦猪口》江戸中期、有田、磁器、静岡市/平野富山コレクション
9. 《青花山水鳥図輪花碗》清代後期、中国南部、磁器、静岡市/平野富山コレクション

【第2期】テーマ：動物―富山と同時代の作家

第2期は平野富山の動物作品を中心に紹介した。小品ながら毛並みの一本一本にまで意識が行き届いた《瑞果喜猿》、人体のようなスケールと迫真的な表情の《神猿》のほか、富山コレクションより、富山と同時代に活躍した木彫家・宮本理三郎、陶芸家・岡本欣三、日展を舞台に富山と共に研鑽した木彫家・木島延幸らの動物をモチーフとした作品も合わせて展示した。

1. 平野富山《欄間扇面散らし》昭和22年、彩色木彫、静岡市
2. 平野富山《福ねずみ》昭和46年、彩色木彫、静岡市
3. 平野富山《瑞果喜猿》昭和54年、彩色木彫、静岡市
4. 平野富山《神猿》昭和56年、彩色木彫、静岡市
5. 宮本理三郎《うずら》昭和58年、彩色木彫、静岡市/平野富山コレクション
6. 木島延幸《うそ》木彫、静岡市/平野富山コレクション
7. 平野富山(敬吉)《しづか》※第 11 回日展出品、昭和30年、FRP、静岡市
8. 《色絵張子犬図香合》昭和45年
9. 《鉄絵猪図香合》昭和46年
10. 《鉄絵虎形香合》昭和49年
11. 《染付辰砂蛇文香合》昭和52年
12. 《瑠璃釉鉄絵羊文香合》昭和54年
13. 《鉄絵辰砂鶏形香合》昭和56年
14. 《染付犬図香合》昭和57年
15. 《鉄絵和歌入茶碗》※平櫛田中揮毫　昭和45年
16. 《鉄絵菖蒲文茶碗》※平野富山揮毫

※no.8-16 すべて岡本欣三、静岡市/平野富山コレクション

【第3期】テーマ：能楽の世界

第3期は平野富山の能楽をテーマとした作品を中心に紹介した。師匠である人形師・池野哲仙の影響により修行時代から能楽に親しんだ富山は、特に出身地、清水の三保松原にゆかりのある能「羽衣」を好んだ。展示では初期の銕国銘がある昭和10年の《羽衣》、この約50年後に制作した晩年の代表作《羽衣舞》のほか、《翁舞》や《三番叟》を出品。あわせて富山の収集品より能面・狂言面も展示し、能楽の世界に誘った。

1. 平野富山《羽衣》昭和10年、彩色木彫、静岡市
2. 平野富山《三番叟(さんばそう)》昭和15年、彩色木彫、静岡市
3. 平野富山《翁舞》昭和49年、彩色木彫、静岡市
4. 平野富山《羽衣舞》昭和58年、彩色木彫、静岡市
5. 平野富山(敬吉)《おもがえり》※第4回改組日展出品、昭和47年、FRP、静岡市
6. 《能面　父尉(ちちのじょう)》静岡市/平野富山コレクション
7. 《能面　平太(へいだ)》静岡市/平野富山コレクション
8. 《能面　小喝食(こかっしき)》静岡市/平野富山コレクション
9. 《能面　小面(こおもて)》静岡市/平野富山コレクション
10. 《能面　小癋見(こべしみ)》静岡市/平野富山コレクション
11. 《狂言面　黒式尉(こくしきじょう)》静岡市/平野富山コレクション

3)「静岡市美術館10周年記念事業広報活用業務」

概要：開館10周年を記念して制作された記念ソング「aoi（あおい）」と映像作品「しずびショートムービー」を広く周知するため、作品完成前から戦略的に広報活動を行った。

全国報道マスコミ向けにプレスリリースの発信、印刷物の制作、特設サイトの運用、SNS広告の出稿(Youtube、Twitter)等を行った。作品の単純な周知に留まらず、これまでの10年の活動や当館の理念を併せて伝えることで、美術館のブランドイメージ向上に寄与した。

※63－65頁を参照。

5．調査研究・研修受入等

5－1　調査研究

令和2年度中に当館職員が行った、館外での主な活動および執筆・寄稿等は下記のとおりである。

●田中豊稲
＜館外での活動＞
・静岡市文化振興審議会委員
・文化庁美術品国家補償制度部会部会長
・三保生涯学習交流館「美術鑑賞講座」講師（11月4日）

●以倉新
＜館外での活動＞
・葵生涯学習センター「こどもの笑顔写真コンテスト」審査会審査員（8月12日）
・浜松市美術館資料審査会　美術資料審査員（10月14日）
・静岡県立美術館　収集作品価格評価委員（11月25日）
・「めぐるりアート静岡」企画運営
・静岡市主催開館10周年記念事業企画運営
＜展覧会カタログ等編集・執筆＞
・「めぐるりアート静岡2020」記録集編集、作家紹介「占部史人の作品について」「岩野勝人さんとヒロバの５年間」「日詰明男の黄金比のカタチとヒロバ」「ワタリドリ、ふたたび」「「めぐるりアート静岡」で大切にしたこと。」執筆。

●山本香瑞子
＜展覧会カタログ等編集・執筆＞
・「ミュシャと日本、日本とオルリク」カタログ編集、作家解説・作品解説執筆。

●髙橋哲也
＜館外での活動＞
・静岡県博物館協会事業推進グループ委員
＜展覧会カタログ等編集・執筆＞
・「絵本画家・赤羽末吉展」カタログ編集。

●太田紗世
＜館外での活動＞
・浜松市楽器博物館親子ワークショップ「オリジナルの色紙で馬頭琴を描こう！」講師（11月22日）
＜展覧会カタログ等編集・執筆＞
・「絵本画家・赤羽末吉展」カタログ編集。

●伊藤鮎
＜館外での活動＞
・静岡市主催開館10周年記念事業企画運営

●大石沙織
＜展覧会カタログ等編集・執筆＞
・「東海道の美 駿河への旅」カタログ企画・構成、論考「東海道図屏風におけるマッケンジー本の位置付け」執筆、各章・節・作品解説執筆、関連年表・絵師生没年表編集。
＜雑誌・新聞等寄稿＞
・大石沙織「蓋石に高価な花崗岩 古代エジプト展 見どころ紹介1」『中日新聞』静岡版、2月2日。
・大石沙織「来世への旅を手引き 古代エジプト展 見どころ紹介2」『中日新聞』静岡版、2月3日。
・大石沙織「10点を立てて細部鑑賞を 古代エジプト展 見どころ紹介3」『中日新聞』静岡版、2月4日。
・大石沙織「ミイラとCTスキャン映像　傷つけずに謎を解く 古代エジプト展 見どころ紹介4」『中日新聞』静岡版、2月6日。

●安岡真理
＜館外での活動＞
・静岡大学「教科指導論（美術・後期）」講師（10月28日）
・浜松市楽器博物館親子ワークショップ「オリジナルの色紙で馬頭琴を描こう！」講師（11月22日）
＜研究発表・論文等＞
・「赤羽末吉の見た色」『赤羽末吉 絵本への一本道』平凡社、2020年5月、46-47頁。
・発表：「赤羽末吉展について」（2020しずとしょフェスタ）静岡市立中央図書館、9月27日。
・発表：「展覧会ができるまで（赤羽末吉展を参考に）」（美術科教育法Ⅳ・後期）静岡大学、10月24日。（図画工作科教育法Ⅰ・後期）静岡大学、10月25日。
＜展覧会カタログ等編集・執筆＞
・「絵本画家・赤羽末吉展」カタログ編集、解説執筆。

●軍司しずか
＜館外での活動＞
・「めぐるりアート静岡」企画運営
＜展覧会カタログ等編集・執筆＞
・「めぐるりアート静岡2020」記録集編集。

◆教育普及プログラム企画・制作（担当：太田・安岡）
・「プレゼントワークショップ」（計1種）
vol.32「クリスマスの準備をしよう！」
その他ワークショップは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

5－2　博物館実習

以下の要領で学芸員資格取得を目指す学生を対象に博物館実習を行った。

対象：博物館法施行規則第一条に定められた博物館に関する科目の単位を履修済みまたは履修中で、以下の要件を満たす者。ただし学芸員資格を既に取得済みの者は除く。
①美学・美術史または美術教育専攻であること。(美術館で研修する理由がある者)
②静岡県内在学者もしくは県内に帰省先があること。　③パソコンのメールアドレスを持っていること。(携帯メールは不可)
④学部3年生以上であること。(4年生を優先する)
実習期間：10月10日(土)、17日(土)、24日(土)、31日(土)、11月7日(土)　計5日間
実習場所：当館、東静岡アート＆スポーツ/ヒロバ、小梳神社
受入大学・人数：女子美術大学、静岡大学、大阪芸術大学　計3大学3人

実習日	時　間	実　施　内　容
10月10日(土)	10:10－11:00	ガイダンス・職員紹介・施設案内 静岡市美術館の特色について(講義)
	11:10－12:00	自記温湿度計の取り扱い・収蔵庫見学、虫菌害防除について(実習)
	13:00－14:50	開催中展覧会・関連イベント(絵本読み聞かせ)の見学
	15:00－15:50	展覧会のつくり方＜展覧会ができるまでの流れ、現代美術の展示など＞(講義)
17日(土)	13:00－15:50	めぐるりアート静岡2020岩野勝人ワークショップ見学・参加者対応(実習) ※於：東静岡アート＆スポーツ/ヒロバ
24日(土)	13:00－13:50	静岡市美術館の教育普及活動について(講義)
	14:00－14:50	静岡市美術館の広報活動について(講義)
	15:00－16:30	収蔵庫内の清掃＜収納棚アルコール消毒＞(実習)
	16:40－19:00	赤羽展関連事業 影絵準備・来場者対応・見学(実習)※於：小梳神社
31日(土)	10:10－11:00	美術品の展示・保存環境について(講義)
	11:10－12:00	日本美術の調査と展示＜作品調査の実際、日本美術の展示など＞(講義)
	13:00－14:50	美術品(掛軸・巻子)の取扱いと点検・調書作成について(実習)
	15:00－15:50	収蔵庫内の清掃＜収納棚アルコール消毒＞(実習)
11月 7日(土)	10:10－11:00	開催中の展覧会について＜展示演出、関連事業の立案など＞(講義)
	11:10－12:00	館長講話(講義)
	14:00－15:50	「これまでの実習で学んだこと」(実習生による発表)

5－3　視察等受入

令和2年度は、視察等受入を行わなかった。

6．収蔵品・図書等

6－1　収蔵品貸出

1) 特別展「舞妓モダン」
会期：10月6日（火）－11月29日（日）
会場（所在地）：京都文化博物館（京都府京都市）
貸出内容：志田コレクションより
竹久夢二　《鴨東夜花》（日本画）、屏風《紫色の春の夜の》（日本画）、《中山晋平作曲全集　目次（七夕）》（版画）　計3点

2)「竹久夢二の美人画とモダンデザイン―美しいもの・可愛いもの―」
会期：1月23日（土）－3月21日（日）
会場（所在地）：群馬県立館林美術館（群馬県館林市）
貸出内容：志田コレクションより

種別	題名	種別	題名
書籍	《『中学世界』夏季増刊「青年傑作集」》	書籍	《春の鳥》
日本画	《木に寄る女》	〃	《山へよする》
〃	《草に憩う女》	〃	《青い小径》
〃	《時雨の炬燵・小春》	〃	《夢二画手本　一》
水彩	《羽衣（セノオ楽譜原画）》	〃	《夢二画手本　二》
版画	《セノオ楽譜３３８番　　草の夢》	〃	《夢二画手本　三》
書籍	《夢二画集　秋の巻》	〃	《夢二画手本　四》
〃	《夢二画集　冬の巻》	〃	《どんたく絵本一》
〃	《夢二画集　花の巻》	〃	《恋愛秘語》
〃	《夢二画集　野に山に》	〃	《凧》
〃	《夢二画集　都会の巻》	〃	《春》
〃	《コドモのスケッチ帖　活動写真にて》	〃	《夢二抒情画選集上巻》
〃	《桜さく嶋　春のかはたれ》	〃	《夢二抒情画選集下巻》
〃	《桜さく島　見知らぬ世界》	〃	《春のおくりもの》
〃	《画集昼夜帯》	版画	《中山晋平作曲全集　　出船の港》
〃	《どんたく》	〃	《中山晋平作曲全集　　鉾ををさめて》
〃	《夢二繪手本》	〃	《中山晋平作曲全集　　マノン・レスコオの唄》
〃	《草画》	〃	《中山晋平作曲全集　　雀おどり》
〃	《縮刷夢二画集》	〃	《中山晋平作曲全集　　椿》
〃	《草の実》	〃	《中山晋平作曲全集　　毬と殿さま》
〃	《絵入歌集》	〃	《中山晋平作曲全集　　東京行進曲》
〃	《小夜曲》	〃	《中山晋平作曲全集　　空飛ぶ鳥》
〃	《ねむの木》		計38件45点

6－2　画像貸出

1) 特別展「舞妓モダン」関連グッズ
貸出画像：竹久夢二《鴨東夜花》
発行者：株式会社大伸社（ライブアートブックス）
体裁：絵はがき、一口ようかん包装紙
発行日：令和2年（2020年）10月

2) 岩槻人形博物館　特別展『子供展（仮称）』広報印刷物及びホームページ並びに取材・報道等による記事・映像等
貸出画像：平田郷陽《桃太郎》、《泣く子》、《朝霜》、《抱擁》　計4点
（いずれも静岡アートギャラリー平成13年度展覧会「人間国宝 平田郷陽の衣裳人形」図録所収作品画像）
発行者：岩槻人形博物館
体裁：ポスター、チラシ
発行日：令和2年（2020年）10月

6－3　図書等

令和2年度図書等受入数

	購入	寄贈	合計
カタログ	3冊	253冊	256冊
雑誌	317冊	69冊	386冊
一般図書・その他	16冊	343冊	359冊
合計	336冊	665冊	1,001冊

7．広報活動

7－1　広報制作物

1)年間スケジュール

令和2(2020)年度展覧会スケジュールを下記のとおり制作し、ウェブサイトに掲載した。

＜仕様＞紙：AライトスタッフGA-FS 110kg（日本語版）、A2マット 110k（英語版）
　　サイズ・数量：210×396mm（仕上 210×99mm）　45,000部(日本語版)、500部(英語版)
　　加工：観音折り(四つ折り)加工
　　印刷：オフセット印刷(日本語版)、オンデマンド印刷(英語版)

◆日本語版年間スケジュール

表紙

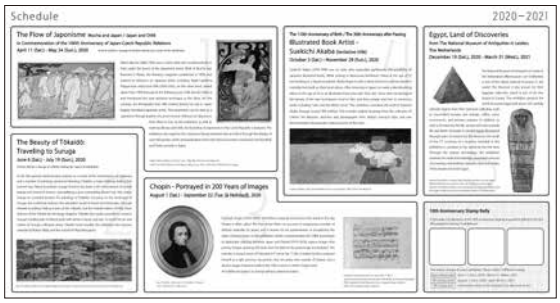
表面

中面

◆英語版年間スケジュール

表紙

表面


中面

2)ワークショップシリーズ年間スケジュール

令和2(2020)年度ワークショップシリーズ年間スケジュールを下記のとおり制作した。

＜仕様＞紙：片艶晒クラフト(キャピタルラップ) 86kg
　　サイズ・数量：A4(仕上A5)　20,000部
　　加工：二つ折り加工

表紙

表面

中面

7－2　ウェブサイト

展覧会情報を中心に、関連イベントの情報や施設概要、ショップ情報についても掲載。ブログ、Twitter、Instagramも開設し、常にタイムリーな情報発信を行っている。2020年5月にホームページをリニューアルした。スマートフォンやタブレットなど様々なデバイスに対応させたほか、展覧会やイベントのアーカイブ機能を充実させた。

ウェブサイト構成：（https://www.shizubi.jp）

●展覧会　　・開催中の展覧会　・これからの展覧会
　　・年間スケジュール　・展覧会アーカイブ
●イベント　　・これからのイベント
　　・ワークショップシリーズ年間スケジュール
　　・イベントアーカイブ
●来館案内　　・基本情報・開館カレンダー　・アクセス
　　・駐車場　・ご来館のお客様へ/Q＆A
　　・ショップ＆カフェ　・学校・団体鑑賞
●美術館概要　　・静岡市美術館について
　　・館長挨拶　・施設概要　・ロゴについて
　　・活動記録　・静岡市美術館運営協議会

●その他（リンク）
・ブログ（https://www.shizubi.jp/blog）
・Twitter（https://twitter.com/shizubi_jp）
・Instagram（https://instagram.com/shizubi_jp）
・YouTube（https://www.youtube.com/channel/UCDprmpLHarg33-WQNvyZPAg）

アクセス数：502,832件（1日平均　約1,378件）

パソコン版
ホームページ

スマートフォン版
ホームページ

7－3　施設広報記録

展覧会事業・交流事業以外の美術館施設に関する主な取材記録は下記のとおりである。

1)新聞
・橋爪充「自由な企画魅力「静岡市美」10年」『静岡新聞』（夕刊）、4月22日。
・「静岡市美術館　開館10年　市民が誇れる場所に」『静岡新聞』、4月27日。
・橋爪充「企画展できず悩む文化施設」『静岡新聞』（夕刊）、8月18日。
・「施設紹介」『静岡新聞』、8月23日。
・「ロゴ散歩「シンプル富士山　視点を変えると…」」『朝日新聞』（夕刊）、10月27日。

2)雑誌等
・「施設紹介」『ぴあMOOK　すごい美術展2020』、4月30日。
・大庭千恵子「街の中の広場のような美術館に」『チルチンびと』、7月1日。
・山本香瑞子・太田紗世・安岡真理・岡田牧「施設紹介」『平成29・30年度　博物館等実習及び社会教育実習報告書』1月31日。

3)ウェブサイト（媒体名のみ記載）
「womo」、「ウォーカープラス」、「るるぶ.com」、「知ってる!?宝くじ」、「静岡県観光公式サイト「ハローナビしずおか」」

8．管理運営

8－1　利用者数

1)利用者数(月別)（単位：人）

	展覧会 観覧者	展覧会関連事業 参加者	交流事業 参加者	連携事業・その他の事業 参加者	事業参加者 計	総入館者
4月	578	0	0	2	580	4,823
5月	0	0	0	0	0	0
6月	1,354	0	0	11	1,365	9,209
7月	1,461	0	0	6	1,467	10,222
8月	7,989	72	0	113	8,174	19,532
9月	9,785	55	0	792	10,632	23,027
10月	7,589	614	0	14,179	22,382	18,994
11月	8,607	381	0	10,732	19,720	19,632
12月	5,334	12	51	17	5,414	14,760
1月	15,411	249	0	174	15,834	29,321
2月	20,969	184	0	66	21,219	36,593
3月	30,011	339	0	146	30,496	49,135
計	109,088	1,906	51	26,238	137,283	235,248
月平均	9,091	159	4	2,187	11,440	19,604

2)利用者数　事業別

展覧会名	実施期間	入場者等
日・チェコ交流100周年 ミュシャと日本、日本とオルリク めぐるジャポニスム	4月11日－4月19日 （開館8日間）	578人 （72人/日）
静岡市所蔵品　特集展示 見るよろこび：東海道図屏風・竹久夢二を中心に	6月17日－7月19日 （開館29日間）	2,815人 （97人/日）
日本・ポーランド国交樹立100周年記念 ショパン－200年の肖像	8月1日－9月22日 （開館47日間）	17,774人 （378人/日）
静岡市美術館開館10周年記念 生誕110年・没後30年　絵本画家・赤羽末吉展 『スーホの白い馬』はこうして生まれた	10月3日－11月29日 （開館50日間）	16,196人 （324人/日）
静岡市美術館開館10周年記念・中日新聞東海本社40周年記念 ライデン国立古代博物館所蔵　古代エジプト展	12月19日－3月31日 （開館85日間）	71,725人 （844人/日）
展覧会　観覧者　計		109,088人
普及事業参加者 （展覧会関連事業参加者＋交流事業参加者＋連携事業・その他事業参加者）		28,161人
事業参加者　総計　（展覧会観覧者＋普及事業参加者）		137,249人
総入館者数（エントランス入口自動カウンター集計数）	4月1日－3月31日	235,248人

3)利用者数(事業別詳細)

事業区分	事業名	実施時期	入場者等		
			目標値	実績値	達成率
			(人)	(人)	(%)
展覧会事業	展覧会		計5本　109,088人		
	日・チェコ交流100周年 ミュシャと日本　日本とオルリク　めぐるジャポニスム	4/11－19 (計8日間)	15,000	578	3.9%
	静岡市美術館開館10周年記念 東海道の美　駿河への旅	6/6－7/19 (中止)	12,000	中止(延期)	－
	静岡市所蔵品　特集展示 見るよろこび：東海道図屏風・竹久夢二を中心に	6/17－7/19 (計29日間)	－	2,815	－
	2020しずおか文化プロジェクト　日本・ポーランド国交樹立100周年記念 ショパン－200年の肖像	8/1－9/22 (計47日間)	18,000	17,774	98.7%
	静岡市美術館開館10周年記念 生誕110年・没後30年　絵本画家・赤羽末吉展 『スーホの白い馬』はこうして生まれた	10/3－11/29 (計50日間)	35,000	16,196	46.3%
	静岡市美術館開館10周年記念・中日新聞東海本社40周年記念 ライデン国立古代博物館所蔵　古代エジプト展	12/19－3/31 (計85日間)	55,000	71,725	130.4%
展覧会関連事業	ミュージアム教室		計1,186人(42団体/42回)		
	ミュージアム教室(めぐるジャポニスム展)	4/11－5/24 (中止)	中止		
	ミュージアム教室(見るよろこび展)	6/17－7/19 (中止)	中止		
	ミュージアム教室(ショパン展)	8/1－9/22 (全6回)	84(6団体/6回)		
	ミュージアム教室(赤羽末吉展)	10/3－11/29 (全15回)	529(15団体/15回)		
	ミュージアム教室(古代エジプト展)	12/19－3/31 (全21回)	573(21団体/21回)		
	その他展示解説		計88人(5団体/5回)		
	展示解説(めぐるジャポニスム展)	4/11－5/24 (中止)	中止		
	展示解説(見るよろこび展)	6/17－7/19 (中止)	中止		
	展示解説(ショパン展)	8/1－9/22 (0回)	0		
	展示解説(赤羽末吉展)	10/3－11/29 (全3回)	32(3団体/3回)		
	展示解説(古代エジプト展)	12/19－3/31 (全2回)	56(2団体/2回)		
	日・チェコ交流100周年 ミュシャと日本　日本とオルリク　めぐるジャポニスム				
	講演会「ああ、我が日の出る国ーチェコ文学におけるジャポニスムー」	4/18 (中止)	70	中止	－
	当館学芸員によるギャラリートーク	4/25、5/16 (中止)	－	中止	－
	静岡市美術館開館10周年記念 東海道の美　駿河への旅				
	講演会①「描かれた東海道の名所と宿場」	6/13 (中止)	70	中止	－
	講演会②「駿河の名物と江戸文芸」	7/4 (中止)	70	中止	－
	ウォークツアー「東海道・府中宿を歩こう!」	6/27 (中止)	100	中止	－
	当館学芸員によるスライドトーク	6/20、7/11 (中止)	－	中止	－
	日本・ポーランド国交樹立100周年記念 ショパンー200年の肖像		計1本　43人		
	講演会「ショパン－その生い立ちと人となり」	8/29	50	43	86.0%
	静岡・音楽館×科学館×美術館 共同事業 2020しずおか文化プロジェクト 静岡・室内楽フェスティバル2020 ミュージアム・コンサート「ショパンの時代の楽器で聴く」	9/13 (中止)	50	中止	－

事業区分	事業名	実施時期	入場者等		
			目標値（人）	実績値（人）	達成率（%）
展覧会関連事業	2020しずおか文化プロジェクト ピアノ解体ショー～ピアノの中ってどんな風になってるの? ～	8/18	※静岡・音楽館×科学館×美術館 共同事業に記載		
	2020しずおか文化プロジェクト 講演会「作曲家入門　F. ショパン」(藁科生涯学習センター)	9/12			
	2020しずおか文化プロジェクト 講演会「作曲家入門　F. ショパン」(葵生涯学習センター)	9/16			
	2020しずおか文化プロジェクト 小菅優(ピアノ)&石坂団十郎(チェロ) デュオ・リサイタル ※7/4から延期	10/3 (中止)	※静岡・音楽館×科学館×美術館 共同事業に記載		
	2020しずおか文化プロジェクト 静岡音楽館・葵生涯学習センター連携事業 講演会「作曲家入門　F. ショパン」(静岡音楽館)	6/19	※静岡音楽館・葵生涯学習センター連携事業に記載		
	2020しずおか文化プロジェクト 静岡市生涯学習センター全館連携コンサート事業	5/24－11/21 (全5回)	※静岡市生涯学習センター全館連携コンサート事業に記載		
	静岡市美術館開館10周年記念 生誕110年・没後30年　絵本画家・赤羽末吉展　『スーホの白い馬』はこうして生まれた		計4本　434人		
	講演会「『スーホの白い馬』の舞台: 現代モンゴルの歴史と文化」	10/18 (中止)	50	中止	－
	「影絵“皮影戯(ピーインシー)”上演会」	10/24	30	110	366.7%
	講演会(対談)　「江戸っ子のふたり?赤羽末吉と大塚勇三」	11/15	50	49	98.0%
	当館学芸員によるスライドトーク	11/3	50	30	60.0%
	「絵本をたのしむおはなし会」	10/10－11/14(全6回)	300	245	81.7%
	静岡・音楽館×科学館×美術館 共同事業 ミュージアム・コンサート「馬頭琴とホーミーによるモンゴル民族音楽　『スーホの白い馬』の故郷からの風」	10/11(中止)	50	中止	－
	静岡市美術館開館10周年記念・中日新聞東海本社40周年記念 ライデン国立古代博物館所蔵　古代エジプト展		計2本　155人		
	講演会「棺とミイラから読み解く古代エジプト文明」	1/30	50	40	80.0%
	「古代エジプト展を”100倍”楽しむ!オンラインミュージアム」	2/26	100	115	115.0%
交流事業	**「静岡市美術館開館10周年記念」事業**		計1本　37人		
	鈴木康広　まばたきの葉|未来の待ち合わせ場所	4/21－5/10 (中止)	－	中止(延期)	－
	「鈴木康広　まばたきの葉|未来の待ち合わせ場所」 アーティストトーク	4/29 (中止)	70	中止(延期)	－
	参加型公開制作「柿木原さんとタイルで美術館のロゴマークをつくろう!」	5/6 (中止)	－	中止(延期)	－
	静岡市美術館10周年記念事業広報活用業務 しずびショートムービー完成記念トークイベント	12/13	－	37	－
	Shizubiシネマアワー				
	Shizubiシネマアワー vol.26「チェコのアニメーション」 ①『極上の人形アニメの世界』	5/2 (中止)	70	中止	－
	Shizubiシネマアワー vol.26「チェコのアニメーション」 ②『かわいいチェコアニメの世界』	5/3 (中止)	70	中止	－
	しずびオープンアトリエ				
	2020しずおか文化プロジェクト 「ショパン―200年の肖像」	8/10－8/23 (中止)	130	中止	－
	「ライデン国立古代博物館所蔵　古代エジプト展」	2/13－3/14 (中止)	240	中止	－
	2020しずおか文化プロジェクト しずびチビッこプログラム				
	「ショパン―200年の肖像」	8/29 (中止)	20	中止	－
	「絵本画家・赤羽末吉展」	11/23 (中止)	20	中止	－
	「ライデン国立古代博物館所蔵　古代エジプト展」	未定 (中止)	20	中止	－
	2020しずおか文化プロジェクト 暦とあそぶワークショップ				
	vol.19「ひな祭りの準備をしよう!」	2/23 (中止)	20	中止	－
	2020しずおか文化プロジェクト プレゼントワークショップ		計1本　14人		

事業区分	事業名	実施時期	入場者等		
			目標値	実績値	達成率
			（人）	（人）	（%）
交流事業	静岡市美術館開館10周年記念vol.30 「母の日だ!親子でプレゼントをつくろう」	5/9 （中止）	20	中止	−
	静岡市美術館開館10周年記念vol.31 「父の日だ!親子でプレゼントをつくろう」	6/20 （中止）	20	中止	−
	vol.32「クリスマスの準備をしよう!」	12/12	15	14	93.3%
	その他交流事業				
	夜店市	8/14－8/16（中止）	−	中止	−
連携事業	めぐるりアート静岡		計10本　24,990人		
	ワタリドリ計画	10/20－11/8 （計18日間）	−	14,024	−
	アーティストトーク（ワタリドリ計画）	10/20	20	13	65.0%
	プレ展示　占部史人	9/19－10/11 （計23日間）	−	745	−
	アーティストトーク（占部史人）	9/27	20	30	150.0%
	岩野勝人	10/17－11/8 （計23日間）	−	4,970	−
	アーティストトーク（岩野勝人）	10/17	20	6	30.0%
	岩野勝人　ワークショップ 平面から立体へ「くもならべ」part2	10/17、10/18	20	23	115.0%
	日詰明男	10/17－11/8 （計23日間）	−	4,970	−
	日詰明男　公開制作	10/18、10/19	−	174	−
	アーティストトーク（日詰明男）	11/1	20	35	175.0%
	■生涯学習センターとの連携事業				
	展示解説付き講座		計2本		
	駿河生涯学習センター 来・て・こ女性サロン	11/21	※その他展示解説に含む		
	南部勤労者福祉センター 活力アップ講座～リラックスタイム～	11/21	※その他展示解説に含む		
	しずび出前講座（講義）※当館学芸員が講師として参画		計8本　222人		
	北部生涯学習センター 「ミュシャとオルリクと日本」	4/17、4/24 （中止）	30	中止	−
	大里生涯学習センター 「大里心の乙女塾～女性のための教養講座～」 「静岡でめぐる現代美術　めぐるりアート静岡などを中心に」 ※5/13から延期	10/14	50	31	62.0%
	西奈生涯学習センター 「作品から辿る赤羽末吉の生涯」	10/20、10/27 （全2回）	20	18	90.0%
	藁科生涯学習センター 「絵本画家・赤羽末吉の魅力に迫る」	10/29、11/5 （全2回）	15	22	146.7%
	南部生涯学習センター 「日本画の巨匠と名作－その理由をひもとく」	11/13	30	16	53.3%
	西部生涯学習センター 「武将が愛した名刀」　※7/5から延期	11/21	30	34	113.3%
	高齢者学級みのり大学東部学級 「ルネサンスの女性像」　※8/25から延期	1/12、1/26 （全2回）	100	45	45.0%
	高齢者学級みのり大学西部学級 「日本画と写生－竹内栖鳳を中心に」	1/21、2/4 （全2回）	100	36	36.0%
	南部生涯学習センター 「国宝の名刀」　※5/22から延期	1/22	30	20	66.7%
	静岡・音楽館×科学館×美術館　共同事業（三館共同事業）		計5本　119人		
	2020しずおか文化プロジェクト ピアノ解体ショー～ピアノの中ってどんな風になってるの?～	8/18	50	43	86.0%
	2020しずおか文化プロジェクト 講演会「作曲家入門　F.ショパン」（静岡音楽館）	6/19	10	9	90.0%
	2020しずおか文化プロジェクト 講演会「作曲家入門　F. ショパン」（藁科生涯学習センター）	9/12	20	14	70.0%
	2020しずおか文化プロジェクト 講演会「作曲家入門　F. ショパン」（葵生涯学習センター）	9/16	30	24	80.0%
	2020しずおか文化プロジェクト 静岡・室内楽フェスティバル2020 ミュージアム・コンサート「ショパンの時代の楽器で聴く」	9/13 （中止）	※展覧会関連事業に記載		

事業区分	事業名	実施時期	入場者等		
			目標値	実績値	達成率
			（人）	（人）	（%）
連携事業	2020しずおか文化プロジェクト 小菅優（ピアノ）&石坂団十郎（チェロ）デュオ・リサイタル ※7/4から延期	10/3 （中止）	480	中止	－
	ミュージアム・コンサート「馬頭琴とホーミーによるモンゴル民族音楽　『スーホの白い馬』の故郷からの風」	10/11 （中止）	※展覧会関連事業に記載		
	サイエンスカフェ 「古代の人々の顔を蘇らせる！復顔師の仕事」	3/20	30	29	96.7%
	2020しずおか文化プロジェクト **静岡市生涯学習センター全館連携コンサート事業**		計5本　308人		
	ショパン～生涯の旅～（西部生涯学習センター）	5/24 （中止）	60	中止	－
	ショパン～生涯の旅～（南部生涯学習センター）	6/7 （中止）	100	中止	－
	ショパン～生涯の旅～（藁科生涯学習センター）	6/21 （中止）	160	中止	－
	ショパン～生涯の旅～（大里生涯学習センター）	7/25 （中止）	60	中止	－
	ショパン～生涯の旅～（西奈生涯学習センター）	8/2 （中止）	160	中止	－
	ショパン～生涯の旅～（東部生涯学習センター）	8/9 （中止）	50	中止	－
	ショパン～生涯の旅～（長田生涯学習センター）	9/6	60	60	100.0%
	ショパン～生涯の旅～（北部生涯学習センター）	9/19	60	58	96.7%
	ショパン～生涯の旅～（美和生涯学習センター）	10/10	50	42	84.0%
	ショパン～生涯の旅～（駿河生涯学習センター）	10/24	70	55	78.6%
	ショパン～生涯の旅～　ファミリーコンサート（葵生涯学習センター）	11/21	100	93	93.0%
	2020しずおか文化プロジェクト				
	2020しずおか文化プロジェクト　日本・ポーランド国交樹立100周年記念 ショパン－200年の肖像	8/1－9/22 （計47日間）	※展覧会事業に記載		
	しずびオープンアトリエ	8/10－23、2/13－3/14 （中止）	※交流事業に記載		
	しずびチビッこプログラム	8/29、11/23 （中止）	※交流事業に記載		
	暦とあそぶワークショップ	2/23 （中止）	※交流事業に記載		
	プレゼントワークショップ	5/9、6/20（中止）、 12/12（計1日間）	※交流事業に記載		
	静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業	9/13、10/3、10/11 （中止） 8/18、9/12、9/16、 3/20（計4日間）	※別項に記載		
	静岡音楽館・葵生涯学習センター連携事業	6/19 （計1日間）	※別項に記載		
	静岡市生涯学習センター全館連携コンサート事業	5/24、6/7、6/21、 7/25、8/2、8/9（中止） 9/6、9/19、10/10、 10/24、11/21（計5日間）	※別項に記載		
	その他連携事業		計1本　596人		
	Kids Art Project Shizuoka	4/1－3/31	－	596	－
その他事業	**その他事業**		計3本　3人		
	静岡市文化活動振興事業 竹久夢二作品等展覧会　※「見るよろこび」展と併催	6/17－7/19 （計29日間）	－	－	－
	静岡市文化活動振興事業 静岡市清水文化会館マリナート常設展示 「平野富山－清水が生んだ彩色木彫の名匠」 【第1期】現代的作品－初期から晩年まで 【第2期】動物－富山と同時代の作家 【第3期】能楽の世界	【第1期】7月－10月 【第2期】11月－ 2月 【第3期】3月－ 6月	－	－	－
	博物館実習	10/10－11/7 （計5日間）	5	3	60.0%
		計	138,885	137,283	98.8%

8－2　過去展覧会一覧

	展覧会名	会期	観覧者数
●平成22（2010）年度		計3本　132日	93,654人
1	開館記念展＜Ⅰ＞ ポーラ美術館コレクション展　印象派とエコール・ド・パリ	10月2日（土）－11月28日（日） ＜開館51日間＞	38,695人 （759人/日）
2	開館記念展＜Ⅱ＞・NHK静岡放送局開局80周年記念 家康と慶喜－徳川家と静岡	12月11日（土）－1月30日（日） ＜開館42日間＞	34,424人 （820人/日）
3	開館記念展＜Ⅲ＞ 棟方志功　祈りと旅	2月11日（金・祝）－3月27日（日） ＜開館39日間＞	20,535人 （527人/日）
●平成23（2011）年度		計5本　261日	131,904人
1	ハンス・コパー展－20世紀陶芸の革新	4月9日（土）－6月26日（日） ＜開館69日間＞	16,395人 （238人/日）
2	没後150年　歌川国芳展	7月9日（土）－8月21日（日） ＜開館38日間＞ ※前期：7月9日（土）－31日（日） 後期：8月2日（火）－21日（日）	30,404人 （801人/日）
3	開館1周年記念展＜Ⅰ＞・NHK静岡放送局開局80周年記念 アルプスの画家　セガンティーニ　－光と山－	9月3日（土）－10月23日（日） ＜開館44日間＞	17,806人 （405人/日）
4	開館1周年記念展＜Ⅱ＞ レオナルド・ダ・ヴィンチ　美の理想	11月3日（木・祝）－12月25日（日） ＜開館46日間＞	53,136人 （1,156人/日）
5	竹久夢二と静岡ゆかりの美術 （前期：中川雄太郎と静岡の創作版画の世界 後期：平野富山“彩色木彫”の美）	1月7日（土）－3月25日（日） ＜開館64日間＞ ※前期：1月 7日（土）－2月12日（日） 後期：2月18日（土）－3月25日（日）	14,163人 （222人/日）
●平成24（2012）年度		計6本　258日	100,860人
1	森村泰昌モリエンナーレ　まねぶ美術史	4月7日（土）－6月10日（日） ＜開館57日間＞	7,976人 （140人/日）
2	静岡音楽館AOI×静岡科学館る・く・る×静岡市美術館共同事業 七夕の美術－日本近世・近代の美術工芸にみる	6月23日（土）－8月19日（日） ＜開館51日間＞ ※前期：6月23日（土）－7月22日（日） 後期：7月24日（火）－8月19日（日）	10,927人 （214人/日）
3	フィンランドのくらしとデザイン－ムーミンが住む森の生活	9月1日（土）－10月8日（月・祝） ＜開館38日間＞	41,258人 （1,086人/日）
4	ストラスブール美術館展　モダンアートへの招待	10月27日（土）－12月16日（日） ＜開館44 日間＞	12,016人 （273人/日）
5	滋賀県立琵琶湖文化館が守り伝える美 近江巡礼　祈りの至宝展	1月2日（水）－2月11日（月・祝） ＜開館36 日間＞ ※前期：1月 2日（水）－1月20日（日） 後期：1月22日（火）－2月11日（月・祝）	11,256人 （313人/日）
6	新美南吉生誕100年　ごんぎつねの世界	2月23日（土）－3月31日（日） ＜開館32日間＞	17,427人 （545人/日）
●平成25（2013）年度		計5本　260日	156,594人
1	藤田嗣治　渡仏100周年記念 レオナール・フジタとパリ	4月20日（土）－6月23日（日） ＜開館57日間＞	22,451人 （394人/日）
2	静岡朝日テレビ　開局35周年記念 オディロン・ルドン　夢の起源　幻想のふるさと、ボルドーから	6月29日（土）－8月25日（日） ＜開館51日間＞	16,907人 （332人/日）
3	はじめての美術　絵本原画の世界2013	9月14日（土）－10月27日（日） ＜開館38日間＞	44,385人 （1,168人/日）
4	徳川家康公顕彰四百年記念事業 没後100年　徳川慶喜	11月2日（土）－12月15日（日） ＜開館38日間＞ ※前期：11月 2日（土）－11月24日（日） 後期：11月26日（火）－12月15日（日）	15,260人 （402人/日）
5	テレビ静岡開局45周年記念　シャガール展	1月2日（木）－3月30日（日） ＜開館76日間＞	57,591人 （758人/日）

	展覧会名	会期	観覧者数
●平成26（2014）年度		計6本　254日	155,030人
1	巨匠の眼　川端康成と東山魁夷	4月12日（土）－6月1日（日） ＜開館44日間＞	15,477人 （352人/日）
2	読売新聞創刊140周年記念・静岡第一テレビ開局35周年 法隆寺展－聖徳太子と平和への祈り－	6月14日（土）－7月27日（日） ＜開館38日間＞	26,566人 （699人/日）
3	日本のアニメーション美術の創造者 山本二三展 ～天空の城、火垂るの墓、時をかける少女～	8月4日（月）－9月23日（火・祝） ＜開館48日間＞	66,773人 （1,391人/日）
4	徳川家康公顕彰四百年記念事業・静岡市文化振興財団設立20周年記念事業 国宝・久能山東照宮展－家康と静岡ゆかりの名宝	10月4日（土）－11月24日（月・祝） ＜開館45日間＞	20,353人 （452人/日）
5	ロイヤル・アカデミー展　イギリス美術の華麗なる150年	12月6日（土）－1月25日（日） ＜開館41日間＞	16,034人 （391人/日）
6	没後100年　小林清親展　文明開化の光と影をみつめて	2月7日（土）－3月22日（日） ＜開館38日間＞	9,827人 （259人/日）
●平成27（2015）年度		計6本　254日	155,806人
1	静岡市美術館開館5周年記念 大原美術館展　名画への旅	4月18日（土）－5月31日（日） ＜開館39日間＞	32,133人 （824人/日）
2	青磁のいま－受け継がれた技と美　南宋から現代まで	6月13日（土）－8月16日（日） ＜開館56日間＞	13,907人 （248人/日）
3	錦絵誕生250年　フィラデルフィア美術館浮世絵名品展 春信一番！写楽二番！	8月23日（日）－9月27日（日） ＜開館36日間＞	16,475人 （458人/日）
4	静岡市美術館開館5周年記念 ちひろ美術館　世界の絵本原画コレクション展　絵本をひらくと	10月10日（土）－11月23日（月・祝） ＜開館39日間＞	41,836人 （1,073人/日）
5	静岡市美術館開館5周年記念 静岡市立芹沢銈介美術館・静岡市美術館共同企画 芹沢銈介生誕120年記念展　しあわせの色　たのしい模様	12月5日（土）－1月11日（月・祝） ＜開館27日間＞	7,502人 （278人/日）
6	スター・ウォーズ展　未来へつづく、創造のビジョン。	1月23日（土）－3月27日（日） ＜開館57日間＞	43,953人 （771人/日）
●平成28（2016）年度		計6本　254日	167,547人
1	没後20年　ルーシー・リー展	4月9日（土）－5月29日（日） ＜開館45日間＞	17,157人 （381人/日）
2	伊豆市所蔵近代日本画コレクション展 大観・靫彦・龍子らと修善寺	6月7日（火）－7月10日（日） ＜開館30日間＞	6,592人 （220人/日）
3	エッシャーの世界	7月17日（日）－8月28日（日） ＜開館37日間＞	36,297人 （981人/日）
4	ランス美術館展　美しきフランス　バロックからフジタへ	9月10日（土）－10月30日（日） ＜開館45日間＞	16,154人 （359人/日）
5	高畑・宮崎アニメの秘密がわかる。　スタジオジブリ・レイアウト展	11月19日（土）－2月5日（日） ＜開館65日間＞	79,378人 （1,221人/日）
6	夢二と京都の日本画	2月18日（土）－3月26日（日） ＜開館32日間＞	11,969人 （374人/日）
●平成29（2017）年度		計5本　244日	111,594人
1	アルバレス・ブラボ写真展 －メキシコ、静かなる光と時	4月8日（土）－5月28日（日） ＜開館45日間＞	6,668人 （148人/日）
2	没後150年　坂本龍馬	7月1日（土）－8月27日（日） ＜開館51日間＞	50,397人 （988人/日）
3	日本・デンマーク外交関係樹立150周年記念 デンマーク・デザイン	9月9日（土）－11月12日（日） ＜開館56日間＞	16,965人 （303人/日）
4	ウェールズ国立美術館所蔵 ターナーからモネへ	11月23日（木・祝）－1月28日（日） ＜開館54日間＞	25,503人 （472人/日）
5	白隠禅師250年遠諱記念展 駿河の白隠さん	2月10日（土）－3月25日（日） ＜開館38日間＞	12,061人 （317人/日）

	展覧会名	会期	観覧者数
●平成30（2018）年度		計5本　258日	83,257人
1	いつだって猫展	4月7日（土）－5月20日（日） ＜開館39日間＞	18,404人 （472人/日）
2	ミュシャ展　～運命の女たち～	6月2日（土）－7月15日（日） ＜開館38日間＞	28,579人 （752人/日）
3	ヴラマンク展　絵画と言葉で紡ぐ人生	7月28日（土）－9月24日（月・祝） ＜開館51日間＞	10,871人 （213人/日）
4	テレビ静岡開局50周年記念 フランス宮廷の磁器　セーヴル、創造の300年	10月6日（土）－12月16日（日） ＜開館62日間＞	15,262人 （246人/日）
5	起点としての80年代	1月5日（土）－3月24日（日） ＜開館68日間＞	10,141人 （149人/日）
●平成31/令和元（2019）年度		計5本　258日	105,481人
1	小倉遊亀と院展の画家たち展　滋賀県立近代美術館所蔵作品による	4月6日（土）－5月26日（日） ＜開館44日間＞	12,009人 （273人/日）
2	オーバリン大学アレン・メモリアル美術館所蔵 メアリー・エインズワース浮世絵コレクション－初期浮世絵から北斎・広重まで	6月8日（土）－7月28日（日） ＜開館44日間＞	22,589人 （513人/日）
3	印象派への旅　海運王の夢　バレル・コレクション	8月7日（水）－10月20日（日） ＜開館65日間＞	25,461人 （392人/日）
4	Daiichi-TV開局40周年記念 奇蹟の芸術都市バルセロナ展	11月15日（金）－1月19日（日） ＜開館55日間＞	21,895人 （398人/日）
5	不思議の国のアリス展	2月1日（土）－3月29日（日） ＜開館50日間＞	23,527人 （470人/日）
●令和2（2020）年度		計5本　219日	109,088人
1	日・チェコ交流100周年 ミュシャと日本、日本とオルリク めぐるジャポニスム	4月11日（土）－4月19日（日） ＜開館8日間＞	578人 （72人/日）
2	静岡市美術館開館10周年記念 東海道の美　駿河への旅	※延期	－
3	静岡市所蔵品　特集展示 見るよろこび：東海道図屏風・竹久夢二を中心に	6月17日（水）－7月19日（日） ＜開館29日間＞	2,815人 （97人/日）
4	日本・ポーランド国交樹立100周年記念 ショパン―200年の肖像	8月1日（土）－9月22日（火・祝） ＜開館47日間＞	17,774人 （378人/日）
5	静岡市美術館開館10周年記念 生誕110年・没後30年　絵本画家・赤羽末吉展 『スーホの白い馬』はこうして生まれた	10月3日（土）－11月29日（日） ＜開館50日間＞	16,196人 （324人/日）
6	静岡市美術館開館10周年記念・中日新聞東海本社40周年記念 ライデン国立古代博物館所蔵　古代エジプト展	12月19日（土）－3月31日（水） ＜開館85日間＞	71,725人 （844人/日）

8－3　静岡市美術館運営協議会

（公財）静岡市文化振興財団では、当館の事業及び運営について、幅広く意見を求め、長期的かつ総合的展望に立った運営に資することを目的として、平成23年度より静岡市美術館運営協議会を設置している。年2回の開催を基本とし、令和2年度末現在まで計19回開催した。

【静岡市美術館運営協議会委員】（敬称略・50音順）

氏名	肩書
●第1期【平成23年6月19日－平成25年6月18日】	
岩城見一	京都大学名誉教授・前京都国立近代美術館館長
小澤　豊	静岡市校長会（図工美術部会長・観山中学校校長）
織田元泰	元静岡市教育長・元常葉学園大学教授
金子賢治	茨城県陶芸美術館館長
川口良子	合同会社　デザイン・アープ代表CEO
川崎博良	静岡市中央商店街連合会（静岡紺屋町名店街理事長）
金原宏行	豊橋市美術博物館館長
小林　忠	学習院大学名誉教授・前千葉市美術館長
小針由紀隆	静岡県立美術館学芸部長
谷　新	宇都宮美術館館長・美術評論家
●第2期【平成25年6月19日－平成27年6月18日】	
岩城見一	前京都国立近代美術館館長・京都大学名誉教授
小澤　豊	静岡市校長会（図工美術部会長・観山中学校校長）＜～平成26年4月1日＞
織田元泰	元静岡市教育長・元常葉学園大学教授
金子賢治	茨城県陶芸美術館館長
川口良子	合同会社　デザイン・アープ代表CEO
川崎博良	静岡市中央商店街連合会（静岡紺屋町名店街理事長）
金原宏行	豊橋市美術博物館館長
小林　忠	岡田美術館館長・学習院大学名誉教授
小針由紀隆	静岡文化芸術大学教授
谷　新	宇都宮美術館館長・美術評論家
増田安由	静岡市校長会（図工美術部会長・富士見小学校校長）＜平成26年4月2日～＞
●第3期【平成27年6月19日－平成29年6月18日】	
天野一夫	豊田市美術館チーフキュレーター
岩城見一	京都大学名誉教授・前京都国立近代美術館館長
金子賢治	茨城県陶芸美術館館長
川口良子	合同会社　デザイン・アープ代表CEO
金原宏行	豊橋市美術博物館館長
小林忠	岡田美術館館長・学習院大学名誉教授
小針由紀隆	静岡文化芸術大学教授
田中文雄	元静岡県立中央図書館調査課長
服部　功	静岡市中央商店街連合会（静岡紺屋町名店街代表理事）
増田安由	静岡市校長会（図工美術部会長・富士見小学校校長）
●第4期【平成29年6月19日－令和元年6月18日】	
片瀬惠子	静岡市校長会（図工美術部会長・清水庵原小学校校長）
金子賢治	茨城県陶芸美術館館長
川口良子	合同会社　デザイン・アープ代表CEO
金原宏行	前豊橋市美術博物館館長
小勝禮子	美術史家・元栃木県立美術館学芸課長
小針由紀隆	静岡文化芸術大学教授
高松良幸	静岡大学教授
田中文雄	元静岡県立中央図書館調査課長
服部　功	静岡市中央商店街連合会（静岡紺屋町名店街代表理事）
村田眞宏	豊田市美術館館長
●第5期【令和元年6月19日－】	
大石英之	静岡市校長会（図工美術部会長・中田小学校校長）＜～令和2年5月24日＞
川口良子	合同会社　デザイン・アープ代表CEO
金原宏行	前豊橋市美術博物館館長
小勝禮子	美術史家・元栃木県立美術館学芸課長
小針由紀隆	静岡文化芸術大学教授
高松良幸	静岡大学教授
田中文雄	元静岡県立中央図書館調査課長
服部　功	静岡市中央商店街連合会（静岡紺屋町名店街代表理事）
村田眞宏	豊田市美術館館長
入口強志	静岡市校長会（図工美術部副会長・清水両河内中学校教頭）＜令和2年5月25日～＞

※委員の肩書については、各期就任時のものを記載した。

静岡市美術館運営協議会設置要綱

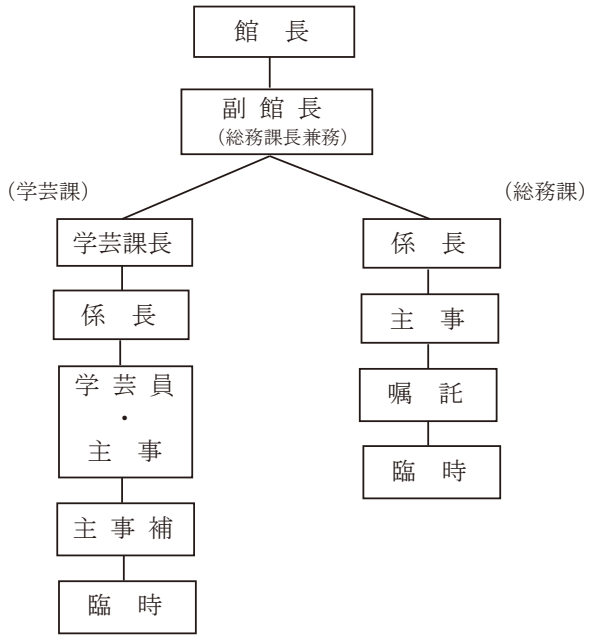
（目的）
第1条　公益財団法人静岡市文化振興財団（以下「当法人」という。）は、静岡市美術館（以下「美術館」という。）の事業及び運営について、幅広く意見を求め、長期的かつ総合的展望に立った運営に資することを目的として、静岡市美術館運営協議会（以下「協議会」という。）を設置する。
（役割）
第2条　協議会は、美術館の運営に関し美術館長（以下「館長」という。）の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べるものとする。
（委員）
第3条　協議会の委員の定数は、10人とする。
2　委員は、当法人の専務理事が選定し、理事長が委嘱する。
3　委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。
4　補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。
5　委員は、任期満了後においても、後任者が就任するまで在任する。
6　委員の氏名等は公表する。
（委員の任期の起算）
第4条　協議会委員の任期は、就任の日から起算する。ただし、任期満了による選任が、任期満了の日前に行われたときは、新たな委員の任期は、前任者の任期満了の日の翌日から起算する。

（委員の辞任）
第5条　委員が辞任しようとするときは、理事長に届け出るものとする。
（会長及び副会長）
第6条　協議会に会長及び副会長を置き、委員会において互選する。
2　会長は、会議の議長となり、協議会の会務を総括する。
3　副会長は、会長を補佐し、会長に事故のあるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。
（会議）
第7条　協議会は、館長からの求めに応じ、会長が随時招集する。
2　委員の辞職又は任期満了に伴い会長及び副会長がともに欠けたときは、館長が協議会を招集する。
3　会長は、協議会を招集しようとするときは、委員に対し、開催日の2週間前までに、書面等により日時、場所及び議題その他必要な事項を通知しなければならない。ただし、委員全員の同意があるときは、この限りではない。
4　協議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。
5　会長は、必要と認めたときは協議会に諮り、関係者に参考人として会議への出席を求め、資料の提供、意見の開陳、説明その他必要な協力を求めることができる。
6　会議当日に会長及び副会長にともに事故があるとき、又は会長及び副会長がともに欠けたときは、あらかじめ会長が指定した委員又は館長が指名した委員がその職務を代理する。
（議事録）
第8条　会議の議事については、その経過の要領及びその結果を記載した議事録を作成するものとする。
2　前項の議事録は館長が保管し、保存年限は当法人文書取扱規程の定めるところによる。
（庶務）
第9条　協議会の事務は、静岡市美術館総務課において処理する。
2　美術館の職員は、協議会その他の事務処理を通じて知り得た事項を他に漏らしてはならない。
（補足）
第10条　この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、協議会において定める。

附　則
この要綱は、平成23年6月19日から施行する。
附　則
この要綱は、平成24年4月1日から施行する。
附　則
この要綱は、平成25年10月30日から施行する。
附　則
この要綱は、平成31年4月1日から施行する。

8－4　組織図・職員名簿

＜組織図＞



＜職員名簿＞（令和2年度）

館　長	田中　豊稲
副館長（総務課長兼務）	矢澤　嘉章
（総務課）	
係　長	村上　真琴
主　事	池ヶ谷　志帆
嘱　託	山本　碧 （－令和2年6月）
臨　時	古川　誠二郎
（学芸課）	
学芸課長	以倉　新（近・現代美術） （－令和2年12月） 山本　香瑞子（日本近代美術） （令和3年1月－）
係　長	山本　香瑞子（日本近代美術） （－令和2年12月）
学芸員	髙橋　哲也（日本美術）
学芸員	小川　かい（西洋美術）
学芸員	太田　紗世（教育普及）
学芸員	伊藤　鮎（西洋美術）
学芸員	大石　沙織（日本美術）
学芸員	安岡　真理（教育普及）
主　事	大庭　千恵子（広報）
主事補	岡田　牧（広報）
主事補	寺﨑　薫（広報）
臨　時	軍司　しずか

8－5　条例・施行規則

○静岡市美術館条例

平成21年7月16日
条例第50号

（設置）
第1条　静岡市は、多様な美術表現を広く市民に公開し、静岡市の特色ある美術文化の創造と発信を行い、及び美術文化の交流を促進することにより、美術に関する市民の知識及び教養の向上を図り、もって市民の美術文化を振興することを目的として、次の施設を設置する。

名称	位置
静岡市美術館	静岡市葵区紺屋町17番地の1

（事業）
第2条　静岡市美術館（以下「美術館」という。）は、次に掲げる事業を行う。
⑴　美術文化に係る展示会の開催に関すること。
⑵　美術文化の教育及び普及に関すること。
⑶　美術文化に係る講演会、講習会等の開催に関すること。
⑷　美術文化に係る調査及び研究に関すること。
⑸　美術文化に係る情報の収集及び提供並びに広報活動に関すること。
⑹　美術作品及び美術に係る資料の収集、保管、展示及び利用に関すること。
⑺　前各号に掲げるもののほか、市長が必要があると認める事業
（開館時間）
第3条　美術館の開館時間は、午前10時から午後7時までとする。ただし、第7条の規定による指定を受けて美術館の管理を行うもの（以下「指定管理者」という。）が特に必要があると認めるときは、市長の承認を得てこれを変更することができる。
（休館日）
第４条　美術館の休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者が特に必要があると認めるときは、市長の承認を得てこれを変更し、又は臨時に休館することができる。
⑴　月曜日（当日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下この号において「休日」という。）に当たるときは、その翌日以降の最初の休日以外の日）
⑵　12月28日から翌年の1月4日までの日
（入館の制限）
第5条　指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するときは、美術館への入館を拒否し、又は美術館からの退館を命ずることができる。
⑴　公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあると認めるとき。
⑵　美術館の管理上支障があると認めるとき。
⑶　前2号に掲げる場合のほか、必要があると認めるとき。
（損害賠償の義務）
第6条　美術館の施設、設備、備品等を損傷し、又は滅失したときは、その損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない理由があると認めるときは、賠償額を減額し、又は免除することができる。
（指定管理者による管理）
第7条　美術館の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であって市長が指定するものに行わせるものとする。
（指定管理者の指定の申請）
第8条　指定管理者の指定を受けようとするものは、事業計画書その他規則で定める書類を添付して市長に申請しなければならない。
（指定管理者の指定の基準）
第9条　市長は、前条の規定による申請を審査し、次に掲げる基準に適合するもののうちから、最も効率的かつ適切な管理を行うことができると認めるものを指定管理者として指定するものとする。
⑴　事業計画が美術館の設置の目的を達成するためにふさわしいものであること。
⑵　事業計画が美術館の効果的な管理を実現するものであること。
⑶　事業計画に沿った管理を行うために必要な物的・人的能力を有していると認められること。
⑷　管理の業務を適切かつ円滑に行うための経理的基礎を有していること。
（指定管理者の指定等の公告）
第10条　市長は、指定管理者を指定したとき、又はその指定を取り消したときは、遅滞なく、その旨を公告するものとする。
（指定管理者の業務の範囲）
第11条　指定管理者が行う業務の範囲は、次に掲げるとおりとする。
⑴　第2条に掲げる事業の実施に関すること。
⑵　美術館の施設及び設備の維持管理に関すること。
⑶　前2号に掲げるもののほか、市長が必要があると認める業務
（指定管理者の原状回復の義務）
第12条　指定管理者は、その指定に係る管理の業務の期間が満了したとき、又は指定を取り消され、若しくは期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられたときは、その管理しなくなった施設又は設備を速やかに原状に回復しなければならない。ただし、市長の承認を得たときは、この限りでない。
（委任）
第13条　この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。
附　則
この条例は、公布の日から起算して12月を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。ただし、第1条、第8条から第11条まで及び第13条の規定は、公布の日から施行する。
（平成22年規則第9号で、規則で定める日を平成22年5月1日とした。）

○静岡市美術館条例施行規則

平成21年11月12日
規則第103号

（趣旨）
第1条　この規則は、静岡市美術館条例（平成21年静岡市条例第50号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。
（入館者の遵守事項）
第2条　静岡市美術館（以下「美術館」という。）の入館者は、次に掲げる事項を守らなければならない。
(1)　火災、爆発その他の危険を生ずるおそれのある行為をしないこと。
(2)　騒音又は大声を発する等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。
(3)　動物（身体障害者補助犬法（平成14年法律第49号）第2条第1項に規定する身体障害者補助犬を除く。）又は他人に迷惑を及ぼすおそれのある物品を持ち込まないこと。
(4)　美術館資料、器物又は施設を汚損し、又は損傷するおそれのある行為をしないこと。
(5)　許可を受けないで広告類を掲出し、又はまき散らす行為をしないこと。
(6)　所定の場所以外の場所へ立ち入らないこと。
(7)　所定の場所以外の場所で飲食をしないこと。
(8)　喫煙をしないこと。
(9)　許可を受けないで寄附金品の募集、物品の販売若しくは陳列又は飲食物の販売若しくは提供をしないこと。
(10)　前各号に掲げるもののほか、指定管理者が管理上支障があると認める行為をしないこと。
（指定管理者の指定の申請書類）
第3条　条例第8条の規定による申請は、静岡市美術館指定管理者指定申請書（様式第1号）に、次に掲げる書類を添えて行うものとする。
(1)　静岡市美術館事業計画書（様式第2号）
(2)　静岡市美術館事業計画に関する収支予算書（様式第3号）
(3)　定款、寄附行為又はこれに準ずるものの謄本
(4)　役員名簿
(5)　経営（事業）状況に関する書類
(6)　前各号に掲げるもののほか、市長が必要があると認める書類
（協定の締結）
第4条　市長は、指定管理者を指定したときは、当該指定管理者と美術館の管理に関する協定を締結するものとする。
2　前項の協定には、次に掲げる事項を掲載するものとする。
(1)　事業計画に関する事項
(2)　市が支払うべき管理費用に関する事項
(3)　管理業務を行うに当たって保有する個人情報の保護に関する事項
(4)　事業報告に関する事項
(5)　前各号に掲げるもののほか、市長が必要があると認める事項
（雑則）
第5条　この規則に定めるもののほか、美術館の管理に関し必要な事項は、別に定める。
附　則
　この規則は、公布の日から施行する。ただし、第2条の規定は、静岡市美術館条例附則本文に規定する規則で定める日から施行する。

様式第1号（第3条関係）

静岡市美術館指定管理者指定申請書

年　　月　　日

（あて先）静岡市長

所在地（法人以外の団体にあっては、その代表者の住所）

申請者　名称

代表者氏名　　印

電話

　静岡市美術館の指定管理者の指定を受けたいので、静岡市美術館条例第8条及び静岡市美術館条例施行規則第3条の規定により、次のとおり関係書類を添えて申請します。

様式第2号（第3条関係）

静岡市美術館事業計画書

事業計画の理念・方針
実施事業の概要（事業の構成及び年間計画表）
実施体制図
特記事項（効果的に事業を行うための方策、市民サービスの向上のための施策等）

様式第3号（第3条関係）

静岡市美術館事業計画に関する収支予算書

収入			千円
	科目	内容・数量	金額
			千円
			千円
			千円
			千円
			千円
			千円

支出			千円
	科目	内容・数量	金額
			千円
			千円
			千円
			千円
			千円
			千円

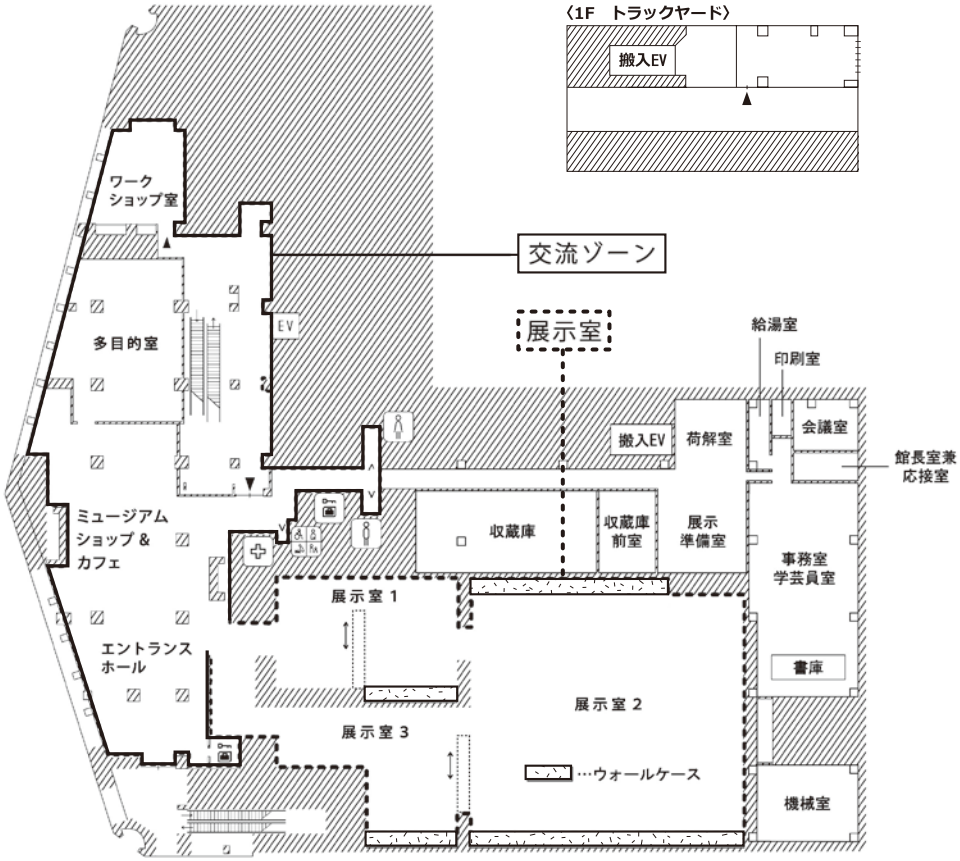
8－6　施設・建築概要

所在地：静岡市葵区紺屋町17番地の１号　葵タワー３階
設置者：静岡市
構造：S造（一部RC・SRC造）
内装設計：株式会社丹青研究所
内装建築工事：株式会社木内建設
延床面積：3,393.22㎡
館内施設：
（展示関係）展示室1：209.76㎡　展示室2：713.03㎡
展示室3：204.17㎡
天井高：4.1m－4.5m
総壁面長（可動壁含む）：290m
床荷重：500kg/㎡
ウォールケース：総長60m（エアータイト型壁面ガラスケース）
（収蔵関係）収蔵庫：141㎡　収蔵庫前室：46㎡
（管理関係）事務室・学芸員室：179㎡　会議室31㎡
館長室兼応接室：19㎡
（交流ゾーン）エントランスホール：612㎡（天井高6m）　多目的室：180㎡（天井高5m）　ワークショップ室：92㎡（天井高3m）
設備：
（電気）［本体ビル］3相3線6.6KV（地中引込方式）、非常用発電設備
（給排水）［本体ビル］給水：上水、雑用水2系統　排水：汚水、雑排水分流方式
（消火）N2ガス消火設備（展示収蔵エリア）、スプリンクラー（その他エリア）、消火用散水栓、消火器、自動火災報知設備
（空調）［本体ビル］ガス焚き吸収冷温水機及び排熱冷温水機（熱源）、4管方式により冷温水供給
［美術館］展示室：エアハンドリングユニット（床置きコンパクト型）
収蔵庫：空冷パッケージ（インバータ・セパレート型）エアコン
その他エリア：ファンコイルユニット

＜静岡市美術館整備費内訳（単位：円）＞

保留床購入費 （葵タワー再開発組合からの占有床購入経費）	￥2,461,200,000
内装・展示工事費	￥859,533,150
（内訳）建築工事費 電気工事費 衛生工事費	￥712,007,100 ￥132,826,050 ￥ 14,700,000
整備費合計	￥3,378,123,924
（内訳）まちづくり交付金（国庫補助金） 市債（合併特例債） 一般財源	￥1,180,000,000 ￥1,571,200,000 ￥626,923,924

施設見取り図



令和2(2020)年度
静岡市美術館　年報 No.11
　2022年2月　発行

編集・発行　静岡市美術館
〒420-0852
静岡市葵区紺屋町17-1　葵タワー3階
TEL 054-273-1515(代)
FAX 054-273-1518

印刷　松本印刷株式会社

©Shizuoka City Museum of Art 2022